

岩手県内遺跡発掘調査報告書

(平成24年度 復興関係)

岩手県教育委員会



序

埋蔵文化財は先人の残した国民共有の貴重な歴史的財産です。文化財保護法の理念にもとづき、埋蔵文化財を保護し後世に伝えていくことは、現代に生きる私たちの責務です。

本県沿岸市町村に甚大な被害をもたらした東日本大震災津波から3年が経過し、「復興道路」のひとつとして位置づけられた三陸沿岸道路等の建設、集団移転地の造成、被災した道路や農用地の復旧等、被災地住民の生活再建と向上のための種々の大規模開発事業が動き出すなか、これらの事業に係る埋蔵文化財調査への迅速な対応が求められています。

また、被災地では、個人住宅再建や企業の店舗・施設再建等、民間開発事業に伴う埋蔵文化財調査が増加しており、地元教育委員会がその対応に追われる状況も生じています。

このような状況の中、埋蔵文化財保護政策は、埋蔵文化財保護と復興事業の推進を両立させるために、文化庁等の調整により、平成24年度は他道府県から専門職員の派遣をいただき、復興事業に伴って生じる膨大な埋蔵文化財調査の実施や沿岸市町村の埋蔵文化財調査への支援等を図ってまいりました。復興は未だその途上にあり、今後も国・他道府県の御支援をいただきながら、復興調査の迅速な推進にあたってまいります。

『岩手県内遺跡発掘調査報告書（復興関係）』は復興交付金を活用し、遺跡の周知と復興開発事業との調整の中で実施した諸調査の記録を目的としてまとめたものであります。本書には、平成24年度に復興交付金を活用し、各種埋蔵文化財調査を実施した成果をまとめております。本書が広く活用され、埋蔵文化財保護に役立てば幸いに存じます。

最後になりましたが、調査および報告書作成にご指導とご協力をいただきました関係機関・関係各位に厚く感謝申し上げます。

平成26年3月

岩手県教育委員会

教育長 菅野洋樹

目 次

序

例言

岩手県沿岸市町村位置図・凡例 1

岩手県内 復興道路・復興支援道路全体図 2

試掘調査位置図 3

試掘調査

1 北ノ沢 I 遺跡 (旧可能性あり 3 : 洋野町)	18
2 西平内 I 遺跡及び隣接地 (洋野町)	21
3 南川尻遺跡 (旧可能性あり 9 : 洋野町)	24
4 小路合遺跡 (旧可能性あり 16 : 洋野町)	26
5 南鹿籠遺跡 (旧可能性あり 18 : 洋野町)	28
6 鹿糠浜遺跡 (旧可能性あり 20 : 洋野町)	30
7 宿戸遺跡 (旧可能性あり 29・31 : 洋野町)	32
8 南八木遺跡 (旧可能性あり 38 : 洋野町)	37
9 下向遺跡・中野城 内遺跡 (旧可能性あり 47 : 洋野町)	39
10 芦ヶ沢遺跡 (旧可能性あり 29 : 久慈市)	41
11 上代川遺跡 (旧可能性あり 9 : 野田村)	43
12 力持遺跡 (普代村)	45
13 菩薩長屋構III遺跡 (旧可能性あり 14 : 田野畠村)	47
14 菩薩遺跡 (田野畠村)	49
15 島越 XIV 遺跡 (旧可能性あり 3 : 田野畠村)	51
16 島越 II 遺跡 (旧可能性あり 4 : 田野畠村)	53
17 浜岩泉 III 遺跡 (田野畠村)	55
18 小成 II 遺跡 (旧可能性あり 4 : 岩泉町)	57
19 津軽石大森遺跡 (宮古市)	59
20 沼里遺跡 (宮古市)	61
21 根井沢穴田IV遺跡 (宮古市)	64
22 弘川 II・弘川III遺跡 (宮古市)	66
23 荷竹日向 I 遺跡 (宮古市)	68
24 荷竹日影 II 遺跡 (宮古市)	70

25	石峠Ⅱ遺跡（山田町）	72
26	沢田Ⅲ遺跡（山田町）	75
27	間木戸Ⅰ遺跡（山田町）	78
28	間木戸Ⅱ遺跡（山田町）	80
29	間木戸Ⅴ遺跡（山田町）	83
30	田屋遺跡及び隣接地（大槌町）	85
31	松磯遺跡及び隣接地（大槌町）	88
32	追田Ⅰ遺跡（大槌町）	90
33	九重沢Ⅲ遺跡（旧可能性あり31：遠野市）	92
市町村支援		
34	大槌代官所跡（大槌町）	94
平成24年度 派遣専門職員の調査風景		98
調査一覧		
1	分布調査一覧	100
2	試掘調査一覧	106
3	市町村支援一覧	110

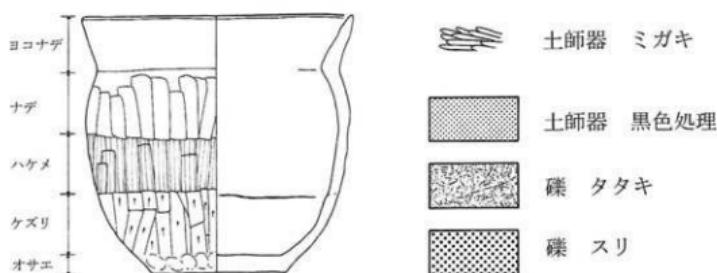
例　　言

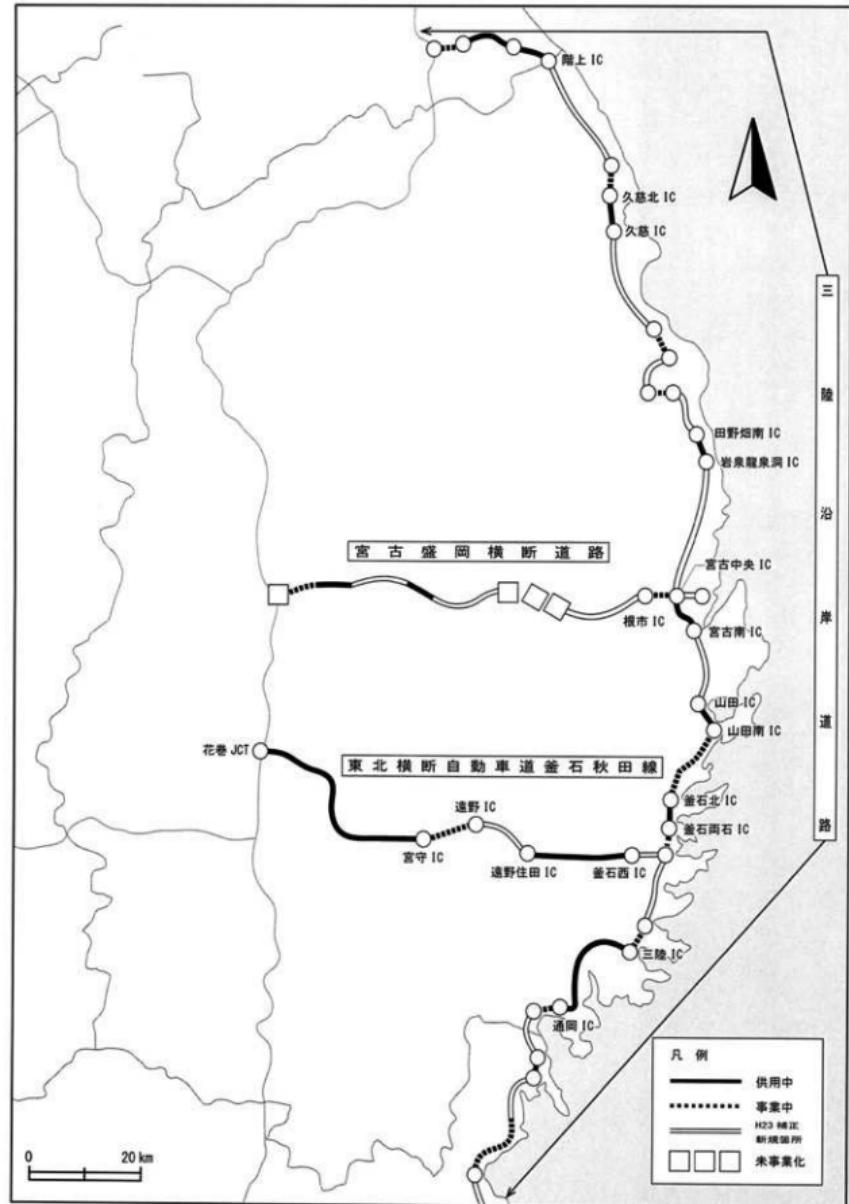
- 1 本書は岩手県教育委員会が平成 24 年度に実施した県内遺跡発掘調査事業（復興関係）に係る調査成果の概要報告である。なお、本事業は復興庁復興交付金の交付を受けて実施したものである。
- 2 本事業は岩手県教育委員会が調査主体となり、(公財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター及び関係市町村教育委員会の協力を得て実施した。野外調査・室内整理および報告書作成・編集は、岩手県教育委員会事務局生涯学習文化課埋蔵文化財担当（復興事業担当）が行った。
- 3 遺跡位置図は国土地理院発行の 1/25,000・1/50,000 地形図（数値地図地図画像）を使用し、一部加筆したものである。
- 4 調査区位置図等は各事業者から提供された工事図面・地形図等を原図として作成した。
- 5 本書では試掘調査により本調査対応となったおもな箇所の成果概要を記載した。また、当教育委員会が実施した市町村支援についても一部概要を記した。
- 6 調査による遺物実測図・遺物観察表は遺跡毎に掲載した。
- 7 遺構・遺物実測図の掲載はページ毎に縮尺を記載し、表現は凡例のとおりである。
- 8 遺構・遺物写真は、紙幅の関係からおもな遺構・遺物を選択して遺跡ごと掲載した。
- 9 平成 24 年度は、復興事業に伴う埋蔵文化財調査の著しい増加が予想されたことから、文化庁による調整の下、当教育委員会では 10 道府県から各 1 名、計 10 名の専門職員の派遣を受けた。平成 24 年度の埋蔵文化財担当は計 21 名（兼務含む）で、調査体制は以下のとおりとした。
＜埋蔵文化財担当＞ 文化財専門員 菅常久（全体総括）
＜予算・経理担当＞ 主査 関敏和
＜復興事業担当＞ 文化財専門員 半澤武彦（復興事業総括）・岩渕計（平成 24 年 8 月～25 年 3 月：陸前高田市へ派遣）・晴山雅光・相原伸裕・佐藤淳一（世界遺産担当兼務） 臨時職員 千葉剛史（平成 24 年 10 月～25 年 3 月）
【他道府県教育委員会からの派遣専門職員】 上席文化財専門員 安井健一（千葉県） 文化財専門員 藤原秀樹（北海道）・永嶋豊（青森県）・宇田川浩一（秋田県）・深澤敦仁（群馬県）・田村隆太郎（静岡県）・北原治（滋賀県）・横田明（大阪府）・長谷部善一（熊本県）・平美典（鹿児島県）
＜通常事業担当＞ 文化財専門員 千葉正彦（通常事業総括）・佐々木務（平成 25 年 1 月～）・戸根貴之
- 10 本書は復興事業関係の調査を収録し、調査はおもに復興事業担当が実施した。なお、通常事業関係の調査については、第 138 集として別途刊行した。
- 11 本事業の調査記録及び出土品は、岩手県教育委員会事務局生涯学習文化課が保管している。

岩手県沿岸市町村位置図



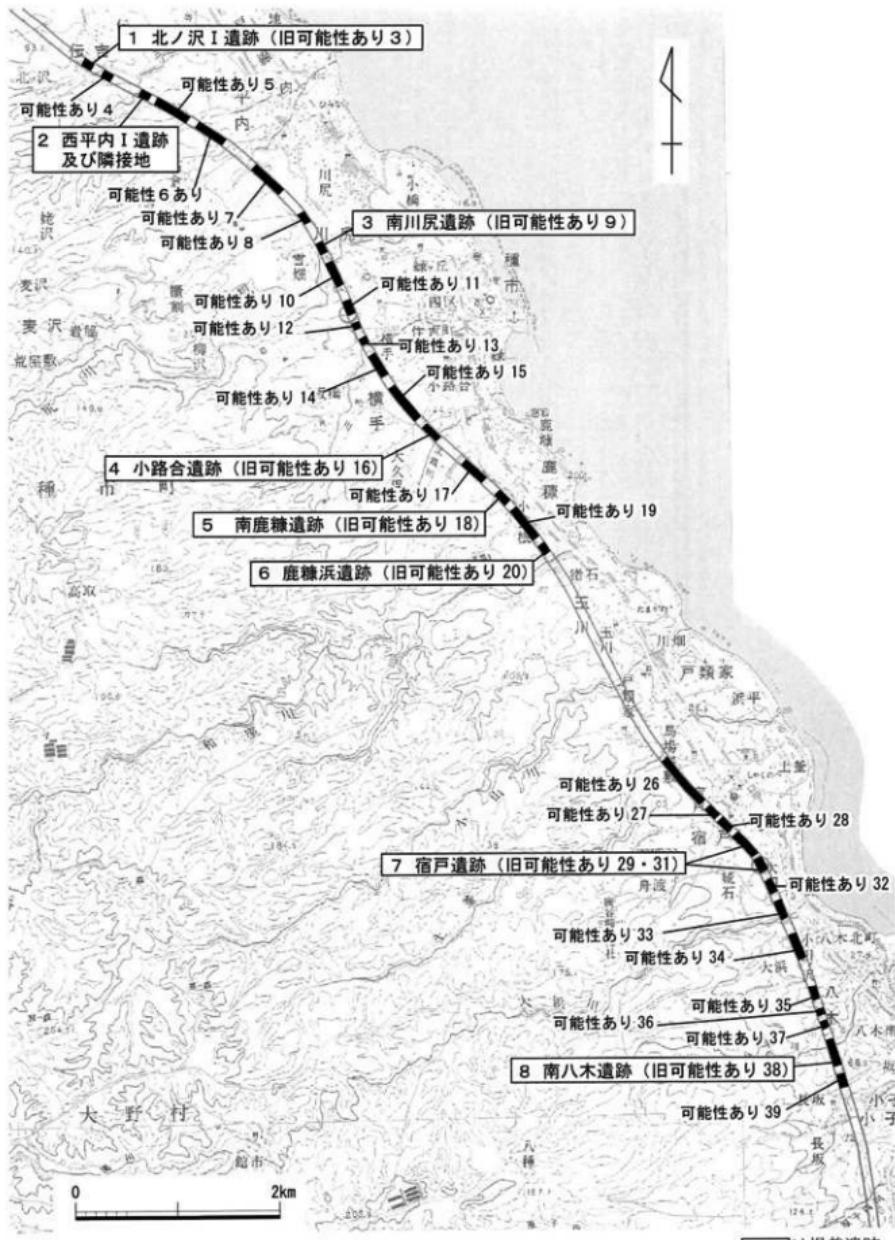
凡　例



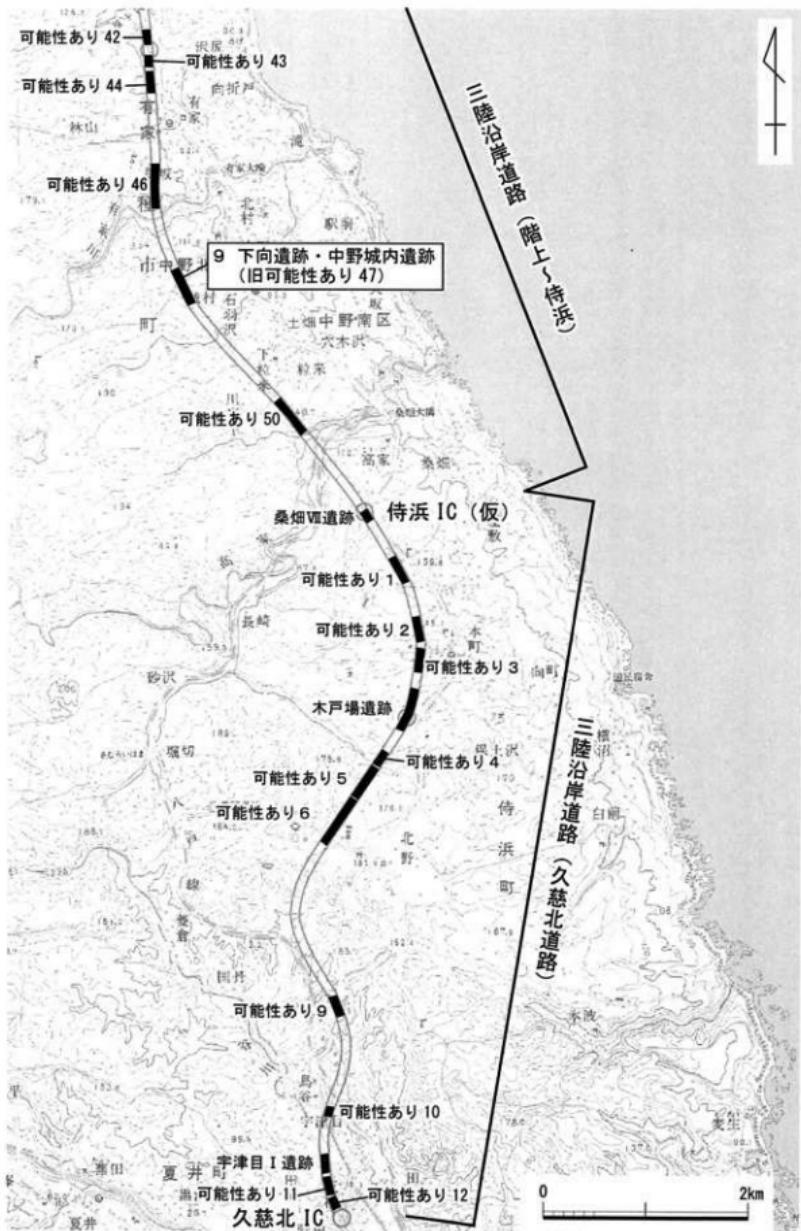


H24年度現在、国文省三陸復興事務所HPより引用、一部加筆

岩手県内 復興道路・復興支援道路全体図（国土交通省関係）



三陸沿岸道路（陸上～侍浜）試掘調査位置図



三陸沿岸道路（階上～侍浜・久慈北道路）試掘調査位置図

□は掲載遺跡

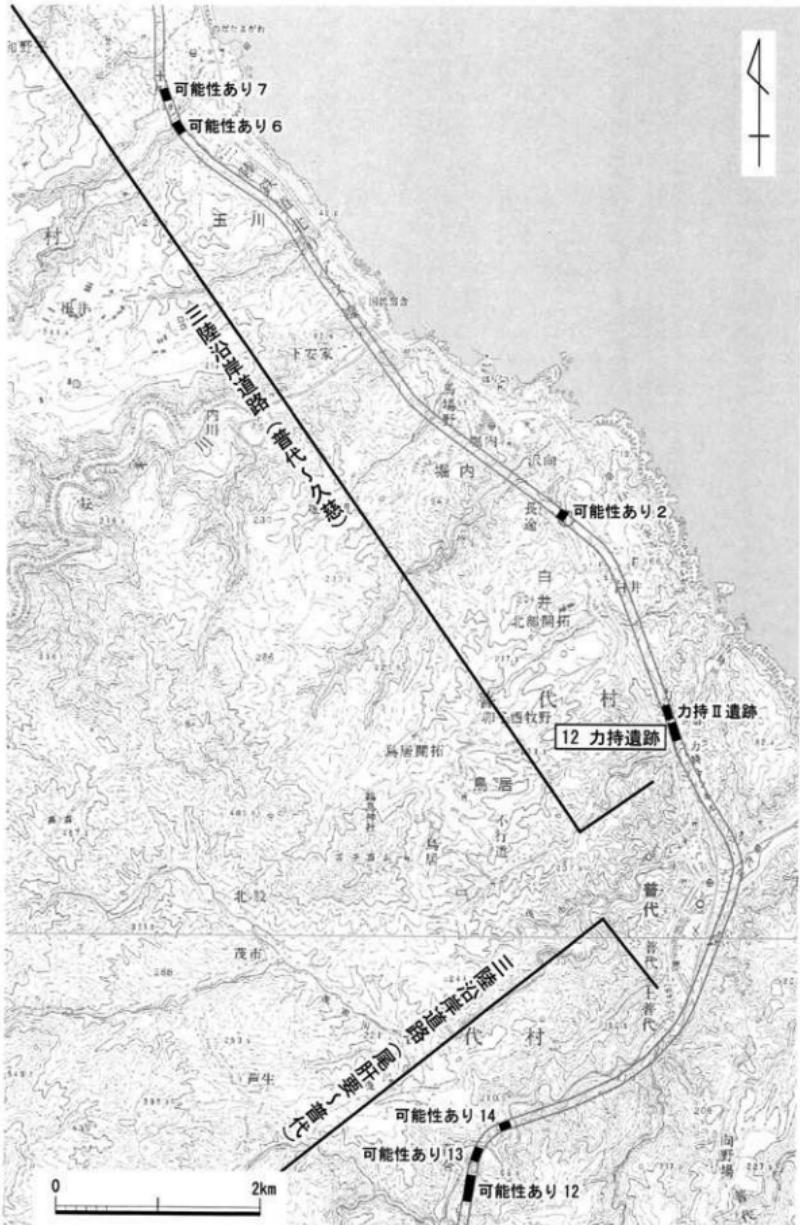


10 芦ヶ沢遺跡（旧可能性あり 29）

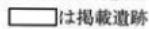


11 上代川遺跡（旧可能性あり 9）

■は掲載遺跡

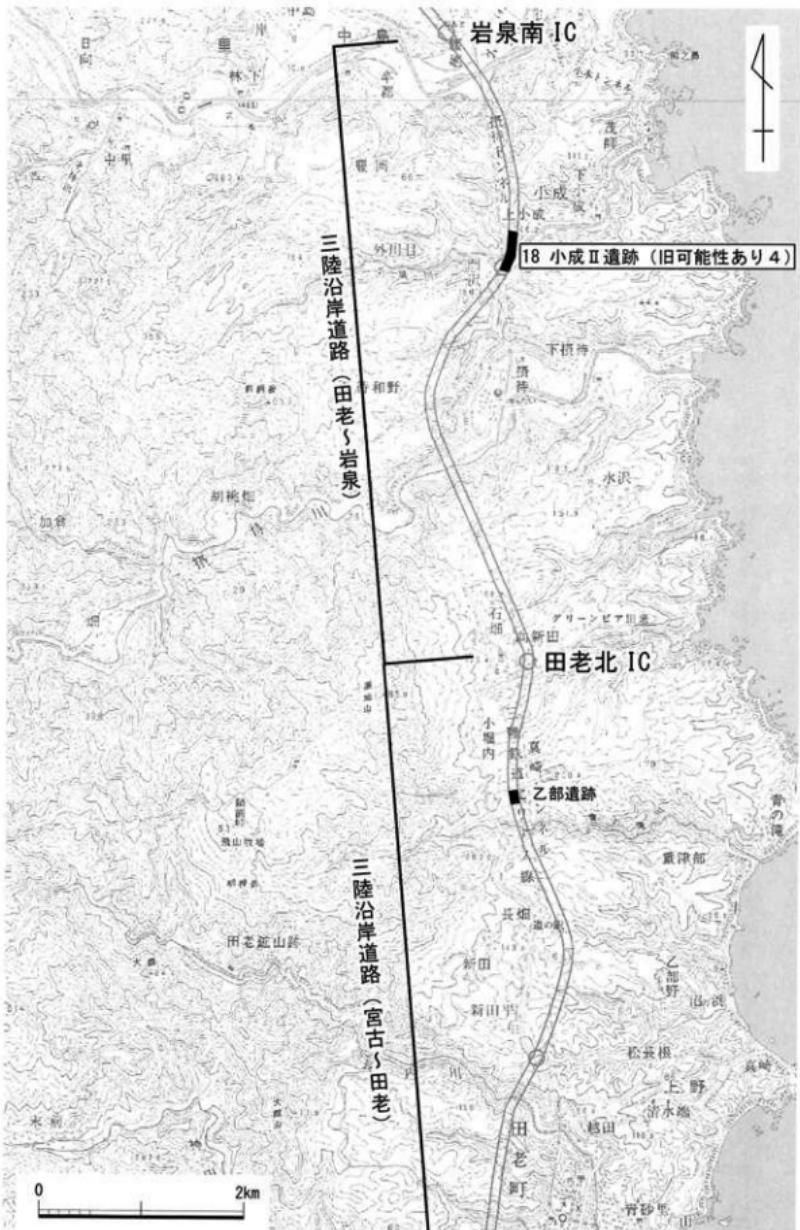


三陸沿岸道路（普代～久慈・尾肝要～普代）試掘調査位置図



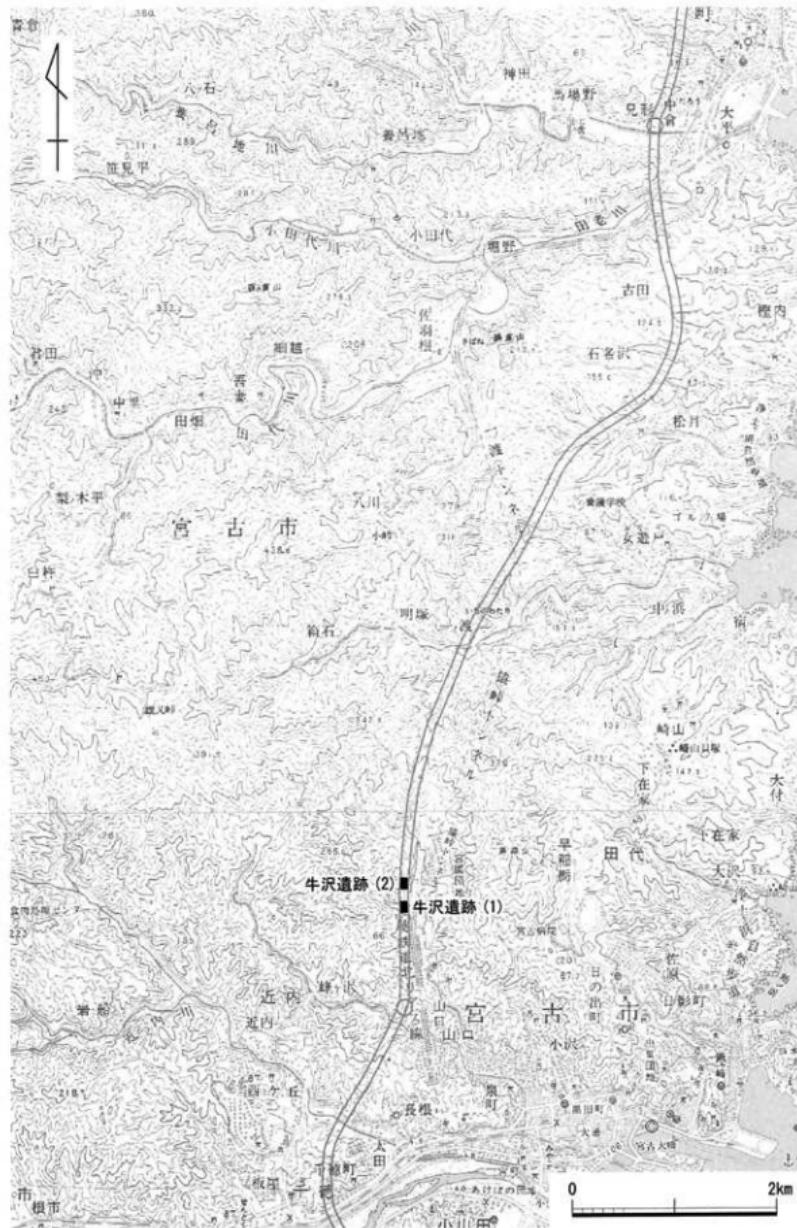


三陸沿岸道路（尾肝要～普代・田野畠南～尾肝要）試掘調査位置図

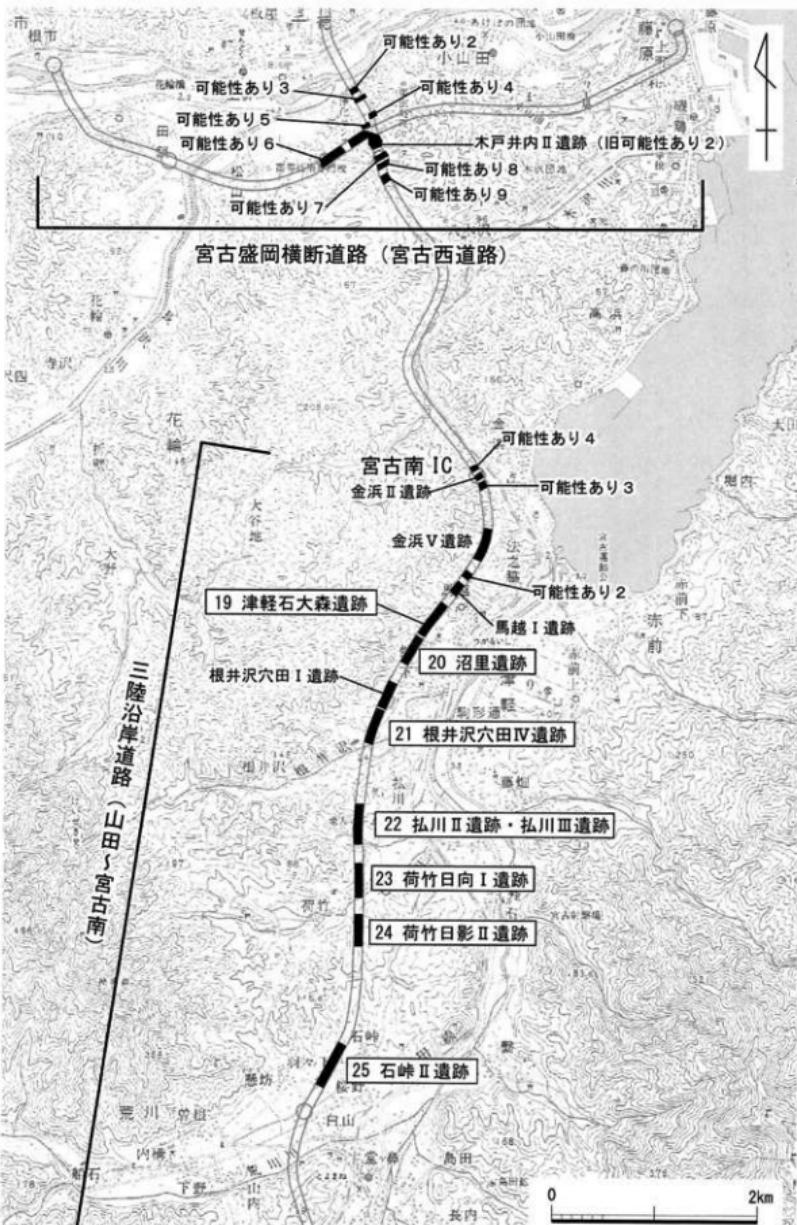


三陸沿岸道路（宮古～田老・田老～岩泉）試掘調査位置図

■は掲載遺跡

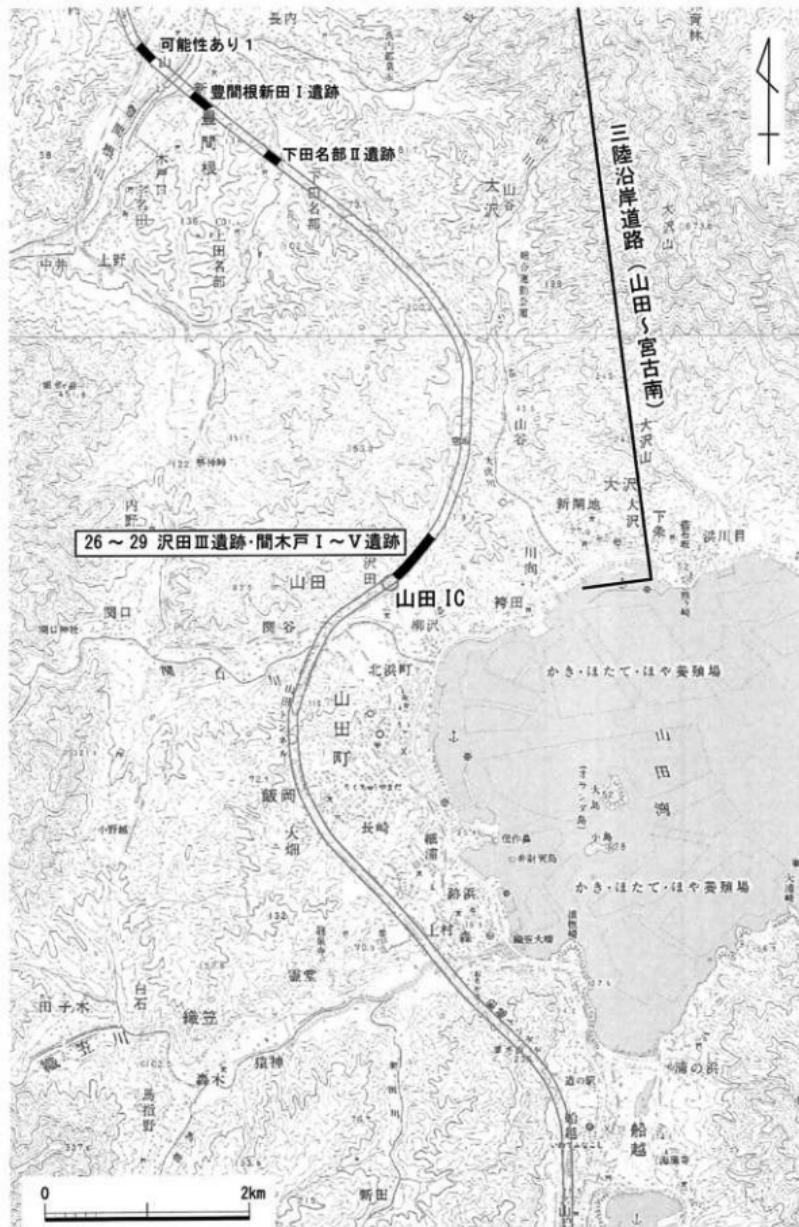


三陸沿岸道路（宮古～田老）試掘調査位置図



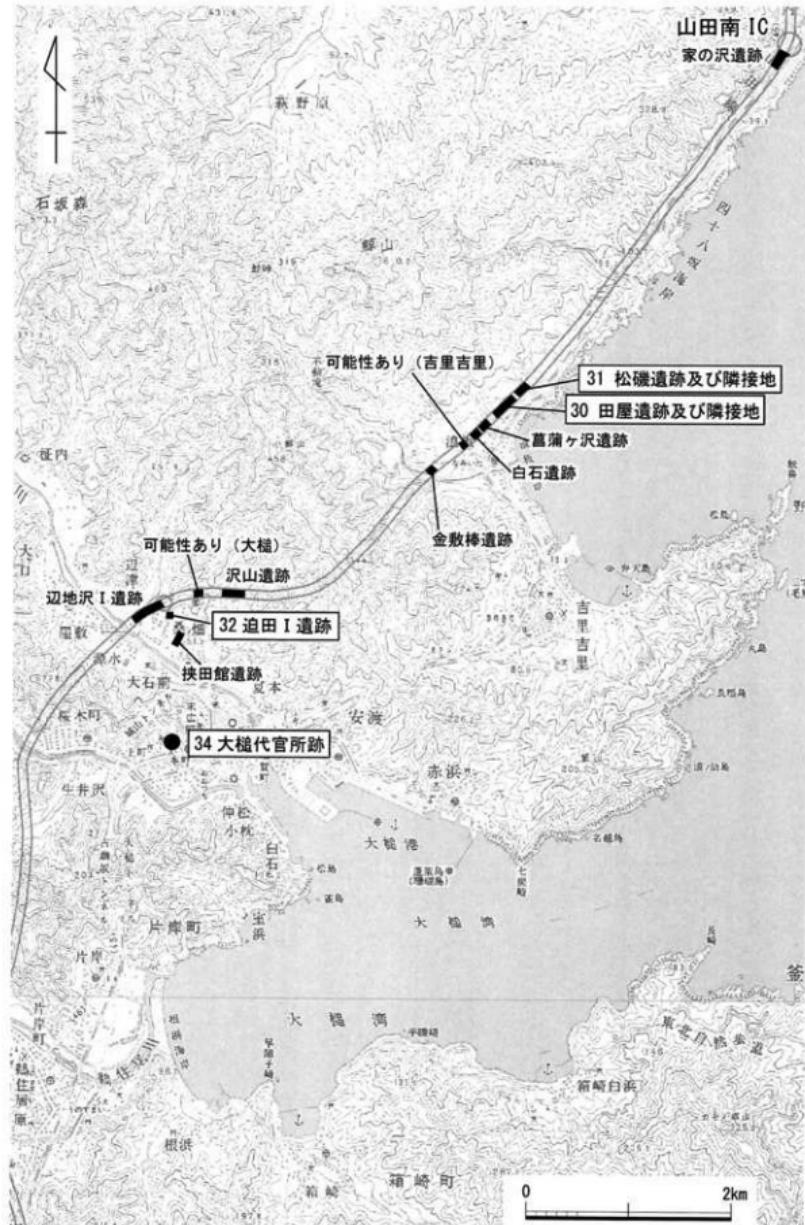
三陸沿岸道路（山田～宮古南）・宮古盛岡横断道路（宮古西道路）試掘調査位置図

□は掲載遺跡



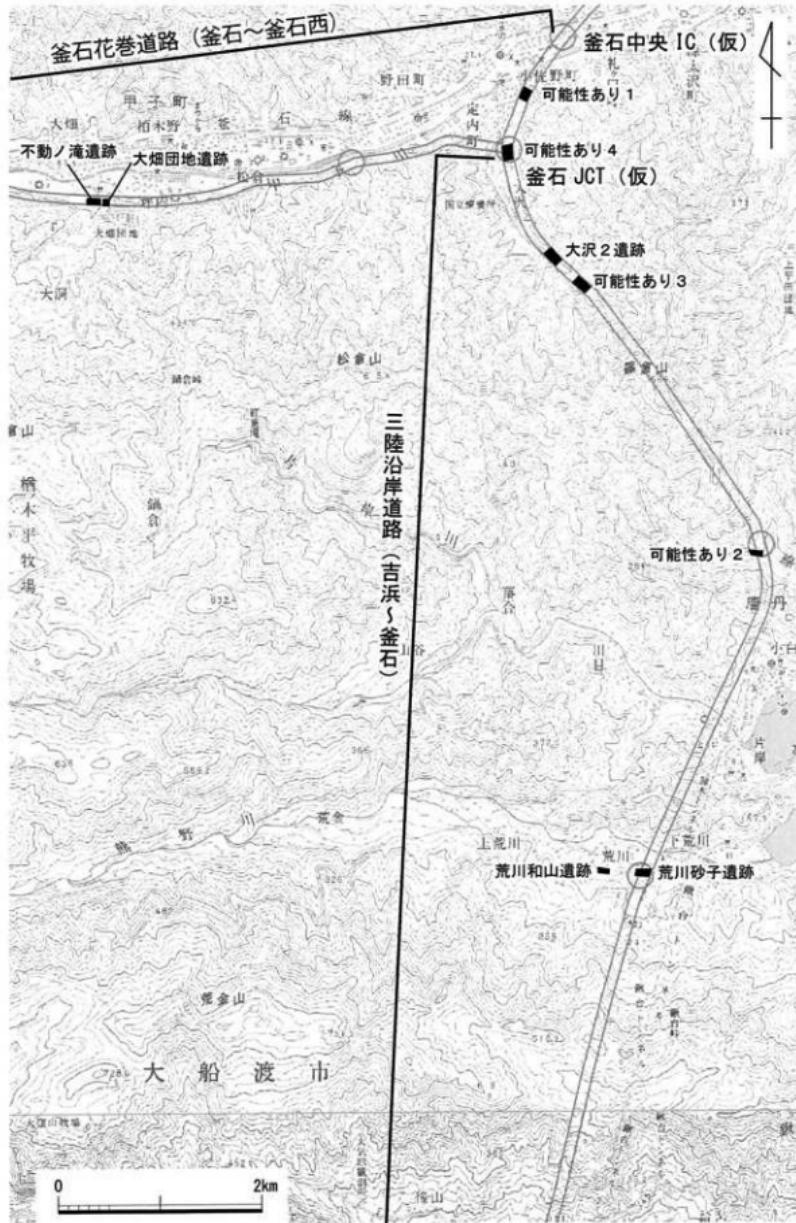
三陸沿岸道路（山田～宮古南）試掘調査位置図

□は掲載遺跡

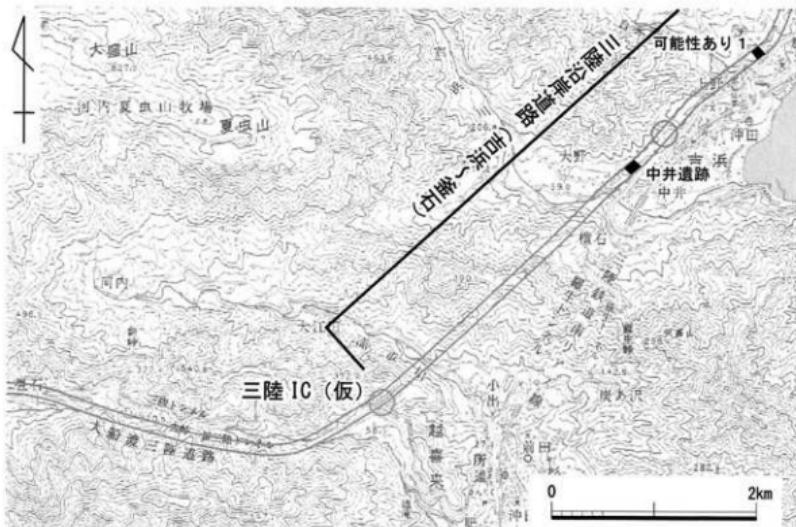


三陸沿岸道路（釜石山田道路）試掘調査位置図

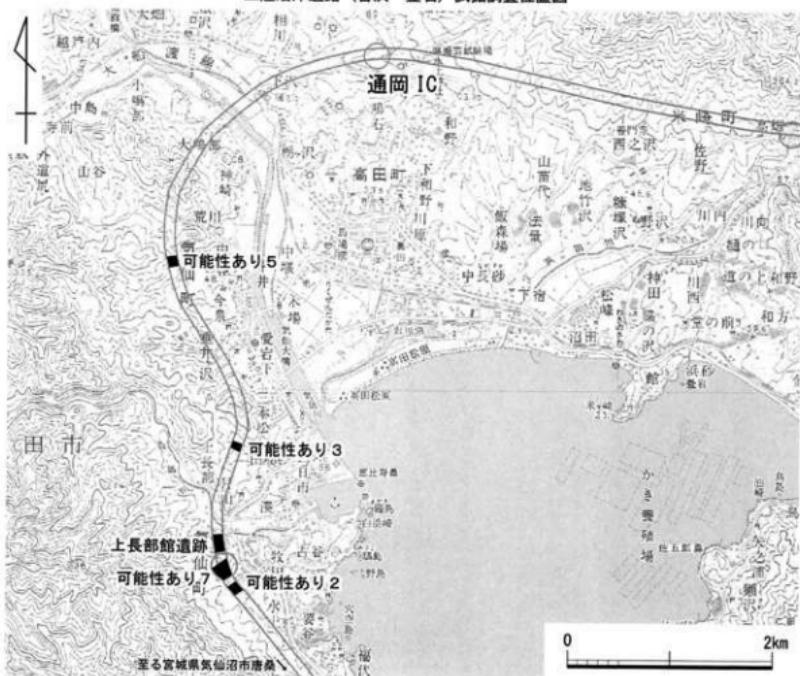
□は掲載遺跡



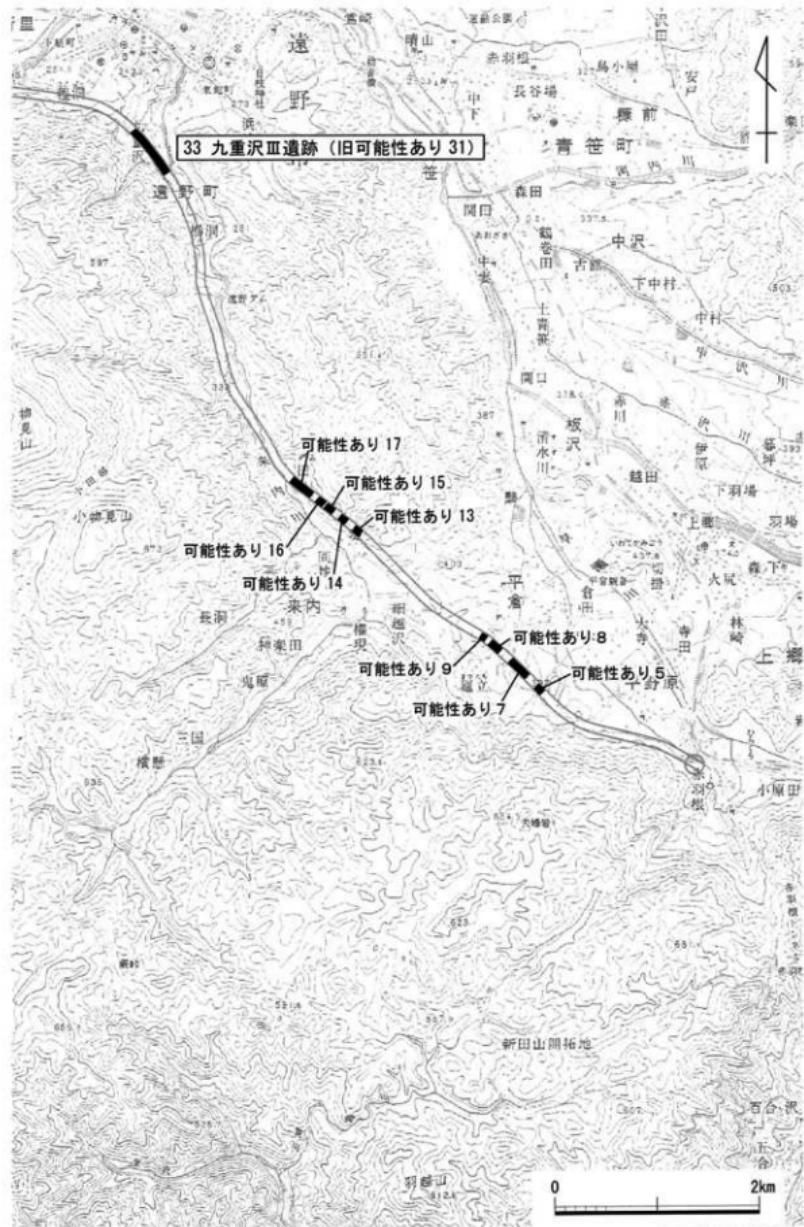
三陸沿岸道路（吉浜～釜石）・釜石花巻道路（釜石～釜石西）試掘調査位置図



三陸沿岸道路（吉浜～釜石）試掘調査位置図



三陸沿岸道路（唐桑～陸前高田）試掘調査位置図



試掘調査・市町村支援

1 三陸沿岸道路（階上～侍浜 IC）

北ノ沢 I 遺跡 (IF47-0345: 旧可能性あり 3)

【所在地】 九戸郡洋野町種市

第37 地割地内

【事業者】 国土交通省東北地方整備局

三陸国道事務所

【調査期日】 平成 25 年 2 月 12 日（火）

【調査結果】 調査地は洋野町立角浜中学校から南南西約 800m、階上岳から北東方向へと広がる丘陵上に位置する。調査地の西側約 100m に縄文の散布地である北ノ沢 I 遺跡 (IF47-0345) が、小河川を挟んで東側隣接地に縄文・古代の散布地である伝吉 I 遺跡

(IF37-2396) があり、現況は山林及び荒蕪地となっている。

調査は敷地内や湿地などの調査不可能な場所を除き、地形等を考慮しながら 12 箇所 (T 1 ~ 12) のトレンチを設定して行った。

基本層序は以下のとおりである。

I 層 表土 層厚 15~20cm

II 層 黒褐色土 層厚 15~40cm (やわらかい)

III 層 黒褐色土 層厚 15~40cm (硬くしまる)

IV 層 暗褐色土 層厚 20~25cm (絆石粒含む)

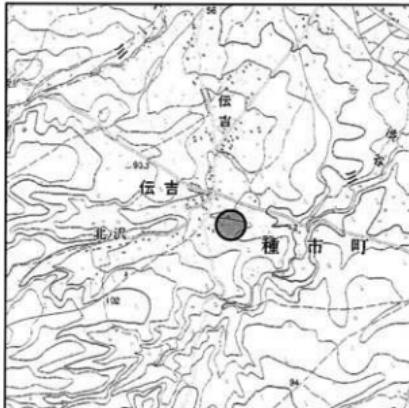
V 層 暗褐色土 層厚 15~20cm

VI 層 黄褐色土 層厚不明

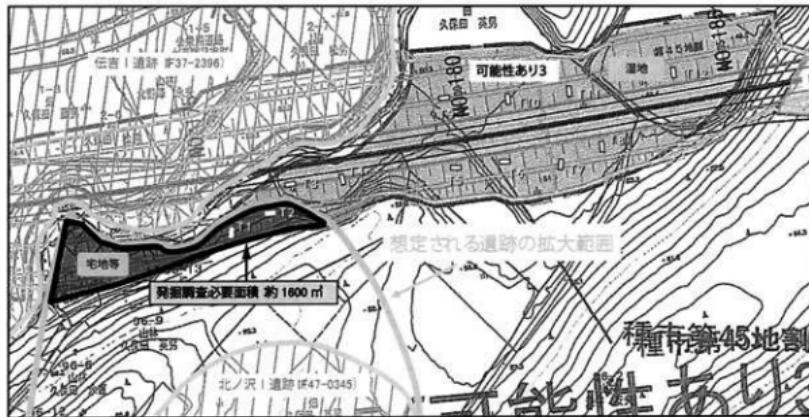
調査の結果、T 1・2 の II 層 (表土下約 30~50 cm) から縄文前期～中期頃の土器が出土した。特に T 2 に関してはトレンチ一面に縄文土器が広がるような状況であり、地形的にも緩斜面であることから、土器捨場の可能性が高いと思われる。

他のトレンチに関しては土地造成によって切土・盛土がなされており、包含層は存在せず、遺構・遺物も確認することはできなかった。

遺物の出土した T 1・2 の地形が西から東への緩斜面になっていること、隣接する伝吉 I 遺跡は小河川をはさんで対岸にあることから、周知の遺跡である北ノ沢 I 遺跡の範囲が拡大すると判断するのが妥当と思われる。



北ノ沢 I 遺跡 位置図



北ノ沢遺跡 トレンチ位置図



調査前風景



T 1 遺物出土状況



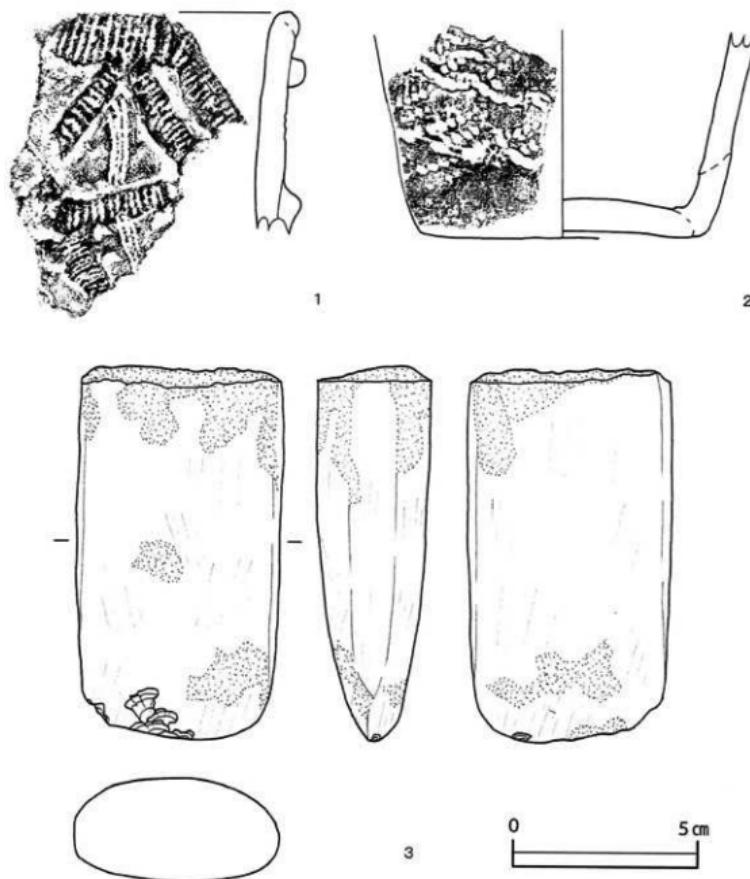
出土遺物 1



出土遺物 2



出土遺物 3



遺物観察表

番号	出土地点	層位	種別	器種	時代	時期	備考
1	T2	II層	縄文土器	深鉢	縄文	中期	口縁部に貼付隆線。
2	T2	II層	縄文土器	深鉢	縄文	前期～中期	下部に不整撻糸文。
3	T2	II層	石器	磨製石斧	縄文		

2 三陸沿岸道路（階上～侍浜 IC）

西平内 I 遺跡 (IF48-0041) 及び隣接地

【所在地】 九戸郡洋野町種市

第37地割地内

【事業者】 国土交通省東北地方整備局

三陸国道事務所

【調査期日】 平成25年2月13日(水)

【調査結果】 調査地は、洋野町役場から西北西に約4km、渋谷川南岸の丘陵上に位置する。周知の埋蔵文化財包蔵地である西平内 I 遺跡 (IF48-0041) の南側を含む隣接地で、周辺には雜木林が残っている。東側へと傾斜していく丘陵上の平場と一段下がった南向きの緩斜面からなり、現況は山林である。

遺跡及び調査対象地に11箇所のトレンチ (T10～12・51～58) を設定し、小型重機を用いて調査を行った。

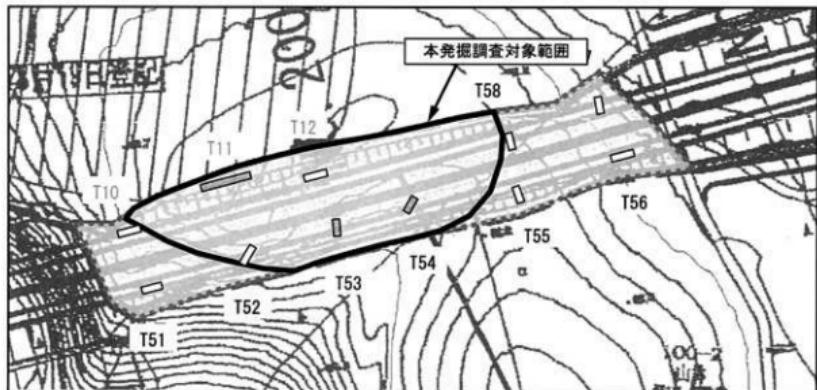
基本層序は以下のとおりである。

I層 表土	層厚 10～20cm (黒褐色 腐葉土)
II層 暗灰黄色土	層厚 0～20cm (黄褐色土ブロック含む 造成土か?)
III層 黒褐色土	層厚 20～30cm (遺物包含層)
IV層 暗褐色土	層厚 20～30cm (軽石粒含む)
V層 浅黄色土	層厚 15～25cm (軽石粒含む)
VI層 黄褐色土	層厚不明 (地山)

調査の結果、概ね基本層序のような堆積状況が確認された。II層は混合土で植林等に伴う造成土と思われる。遺構・遺物については、西平内 I 遺跡包蔵地内である (T11) より配石炉及びその周囲から焼土が検出された。

また、周辺トレンチ (T53) から炉に伴うと思われる配石も確認された。遺物は、遺構に伴い縄文後期と思われる土器・石器・鐸形土製品が出土したほか、遺構外のトレンチからも出土が確認された。調査対象地の北側と南側に関しては造成に伴うと思われる削平を受けており、表土下は地山で遺構・遺物を確認することはできなかった。

丘陵上の平場であり遺跡が所在する東側緩斜面と一連の地形であることから、西平内 I 遺跡の範囲が調査地まで拡大すると判断される。



西平内 I 遺跡及び隣接地 トレンチ位置図



調査風景



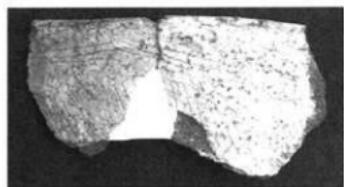
T11 配石（炉跡）



T53 配石



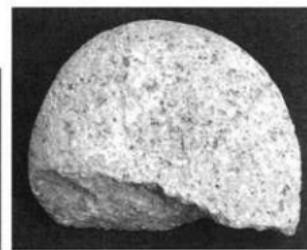
T54 出土遺物



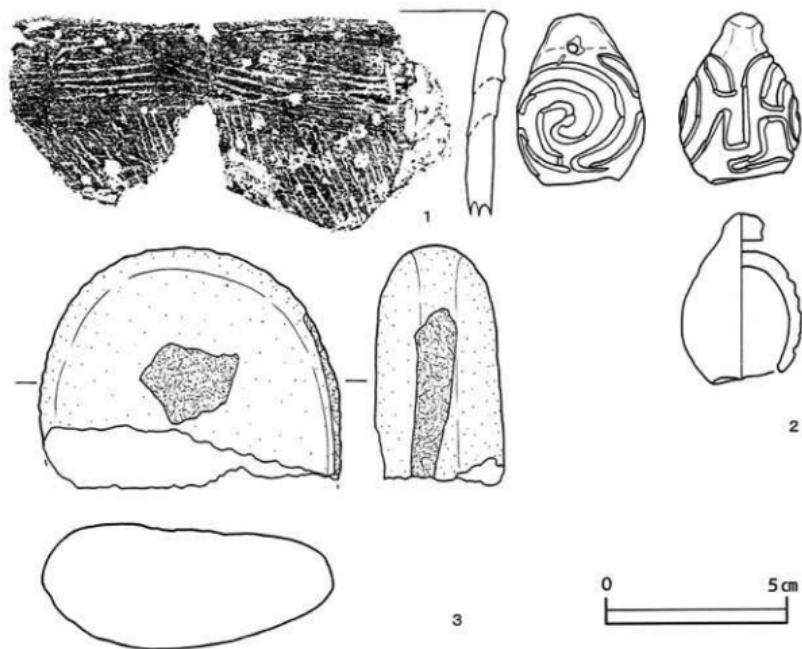
出土遺物 1



出土遺物 2



出土遺物 3



遺物觀察表

番号	出土地点	層位	種別	器種	時代	時期	備考
1	T54	Ⅲ層	縄文土器	深鉢	縄文	後期	平状口縁。口縁～胴部に捲引文
2	T11	Ⅲ層	土製品	鋤型土製品	縄文	後期	弧線状沈線文。上部に穿孔。
3	T11	Ⅲ層	石器	磨石・敲石	縄文		

3 三陸沿岸道路（階上～侍浜 IC）

南川尻遺跡 (IF48-1197: 旧可能性あり 9)

【所在地】 九戸郡洋野町種市

第 28 地割地内

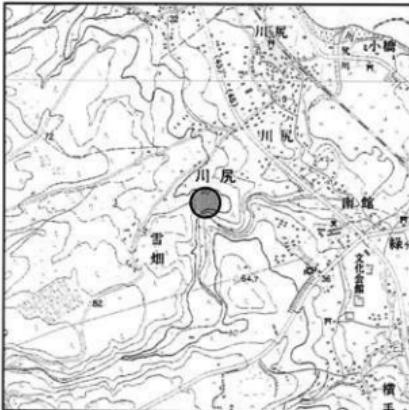
【事業者】 国土交通省東北地方整備局

三陸国道事務所

【調査期日】 平成 24 年 10 月 25 日（木）

～26 日（金）

【調査結果】 調査地は JR 八戸線種市駅から北西に約 1.5 キロ、国道 45 号線から延びる町道川尻柳沢線と川尻川にはさまれた舌状の丘陵上部に位置しており、現況は山林である。



南川尻遺跡 位置図

調査対象地は緩やかな緩斜面であり、地形等を考慮してトレンチを 15 箇所 (T 1 ~12, 21~23) 設定し調査を行った。

基本層序は以下のとおりである。

I 層 表土 層厚 5～30cm (腐植土)

II 層 黒色土 層厚 10～45cm

III 層 暗褐色土 層厚 15～45cm (包含層、軽石粒を含む)

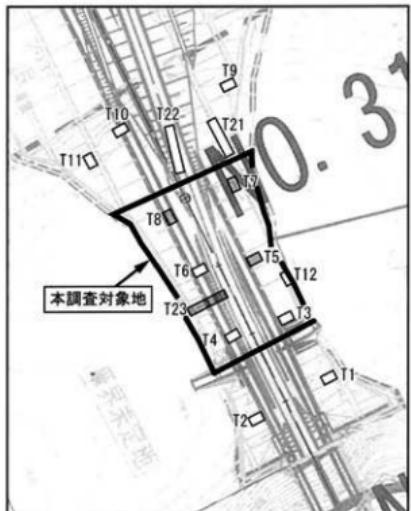
IV 層 黄褐色土 層厚不明 (軽石粒を含む)

調査の結果、対象地の中央部で遺物が確認された。T 5・7・8 から縄文土器が出土し、T 23 からは磨石が出土した。いずれの遺物も地山面である黄褐色土層 (IV 層) 直上の暗褐色土層 (III 層) より確認されているが、遺構は検出されなかった。

III 層は調査地範囲すべてに残存しているが、調査地両端 (南北方向) に行くにしたがって、わずかながら薄くなっている。

丘陵中央部の狭い範囲に遺物が集中して確認されていることから、付近に縄文時代の遺構・遺物が遺存している可能性が高いと推測される。

なお、調査範囲の両端は傾斜地となっており、設定したトレンチからは遺物・遺構とも検出されなかった。



南川尻遺跡 トレンチ位置図

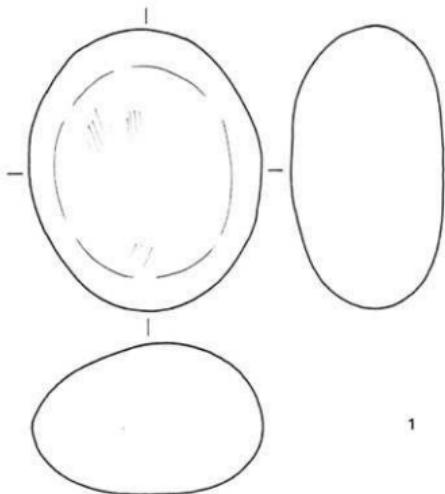


T 7 土器出土状況



出土遺物 1

出土遺物 2



1



2

遺物観察表

番号	出土地点	層位	種別	器種	時代	時期	備考
1	T7	Ⅲ層	石器	磨石	縄文		
2	T7	Ⅲ層	石器	剥片	縄文		

4 三陸沿岸道路（階上～侍浜 IC）

小路合遺跡 (IF58-0288: 旧可能性あり 16)

【所在地】 九戸郡洋野町種市

第 18 地割地内

【事業者】 国土交通省東北地方整備局

三陸国道事務所

【調査期日】 平成 25 年 3 月 13 日（水）

～14 日（木）

【調査結果】 調査地は、竜頭川と立頭川にはさまれた段丘上平坦面にある。現状は山林で、東側の太平洋へ向かって緩やかに傾斜する。調査は 36 箇所のトレンチ (T 1 ~ 5・18・

21~25・103~104・106~114 : 長さ 3 m × 幅

1 m、T 19・101~102 : 長さ 5 m × 幅 1 m、

T 6~9・20・105 : 長さ 10~20 m × 幅 1 m、T 6 は 3 m 四方拡張) を設定し、重機を用いて掘削を行った。

基本層序は以下のとおりである。

(遺構が検出された T 6 周辺の基本層序)

I 層 黒褐色土 層厚 20 cm (表土)

II 層 暗褐色土 層厚 20 cm

III 層 暗褐色土 層厚 20 cm (遺物包含層)

IV 層 黄褐色土 層厚不明 (遺構検出面、地山)

調査の結果、T 6 から陥し穴・土坑、T 12・102 から陥し穴、T 12 から土坑が検出された。

また、T 8~10・18 から縄文時代の土器・石器が出土した。出土した石器は、いずれも直径 20 cm 程度の安山岩円礫を剥離した疊核石器と剥片である。

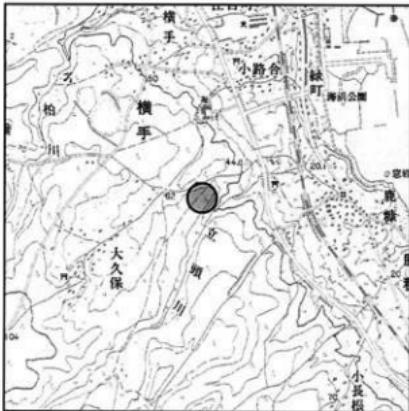
また T 6・12 においては、以下の地点で遺構を検出した。

T 6 から陥し穴：道路際杭 R419 から R418 の方向へ 8 m、中心杭方向へ 3 m。

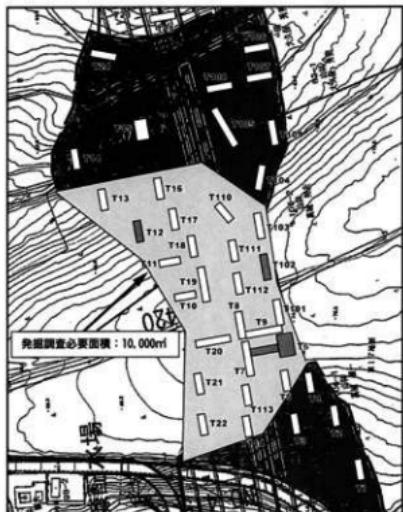
T 6 から土坑：道路際杭 R419 から R418 の方向へ 8 m、中心杭方向へ 1 m。

T 12 から土坑：道路際杭 L422 から L421 の方向へ 6 m、中心杭方向へ 1 m。

遺構は地山面で検出したが、遺物の検出層が地表下 40~60 cm の III 層であることから、本来の遺構構築面も III 層中であると考えられる。



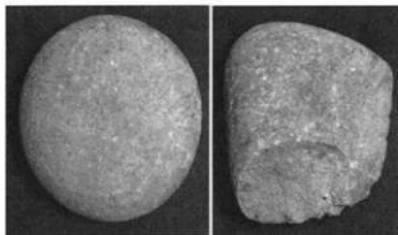
小路合遺跡 位置図



小路合遺跡 トレンチ位置図

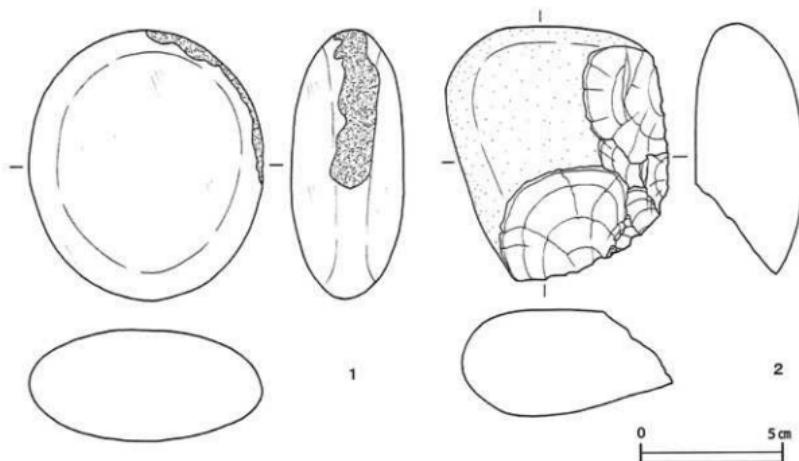


T 102 跪し穴検出状況



出土遺物 1

出土遺物 2



遺物観察表

番号	出土地点	層位	種別	器種	時代	時期	備考
1	T6	Ⅲ層	石器	磨石・敲石	縄文		
2	T6	Ⅲ層	石器	磨石	縄文		

5 三陸沿岸道路（階上～侍浜 IC）

南鹿糠遺跡 (IF58-1355 : 旧可能性あり 18)

【所在地】 九戸郡洋野町種市

第 16 地割地内

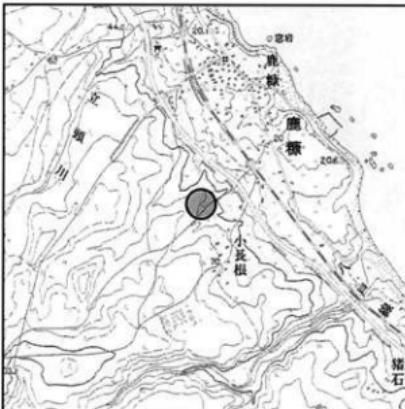
【事業者】 国土交通省東北地方整備局

三陸国道事務所

【調査期日】 平成 25 年 3 月 14 日（木）

～15 日（金）

【調査結果】 調査地は、小座川と小さな沢にはさまれた段丘上平坦面にある。現状は山林で、東側の太平洋へ向かって緩やかに傾斜する。調査区内の地形は、町道小長根北線を境に南北で異なる。北側は丘陵で、南側は調査区南側を画する沢によって開析された緩やかな谷底平野である。



南鹿糠遺跡 位置図

調査は 22 か所のトレンチ (T 3・4・6・8・101～114 : 長さ 3 m × 幅 1 m, T 1 : 長さ 5 m × 幅 5 m, T 2・5 : 長さ 20～50m × 幅 1 m) を設定し、重機を用いて掘削を行った。

基本層序は以下のとおりである。(遺構が検出された T 1 周辺の基本層序)

I 層 暗褐色土 層厚 20 cm (表土)

II 層 黒褐色土 層厚 20 cm

III 層 黒褐色土 層厚 20cm (遺物包含層)

IV 層 暗褐色土 層厚 10cm (遺構検出面)

V 層 黄褐色土 層厚不明 (地山)

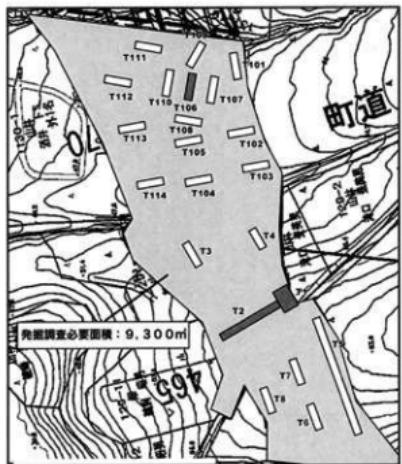
調査の結果、T 1・2・106 から陥し穴、T 5 から土坑が検出された (T 1 : 陥し穴 1、T 2 : 陥し穴 2、T 5 : 土坑 1、T 106 : 陥し穴 1)。特に T 2 からは 2 基の陥し穴が長軸方向に重複して検出された。また、T 8～10・18 からは、縄文時代の土器・石器が出土した。土器は縄文時代後期のものであり、石器はいずれも直径 20 cm 程度の安山岩円礫を剥離した礫核石器と剥片である。T 1・2・5 においては、以下の地点で遺構を検出した。

T 1 から陥し穴 : 道路際杭 R 465+11.9m から R 466 の方向へ 2 m、中心杭方向へ 2.5 m。

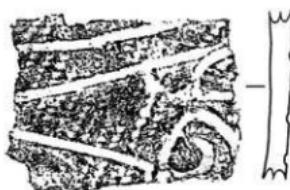
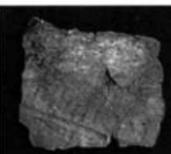
T 2 から陥し穴 : 道路中心杭 No.466 から道路中心杭 No.467 の方向へ 5 m。

T 5 から土坑 : 道路際杭 R 463+10m から R 462 の方向へ 4.5 m、中心杭方向へ 1 m。

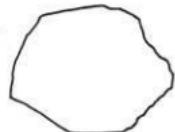
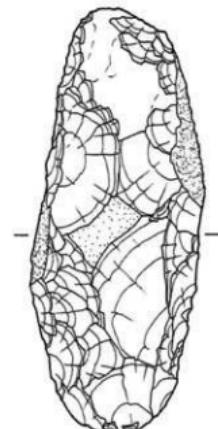
遺構は漸移層、または地山面で検出したが、遺物の検出層が地表下 40～60cm の III 層であることから、本来の遺構構築面も III 層中であると考えられる。



南庭稼遺跡 トレンチ位置図



1



2

遺物観察表

番号	出土地点	層位	種別	器種	時代	時期	備考
1	T5	Ⅲ層	縄文土器	深鉢	縄文	後期	口～胸部。
2	T4	Ⅲ層	石器	打製石斧	縄文		

6 三陸沿岸道路（階上～侍浜 IC）

鹿穂浜遺跡（IF58-1399：旧可能性あり 20）

【所在地】 九戸郡洋野町種市

第15地割地内

【事業者】 国土交通省東北地方整備局

三陸国道事務所

【調査期日】 平成25年1月23日（水）

【調査結果】 調査地はJR八戸線玉川駅から北北東へ約1.5km、小座川と和座川にはさまれた、東向きの舌状丘陵上部および傾斜地で、現況は山林となっている。

調査にあたり地形等を考慮し、調査範囲内南端の急傾斜地を省き、15箇所の試掘トレンチ（T1～15）を設定した。

基本層序は以下のとおりである。

（土坑が検出されたT10付近の基本層序）

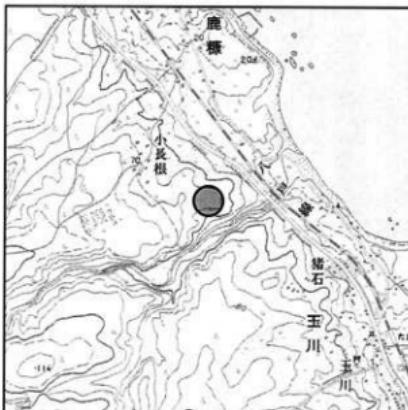
I層 表土 層厚 20cm

II層 黒色土 層厚 40cm（遺物包含層）

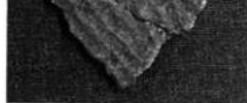
III層 暗褐色土 層厚 15～20cm（II・IV層の漸移層）

IV層 褐色土 層厚不明（遺構検出面・地山、軽石粒含む）

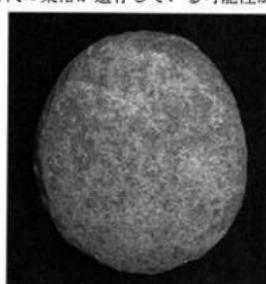
調査の結果、試掘トレンチ（T10）より土坑が1基検出され、縄文前期のものと思われる土器片を含む遺物包含層（II層・黒色土）が確認された。また、その周辺の試掘トレンチ（T1・6・12・13）から縄文土器片および磨石が出土した。遺物包含層と思われるII層は南側の傾斜地に向かうに従い、若干ではあるが薄く堆積している状況が確認された。遺物が出土した試掘トレンチが舌状丘陵の上部に集中していることから、舌状丘陵の上部付近に縄文時代の集落が遺存している可能性がある。



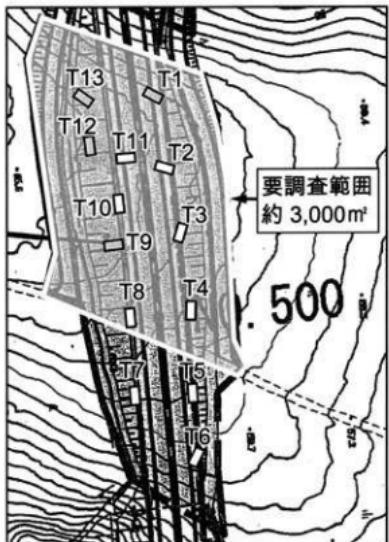
鹿穂浜遺跡 位置図



出土遺物1



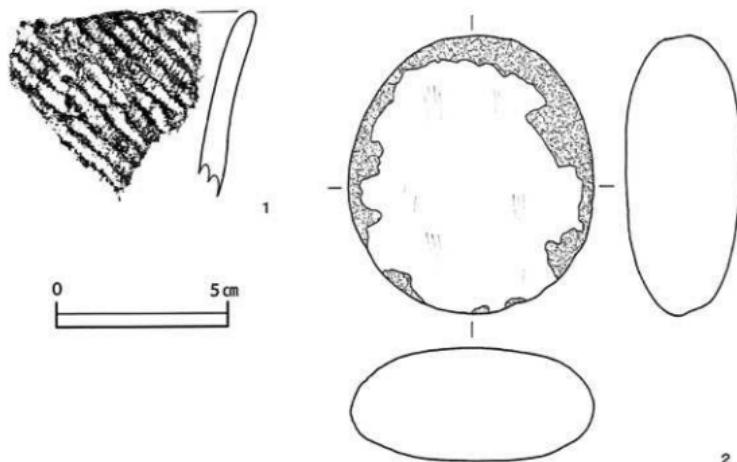
出土遺物2



鹿糖浜遺跡 トレンチ位置図



調査区全景・T 10 土坑検出状況



遺物観察表

番号	出土地点	層位	種別	器種	時代	時期	備考
1	T1	II層	縄文土器	深鉢	縄文		口縁部。
2	T124	II層	石器	磨石・敲石	縄文		

7 三陸沿岸道路（階上 IC～侍浜 IC）

宿戸遺跡 (IF69-2210: 旧可能性あり 29・31)

【所在地】 九戸郡洋野町種市

第6地割地内

【事業者】 国土交通省東北地方整備局

三陸国道事務所

【調査期日】 平成 25 年 3 月 6 日（水）

～7 日（木）

【調査結果】 調査地は洋野町立宿戸小学校から南南東へ約 0.7km、町道吹切線と町道宿戸南二号線にはさまれた丘陵先端部に位置する。現況は山林である。

調査にあたっては重機を使用し、地形等を考慮

したうえで、可能性あり 29 の範囲については 48 箇所、可能性あり 31 の範囲においては 31 箇所のトレンチをそれぞれ設定して実施した。

なお T115・116 は当初の試掘対象範囲外であったが、周辺のトレンチから流れ込みと思われる遺物の出土が認められたため、三陸国道事務所及び地権者の同意を得て追加調査を行った。

基本層序は以下のとおりである。

(可能性あり 29)

I 層 表土 層厚 10～20cm

II 層 黒色土 層厚 20～30cm

III 層 黒褐色土 層厚 30～45cm (縄文土器出土)

IV 層 暗褐色土 層厚 10～20cm (軽石粒含む)

V 層 黄褐色土 層厚不明 (地山)

(可能性あり 31)

I 層 表土 層厚 10～20cm

II 層 黒色土 層厚 20～70cm (表土下 30～50cm 縄文遺物)

III 層 暗褐色土 層厚 15～30cm

IV 層 暗褐色土 層厚 10～20cm (軽石粒含む)

V 層 黄褐色土 層厚不明 (地山)

(可能性あり 29 の範囲について)

調査の結果、概ね基本層序のような堆積状況が確認されたが、特に T7 を中心 (T7～10) に、縄文時代中期中葉～後期初頭頃の遺物が比較的多く出土した。沢にはさまれた扇状地状の地形であり、周辺に縄文の遺構が存在する可能性が想定される。



宿戸遺跡 位置図

(可能性あり 31 の範囲について)

調査の結果、概ね基本層序のような堆積状況が確認されたが、丘陵上を中心に多数のトレーンチにおいて、縄文時代前期から中期後葉の遺物（土器・石器）が出土した。

今回の調査では遺構を確認することはできなかつたが、調査地は丘陵上の安定した平場であり、遺物の出土量からみても、縄文の集落が存在すると判断される。

調査地北側（T103～116）に関しては削平を受けている箇所も多く遺物包含層は部分残存であるが、南側から続く一連の地形上であり、遺構は残存している可能性が高いものと思われる。

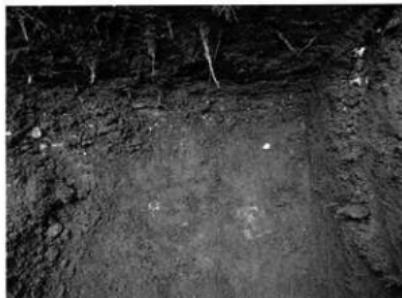
※ なお、試掘の結果、可能性あり 29・31とともに、一連の地形上に所在するものと判断されたことから、統合のうえ宿戸遺跡として登録されることとなった。



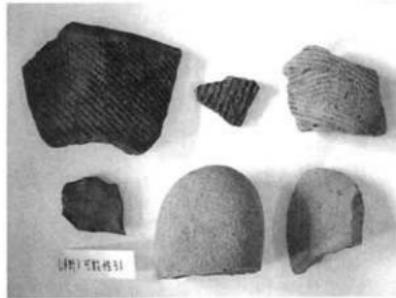
調査前風景（旧可能性あり 31）



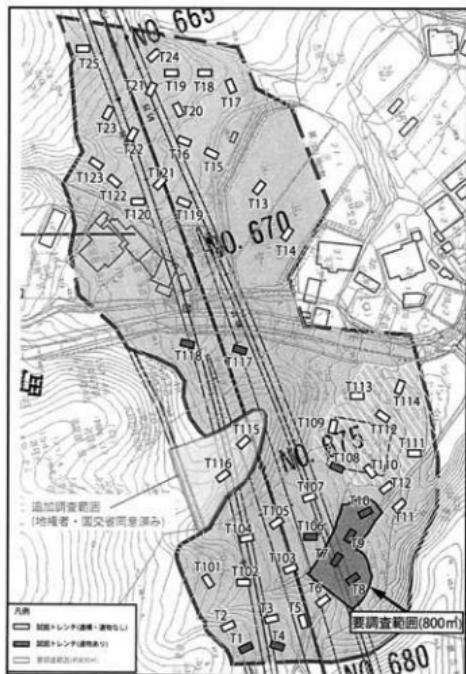
調査風景（旧可能性あり 29）



T 7 土器出土状況（旧可能性あり 29）



T 115 出土土器（旧可能性あり 31）

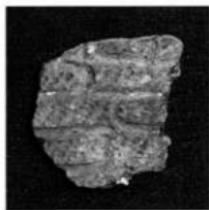


宿戸遺跡トレンチ位置図（旧可能性あり 29）



宿戸遺跡トレンチ位置図（旧可能性あり 31）

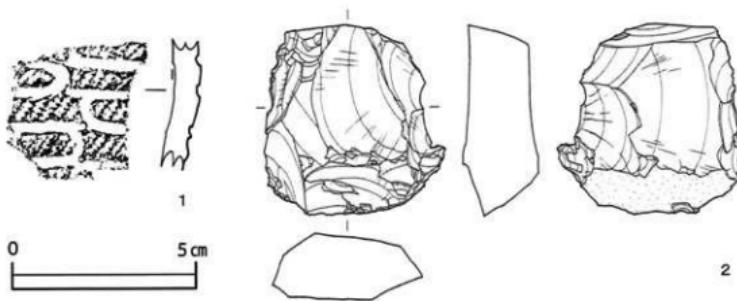
【旧可能性あり 29】



出土遺物 1



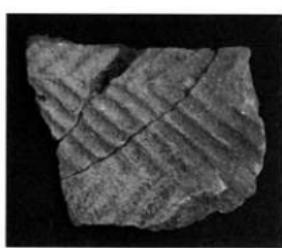
出土遺物 2



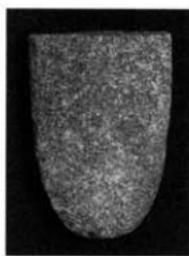
遺物観察表

番号	出土地点	層位	種別	器種	時代	時期	備考
1	T118	Ⅲ層	縄文土器	深鉢	縄文	中期～後期	
2	T112	Ⅲ層	石器	剥片	縄文		

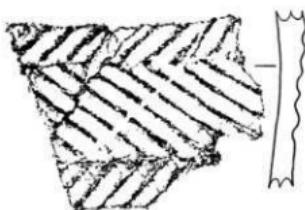
【旧可能性あり 31】



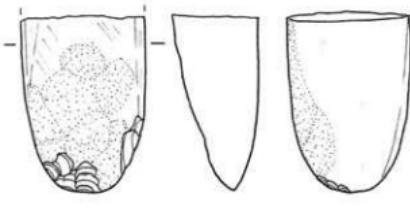
出土遺物 3



出土遺物 4



3



4



遺物観察表

番号	出土地点	層位	種別	器種	時代	時期	備考
3	T 5	II層	縄文土器	深鉢	縄文	前期?	多条 LR・RL 非結束羽状縄文。
4	T 109	II層	石器	磨石	縄文		

8 三陸沿岸道路（階上～侍浜 IC）

南八木遺跡 (IF79-1217 : 旧可能性あり 38)

【所在地】 九戸郡洋野町種市

第2地割地内

【事業者】 国土交通省東北地方整備局

三陸国道事務所

【調査期日】 平成 25 年 3 月 11 日（月）

～12 日（火）

【調査結果】 調査地は J R 八戸線陸中八木駅から西南西約 0.9km に位置し、沢を伴う扇状地状の平坦地と背後の丘陵へ続く緩斜面で構成される。現況は山林及び荒蕪地である。調査区内を八木川及びその支流が流れている。



南八木遺跡 位置図

基本層序は以下のとおりである。

I 層 表土 層厚 20～30cm

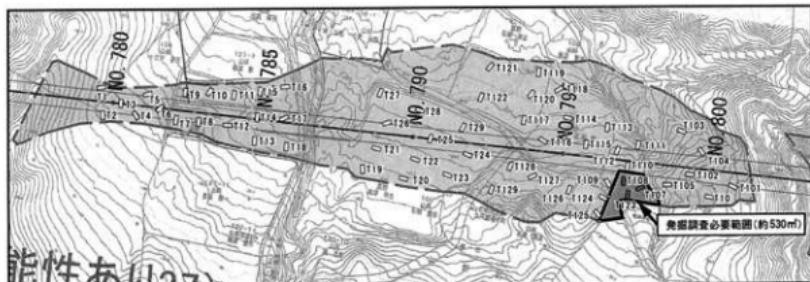
II 層 黒色土 層厚 50～60cm (表土下 40～50cm、排溝場)

III 層 黒褐色土 層厚 10～15cm

IV 層 黄褐色土 層厚不明 (ローム、地山)

調査は重機を使用し、地形等を考慮したうえで 58 箇所のトレンチ (T 1～58) を設定して行った。調査の結果、T 123・107・108 を中心に鉄滓及びフイゴの羽口が出土した。特に T 123 はトレンチ全面から出土し、遺物量から排溝場と考えられる。鉄滓等のみのため時期比定が難しいが、大型のフイゴ羽口が出土していることから、近世の可能性も考えられる。

近くに支流が流れ、童神神社を中心に緩斜面が広がることから、近辺に製鉄炉が存在すると予想される。



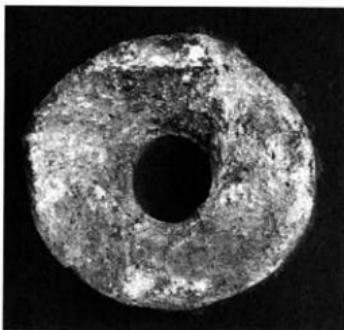
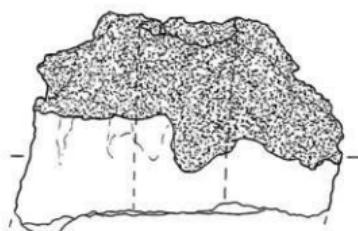
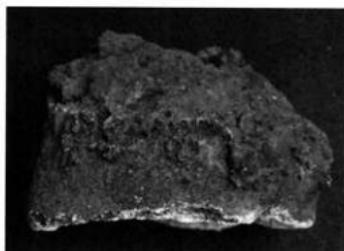
南八木遺跡 トレンチ位置図



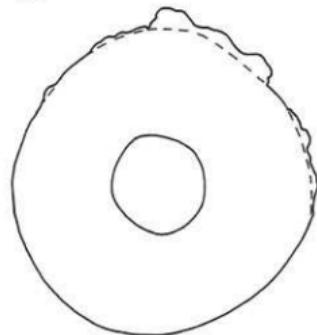
調査前風景



T 107 排溝場検出状況



出土遺物 1



0 5 cm

遺物観察表

番号	出土地点	層位	種別	器種	時代	時期	備考
1	T123	II層	土製品	羽口		不明	

9 三陸沿岸道路（階上～侍浜 IC）

下向遺跡

(IF89-1394 : 旧可能性あり 47A 地点)

中野城内遺跡

(IF89-2304 : 旧可能性あり 47B 地点)

【所在地】 九戸郡洋野町中野

第6地割地内

【事業者】 国土交通省東北地方整備局

三陸国道事務所

【調査期日】 平成 24 年 10 月 24 日（水）

～25 日（木）

【調査結果】 調査地は洋野町立中野小学校から南南東へ約 1 km の地点に位置し、有家川と町道石角楽線の間の東側へ傾斜する丘陵緩斜面に立地する。本木川に合流する支流が調査地内を横断している。調査は本木川支流を境に支流より北側を A 地点、南側を B 地点とし、A 地点 32 箇所、B 地点 22 箇所のトレンチを設定し、調査を行った。基本層序は以下のとおりである。

(A 地点 : 支流から北側)

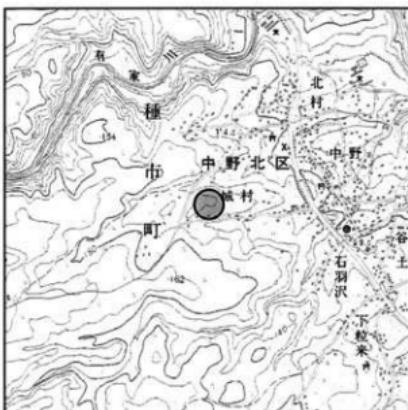
I 层 表土	層厚 10～15cm
II 層 暗褐色土	層厚 10～15cm
III 層 褐灰色土	層厚 20～40cm
IV 層 暗黄褐色土	層厚 10～15cm
V 層 黄褐色土	層厚不明 (ローム・地山)

(B 地点 : 支流から南側)

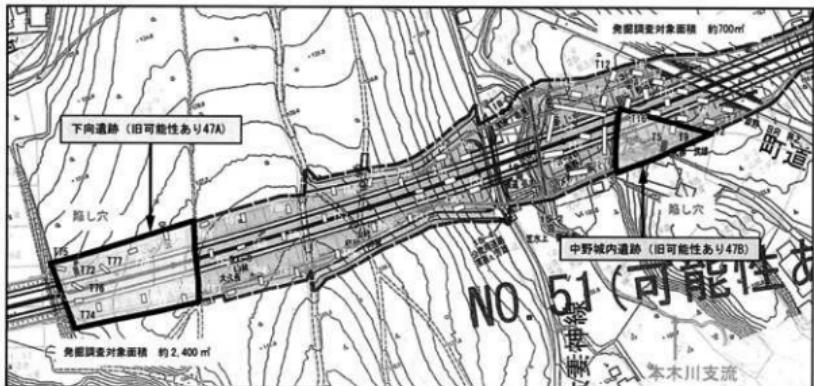
I 层 表土	層厚 10～30cm
II 层 黒色土	層厚 30～70cm (支流付近は II 层以下に砂層が入る)
III 层 褐色土	層厚 10～15cm (軽石粒含む)
IV 层 褐色土	層厚不明 (ローム・地山)

調査の結果、A 地点では T72 より陥し穴 1 基 (長さ 1.2m 以上・幅 0.5m・深さ 0.9m) が、B 地点でも T5 より陥し穴 1 基 (長さ 1.8m 以上・幅 0.5m・深さ 0.5m) が検出された。B 地点に関しては、現在の宅地周辺が本来の地形を留めていると判断され、今回調査できなかった宅地周辺において、さらに陥し穴が存在する可能性が高いものと思われる。

なお、可能性あり 47 の A 地点・B 地点については、試掘結果により地形が分断されることが判明したことから、支流から北側 A 地点を下向遺跡、南側 B 地点を中野城内遺跡として新規登録された。



下向遺跡（北側）・中野城内遺跡（南側） 位置図



下向遺跡・中野城内遺跡 トレンチ位置図



調査風景



T 5 (左) T 72 (右) 陥し穴棲出状況

10 三陸沿岸道路（普代～久慈 IC）

芦ヶ沢遺跡 (JF49-1313 : 可能性あり 29)

【所在地】 久慈市長内町

第 17 地割地内

【事業者】 国土交通省東北地方整備局

三陸国道事務所

【調査期日】 平成 25 年 1 月 24 日 (木)

～25 日 (金)

【調査結果】 調査地は、久慈市役所の南西約 4.6 km に位置する国道 45 号線に面した丘陵地である。標高約 75～90m の丘陵地 12,800 m² に大小 27 のトレンチ (T 1～27) を設定し、

試掘調査を行った。

基本層序は以下のとおりである。

I 層	表土(茶褐色土)	層厚 20cm
II 層	表土と黒褐色土の漸移層	層厚 20cm
III 層	黒褐色土	層厚 30 cm (遺物包含層)
IV 層	暗褐色土	層厚 30cm
V 層	黄褐色粘土質シルト	層厚不明

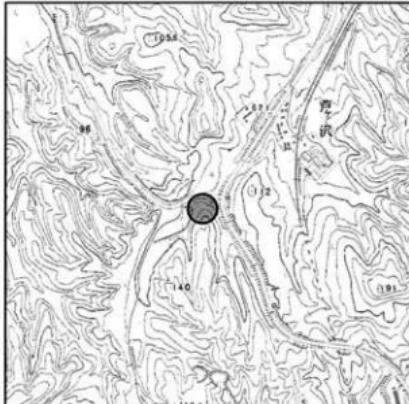
なお、調査対象区東半分では、周辺の道路工事によるものと考えられる現代の盛土が非常に厚い状況で確認された。

標高の低い調査区東側においては、近年に周辺道路が整備された際のものと考えられる厚い盛土があり、その下層からは遺構・遺物ともに確認はできなかった。

標高の高い調査区西側の南半分、T 2～4 の黒褐色土(III層)において、多量の縄文時代前期前葉のものと思われる遺物が出土した。周辺では同時代の多くの遺物と遺構が検出される可能性が高い。

調査区西側の北半分においては、T 8 において縄文時代の陥し穴と考えられる溝状土坑 1 基が検出されたが、遺物の出土はなかった。

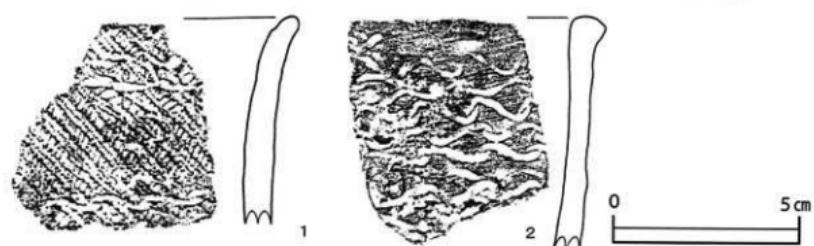
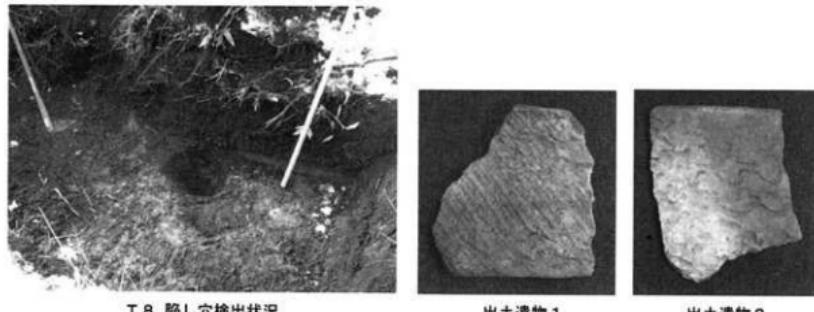
調査対象区中央部の工事用センター杭 No.929 付近に谷地形が東西に走っており、その南側では縄文時代の遺構・遺物、北側では遺構のみが存在する可能性が考えられる。



芦ヶ沢遺跡 位置図



芦ヶ沢遺跡 トレンチ位置図



遺物観察表

番号	出土地点	層位	種別	器種	時代	時期	備考
1	T2	Ⅲ層	縄文土器	深鉢	縄文	前期	結節回転文。
2	T2	Ⅲ層	縄文土器	深鉢	縄文	前期	S字状連鎖沈文。

11 三陸沿岸道路（普代～久慈 IC）

上代川遺跡 (JG61-2056 : 旧可能性あり 9)

【所在地】 九戸郡野田村米田地内

【事業者】 国土交通省東北地方整備局

三陸国道事務所

【調査期日】 平成 24 年 11 月 28 日 (水)

～30 日 (金)

【調査結果】 調査地は三陸鉄道北リアス線野田玉川駅から西北西へ約 500m に位置し、和佐羅比山から東側へ伸びる丘陵端部と、その周辺の谷地形・緩斜面に立地する。現況は山林及び休耕地である。調査区中央部付近に小川が流れている。



上代川遺跡 位置図

調査にあたっては可能な限り重機を使用することとし、樹木等の関係で重機の進入が厳しい箇所は人力で行った。調査箇所は 53 箇所 (T 1 ～ 53) である。

なお調査地西側中央部付近に関しては、湿地で調査が不可能だったためトレンチを設定しなかった。

基本層序は以下のとおりである。

I 層 表土 層厚 20 ～ 40 cm

II 層 暗褐～黒褐色土 層厚 20 ～ 50 cm (分層できる可能性あり)

III 層 褐色土 層厚不明 (地山)

調査の結果、概ね基本層序のような堆積状況が確認されたが、II 層は出土遺物の時期差から 2 つに分層できる可能性もある。小川をはさんで調査地北側の丘陵斜面で遺構が多く検出され、T 1 ・ 4 ・ 9 ・ 11 ・ 14 から鉄滓を伴う焼土あるいは炭化物の広がりが、T 6 ・ 7 から多量の鉄滓が確認されたことから、複数基の製鉄関連遺構が存在するものと思われる。

また T 14 ・ 19 からは繩文土器と土師器が出土したが、特に T 19 の土師器は完形であり、遺構に伴う遺物の可能性も考えられる。

なお、小川をはさんだ調査区南側に関しては遺構・遺物は確認されなかった。



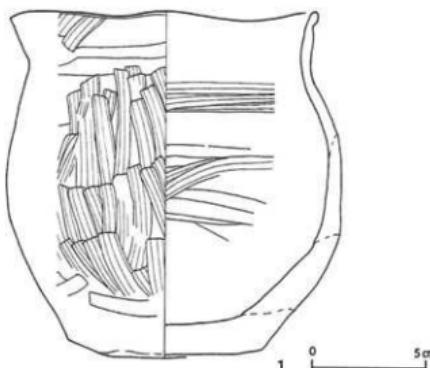
上代川遺跡 トレンチ位置図



T4 焼土と鉄滓



T19 から出土した完形の土師器



出土遺物 1

遺物観察表

番号	出土地点	層位	種別	器種	時代	時期	備考
1	T19	II層	土師器	壺	奈良		ほぼ完形で出土。

12 三陸沿岸道路（普代～久慈 IC）

力持遺跡 (JG92-0137)

【所在地】 下閉伊郡普代村第16地割

字天拵坂地内

【事業者】 国土交通省東北地方整備局

三陸国道事務所

【調査期日】 平成25年3月18日(月)

【調査結果】 調査地は普代村役場から北へ約2km、西側の山稜から続く緩傾斜地上に所在する。当該地の南側は力持川、北側は刺畑沢と接し、河床面よりも数m高い段丘状の地形(標高55m前後)を呈している。



力持遺跡 位置図

隣接する国道45号線については、三陸沿岸道路の普代バイパスとして事業中(平成25年10月13日開通)であり、平成13~15年度の3か年にわたり6,664m²の本調査が実施され、縄文時代前期前葉～晩期に係る膨大な量の遺構や遺物が確認されている。

今回の調査では、周知の遺跡範囲と重複する中央付近から北側にかけて、トレンチを4箇所(T1～4)設定した。

基本層序は以下のとおりである。(T1～2・4)

I層 表土 層厚5～10cm (耕作土・腐植土)

II層 黒褐色土 層厚10～20cm (縄文時代の遺物を多く含む。遺構と重複の可能性あり)

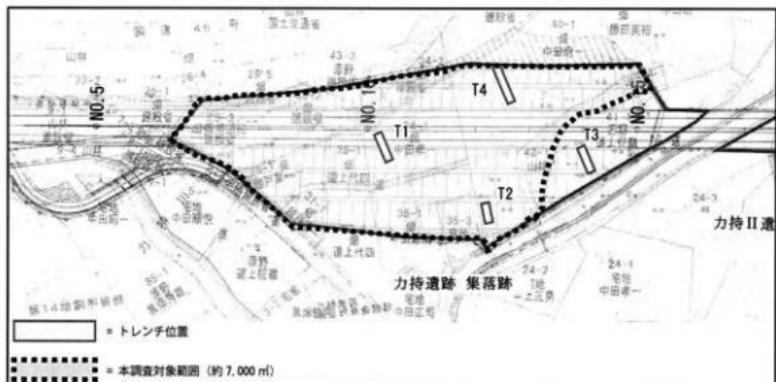
III層 暗褐色土 層厚10～20cm (縄文時代の遺物を多く含む。遺構と重複の可能性あり)

(※IV層以降については、凍土により人力掘削が困難となったため、掘り下げを中止)

その結果、周囲より一段高い段丘面上にあるT1～2・4については、耕作等による削平や擾乱の影響を受けておらず、II層およびIII層において、遺物を多く含んだ黒色土・暗褐色土の層位を確認した。人力により、更なる試掘範囲の拡大や下層への掘り下げを試みたものの凍土により不可能であった。当該トレンチで確認された各層位は、隣接地における過去の本調査内容等から、竪穴住居跡や土坑等、遺構の一部である可能性が高いものと推測される。

一方で、北東側の刺畑沢と接する一段低い段丘面については、沢の氾濫等の影響により疊が多く、遺構や遺物は一切確認できなかった。

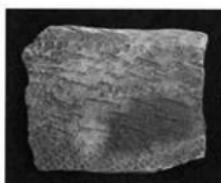
今回の試掘と隣接地の調査結果から、当該地の一段高い段丘面上においては、著しく濃密な遺構や遺物の所在が予想される。



力持遺跡 トレンチ位置図



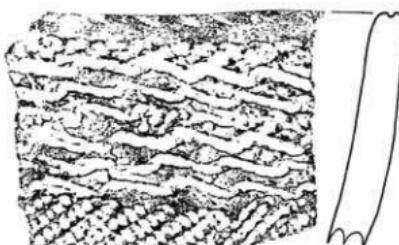
表探できる数多くの遺物



出土遺物 1



出土遺物 2



1



2

0 5 cm

遺物観察表

番号	出土地点	層位	種別	器種	時代	時期	備考
1	T4	II層	縄文土器	深鉢	縄文	前期	口縁部に結節回転文。
2	T4	II層	縄文土器	深鉢	縄文	前期～中期	貼付隆線上に原体側面圧痕。

13 三陸沿岸道路（田野畠南～尾肝要 IC）

菅窪長屋構Ⅲ遺跡

(KG22-2219 : 旧可能性あり 14)

【所在地】 下閉伊郡田野畠村菅窪地内

【事業者】 国土交通省東北地方整備局

三陸国道事務所

【調査期日】 平成 24 年 11 月 28 日（水）

～30 日（金）

【調査結果】 調査地は田野畠村役場から南東約 800m にある丘陵の東側に伸びる尾根の先端に位置する。現況は山林である。

周辺には香炉形土器や両頭石棒などの縄文時代晩期の遺物や竪穴住居跡が確認された菅

窪遺跡 (KG22-2354) や、縄文時代と古代の散布地として周知されている菅窪長屋構Ⅰ遺跡 (KG22-2354) などの遺跡が存在する。

当該地は眼下に眺望が開けた立地から、中世の館跡などが立地する可能性があったため、試掘調査を実施することとなった。

調査は、幅約 1m、長さ約 2m を標準とするトレンチを人力掘削により 3 箇所、重機掘削により 4 箇所をそれぞれ設定し調査を実施した。

基本層序は以下のとおりである。

I 層 表土 層厚 20cm

II 層 灰褐色土 層厚 10～15cm (腐植土混じる)

III 層 淡橙色土 層厚 10cm

IV 層 橙色土 層厚不明 (地山)

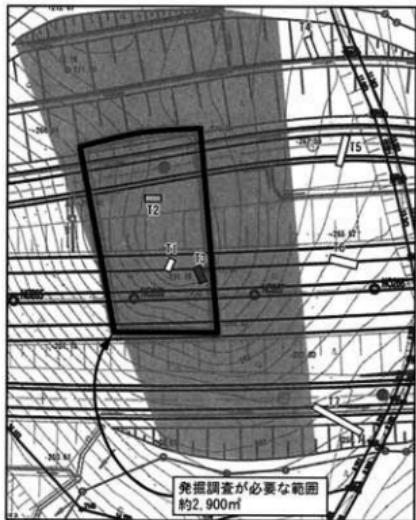
調査の結果、トレンチ 2・3 において炭化物を多く含む茶褐色土の埋土をもつ 2 基の土坑やビットを検出した。トレンチ 3 で検出した土坑 1 基は、直径 1.6m 以上、深さ 25cm 以上を測る皿状の浅いもので、埋土より縄文土器や脚付の石皿が出土した。土坑内部には直径 40cm ほどの柱穴と見られるビットが認められることから、これらの遺構は竪穴住居跡の可能性も考えられる。

一方、丘陵の北側緩斜面に設定した 4 箇所のトレンチでは、植林に伴う搅乱などもあり、明確な遺構・遺物は検出されなかった。

今回の調査では、周囲の集落を一望にできる尾根先端の狭い平坦地において、縄文時代の住居跡とみられる遺構を検出した。こうした立地は縄文時代の集落としては特異なものといえよう。



菅窪長屋構Ⅲ遺跡 位置図



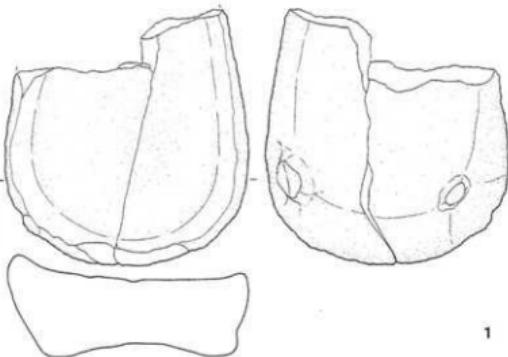
菅原長屋構III遺跡 トレンチ位置図



調査風景・T 3 遺構検出状況



出土遺物 1



1

0 5cm

遺物観察表

番号	出土地点	層位	種別	器種	時代	時期	備考
1	T3 土坑	埋土	石器	石皿	縄文		支脚・欠損あり。砂岩。

14 三陸沿岸道路（田野畠南～尾肝要 IC）

菅窪遺跡（KG22-2354）

【所在地】 下閉伊郡田野畠村菅窪地内

【事業者】 国土交通省東北地方整備局

三陸国道事務所

【調査期日】 平成 25 年 3 月 5 日（火）

～6 日（水）

【調査結果】 調査地は田野畠村菅窪地区の東側に伸びる丘陵上に位置し、現況は畑・果樹園及び山林となっている。周知の包蔵地である菅窪遺跡（KG22-2354）の範囲内に立地している。

調査は、重機と一部人力を使用して対象地に幅 1 m、長さ 2 ～ 3 m のトレンチを 21 箇所設

定（T 1 ～ 11・108 ～ 117）し、遺構・遺物の分布を確認することとした。

基本層序は以下のとおりである。

I 層 表土 層厚 5 ～ 10 cm

II 層 暗褐色土 層厚 0 ～ 50 cm

III 層 黒褐色土 層厚 0 ～ 20 cm (遺物包含層)

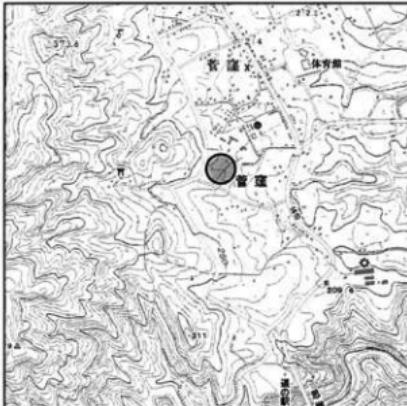
IV 層 褐色土 層厚 不明 (一部に礫が多量に混入・地山)

調査の結果、層厚に差異はあるものの、対象地全域でほぼ基本層序どおりの土層が堆積しているのが確認された。

南側の山林・果樹園に設定したトレンチ（T 1 ～ 11）では土地の改変が顕著で、遺構・遺物とも確認されなかった。また、北側緩斜面の畑地（T 108 ～ 109）では造成による改変があり、遺構・遺物は確認されなかった。

調査区中央付近にある果樹園（りんご畠）の丘陵部上部（T 110 ～ 113 付近）は削平されており、北向き斜面とともに遺構・遺物は確認されなかったが、南向き緩斜面の下部（T 114 ～ 116 付近）では遺物包含層が 10 ～ 20 cm の厚さで確認されたことから、当該地においては本調査が必要と判断される。

菅窪遺跡は繩文時代晚期の遺跡として周辺で確認されているが、今回の試掘で出土した土器は時期の判断が困難なものがほとんどであった。また、メノウ製の剝片が出土している。



菅窪遺跡 位置図



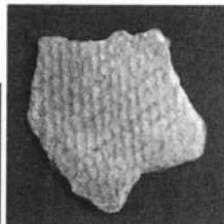
菅原遺跡 トレンチ位置図



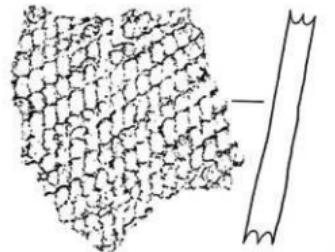
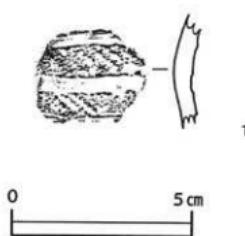
T114 遺物包含層（白線部分）



出土遺物 1



出土遺物 2



遺物観察表

番号	出土地点	層位	種別	器種	時代	時期	備考
1	T114	II層	縄文土器	深鉢	縄文	中期?	
2	T115	III層	縄文土器	深鉢	縄文		

15 三陸沿岸道路（田野畠南～尾肝要 IC）

島越 XIV 遺跡 (KG33-2068: 旧可能性あり 3)

【所在地】 下閉伊郡田野畠村島越地内

字浜岩泉 135 ほか

【事業者】 国土交通省東北地方整備局

三陸国道事務所

【調査期日】 平成 25 年 2 月 4 日（月）

【調査結果】 調査地は田野畠村立浜岩泉小学校から北西へ約 200m の所へ位置し、南東方向へ延びる丘陵裾の舌状台地上にある。調査区の現況は荒蕪地となっている。

北方向約 100m に時期不明の散布地である大芦 II 遺跡 (KG33-2078) が、南方約 100m に繩文・弥生の散布地である島越 II 遺跡 (KG33-2047) がある。

調査は重機を用いて行い、5箇所のトレンチ (T 1 ~ 5) を設定して行った。

基本層序は以下のとおりである。

I 層	表土	層厚 5 ~ 15cm
II 層	濁褐色土	層厚 10 ~ 20cm
III 層	濁褐色土	層厚 20 ~ 30cm (粘性を帯びる)
IV 層	濁暗褐色土	層厚 20 ~ 30cm
V 層	褐色土	層厚 不明 (硬くしまる・地山)

調査の結果、T 4 から繩文土器が、同じく T 5 からは多数の繩文土器と遺構が検出された。

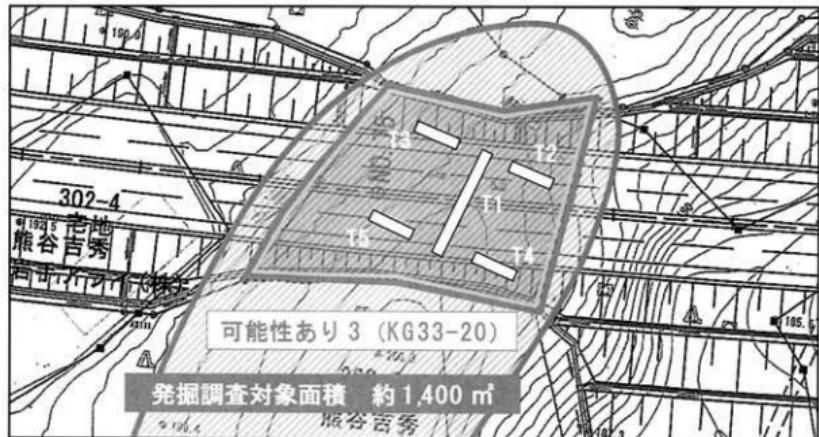
出土した繩文土器は、特徴から繩文時代中期のものと推定される。

検出された遺構は、長さ約 70 cm で石が一列に並んでおり、近接した場所からは焼土らしきものも検出されている。一列のみが確認されたことから配石炉になるかは不明であるが、炉跡の可能性も考えられる。

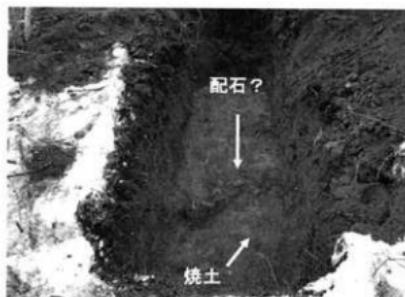
調査地は安定した平場と南側への緩斜面で構成されていることから、出土したトレンチ以外にも、包含層及び遺構が広がっている可能性が高いものと判断される。



島越 XIV 遺跡 位置図



調査風景



T 5 出土遺物（縄文土器）と検出遺構（焼土・配石）

16 三陸沿岸道路（田野畠南～尾肝要 IC）

島越Ⅱ遺跡 (KG33-2047 : 旧可能性あり 4)

【所在地】 下閉伊郡田野畠村浜岩泉地内

【事業者】 国土交通省東北地方整備局

三陸国道事務所

【調査期日】 平成 24 年 11 月 26 日（月）

～27 日（火）

【調査結果】 調査地は田野畠村役場の南約 4km に位置する田野畠村浜岩泉の東向きの丘陵上に立地する。現状で牧場放牧地である。

周辺には縄文時代・弥生時代の散布地である島越Ⅱ遺跡 (KG33-2047) や遮光器土偶が出土した浜岩泉Ⅱ遺跡 (KG43-0016) などの遺跡が存在する。

当該地は島越Ⅱ遺跡に隣接する尾根上に立地することから、遺跡が広がっている可能性があるため、試掘調査を実施することとなった。

調査は、重機を使用して対象地に幅 1.5m、長さ 15～25m（標準）のトレンチを設定し、遺構・遺物の分布を確認することとした。

基本層序は以下のとおりである。

（遺構・遺物が確認された T128 周辺の基本層序）

I 層 表土 層厚 20～30cm

II 層 淡橙色シルト 層厚 10～30cm

III 層 橙色土 層厚不明（地山）

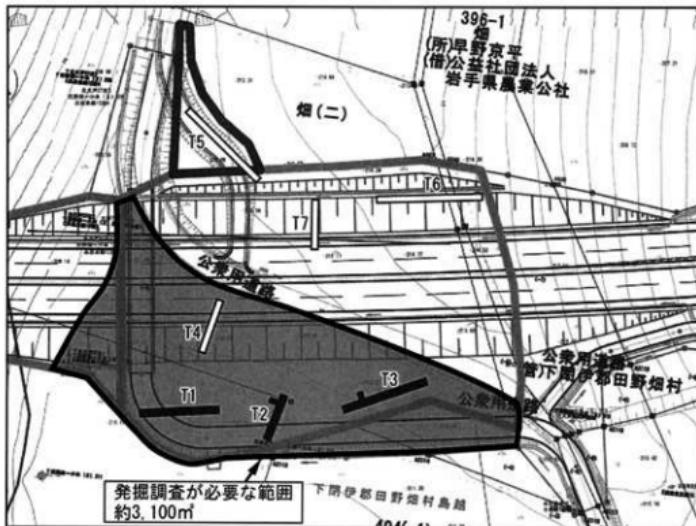
調査の結果、調査地東半部において、縄文土器を伴う土坑 1 基、陥し穴 2 基を検出した。トレンチ 1 で検出した土坑は 1 辺 2m 以上を測り、褐茶色シルトの埋土をもつ。埋土上部より縄文土器 1 点が出土した。陥し穴はともに狭い溝状を呈し、断面形が V 字形となる。トレンチ 2 で検出した陥し穴 1 は、長さ 3.5m、幅 0.45m、深さ 0.9m を測る。トレンチ 3 で検出した陥し穴 2 は長さ 2.5m、幅 0.55m、深さ 0.7m 以上を測る。

一方、調査地の西半部では、4箇所のトレンチ全てにおいて、遺構・遺物は検出されなかった。

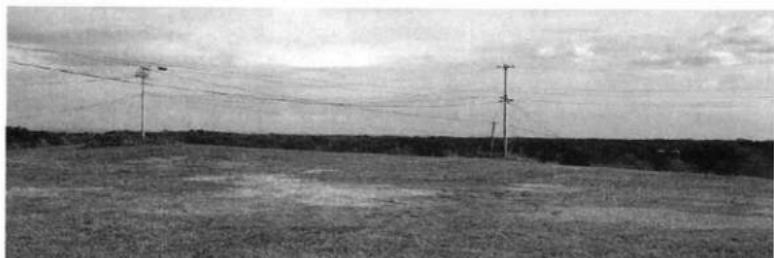
以上のことから調査地の東半部は、縄文集落の縁辺部に土坑や陥し穴がまばらに点在する状況が想定され、隣接する島越Ⅱ遺跡に含まれるものと判断される。



島越Ⅱ遺跡 位置図



島越II遺跡 トレンチ位置図



調査区全景と陥し穴検出状況 (T 2・T 3)

17 三陸沿岸道路（田野畠南～尾肝要 IC）

浜岩泉III遺跡 (KG33-2096)

【所在地】 下閉伊郡田野畠村大芦 14

及び字浜岩泉 135 ほか

【事業者】 国土交通省東北地方整備局

三陸国道事務所

【調査期日】 平成 25 年 1 月 30 日（水）

～31 日（木）

【調査結果】 調査地は、主要地方道 44 号線と国道 45 号線の交差点より北北東に 450m 付近、海岸段丘の丘陵に位置する。現況は、東向き舌状に張り出した丘陵緩斜面の牧草地と一段下がった東向き緩斜面の牧草地である。



浜岩泉III遺跡 位置図

周知の埋蔵文化財包蔵地である浜岩泉III遺跡 (KG33-2096) の東側を含む隣接地で、南東部には松林が残っている。

遺跡内の松林を人力及び小型重機で、遺跡及び隣接地の緩斜面を中型重機により調査を実施した。

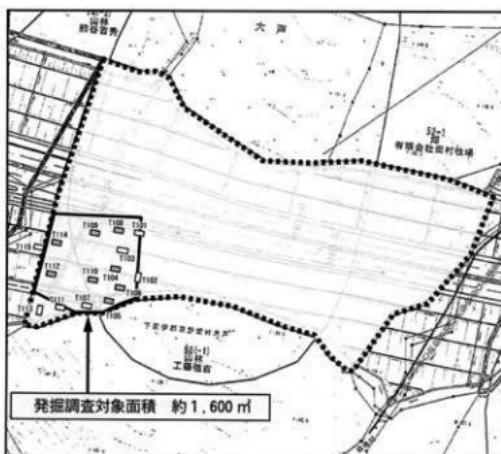
基本層序は以下のとおりである。

I 層 表土	層厚 10～20 cm	(黒褐色・腐葉土)
II 層 黒褐色土	層厚 0～20 cm	
III 層 黒色土	層厚 0～20 cm	
IV 層 暗褐色土	層厚 0～25 cm	
V 層 明褐色土	層厚不明	(地山)

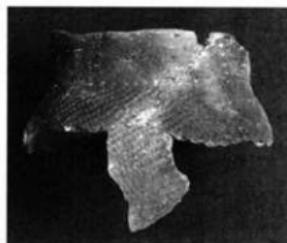
調査の結果、調査区南東の現況が松林の場所より、遺構および遺物が出土している。

具体的には、T 108・110 から焼土遺構が検出され、T 104～106・108・112・114 からは縄文土器片が各数点、T 109 からは磨石が 1 点出土している。

その他の丘陵緩斜面の牧草地からは、V 層以下を掘り下げて調査を行ったものの、遺構・遺物ともに確認することはできなかった。



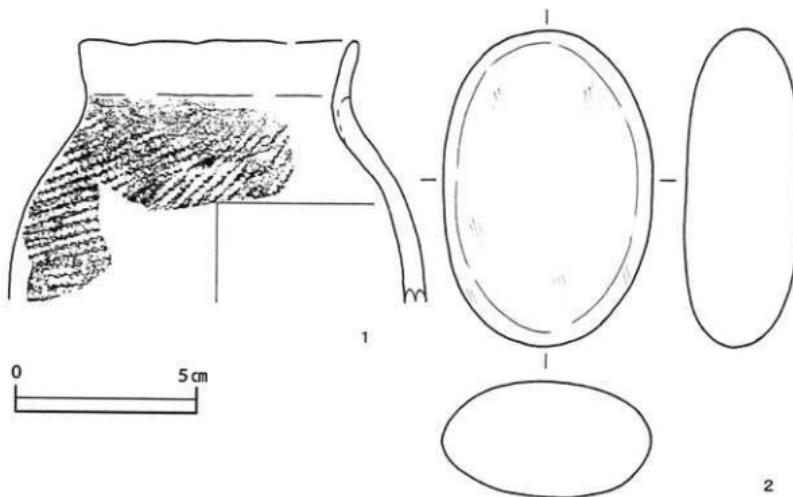
浜岩泉Ⅲ遺跡 トレンチ位置図



出土遺物 1



出土遺物 2



遺物観察表

番号	出土地点	層位	種別	器種	時代	時期	備考
1	T112		縄文土器	壺形?	縄文	前期～中期	口縁～胴部。
2	T105		石器	磨石	縄文		全体的に磨痕あり。

18 三陸沿岸道路（田老～岩泉南 IC）

小成Ⅱ遺跡 (KG64-1048 : 旧可能性あり 4)

【所在地】 宮古市田老接待および

岩泉町小本地内

【事業者】 国土交通省東北地方整備局

三陸国道事務所

【調査期日】 平成 24 年 11 月 5 日（月）

～ 9 日（金）

【調査結果】 調査地は国道 45 号線の宮古市と岩泉町の境界部分に所在する。行政境界を流れる小成川は、刺柄岳に源流をもつ河川であり、太平洋に面する茂師漁港へと注ぐ。小成川が山間部から平野部に流れ出る付近の北岸には、川に沿って延びる幅狭い平地と緩斜面が形成されており、小成川に注ぐ葦沢などの河川がそれらを分断している。当該地はこれらの平地・緩斜面に位置しており、現状で水田・畑地・山林となっている。こうした河川に隣接する平坦地では縄文時代の集落が形成されている可能性が高いため、試掘調査を実施することとなった。

調査は、重機を使用して掘削を行うこととし、林間地など重機の進入が困難な場所のみ人力により調査トレンチを掘削した。トレンチは幅約 2 m、長さ約 3 m を標準とし、80 箇所のトレンチ（重機掘削 73 箇所・人力掘削 7 箇所）を設定した。

基本層序は以下のとおりである。

（遺構・遺物が確認された T128 周辺の基本層序）

I 層 耕作土 層厚 15～20 cm

II 層 黒色ブロック土 層厚 5 cm (床土)

III 層 黒色シルト 層厚 20～30 cm (遺物包含層)

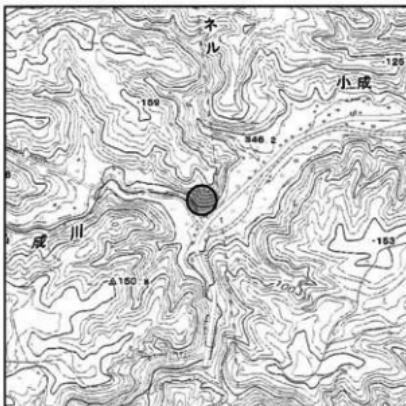
IV 層 暗茶灰色礫土 層厚 10 cm (遺構検出面)

V 層 茶色砂礫・シルト 層厚不明 (地山)

調査の結果、インターランプ予定地の東半部分 (T128) において、縄文土器を伴う竪穴住居跡とみられる直径 2 m 以上の土坑を検出した。また、隣接する T114・118 において縄文土器が確認された。

遺構・遺物が確認されたトレンチと周辺地形からみて、小成川へ伸びる微高地部分の範囲 (約 2,000 m²) に縄文時代の集落跡が広がっているものと思われる。

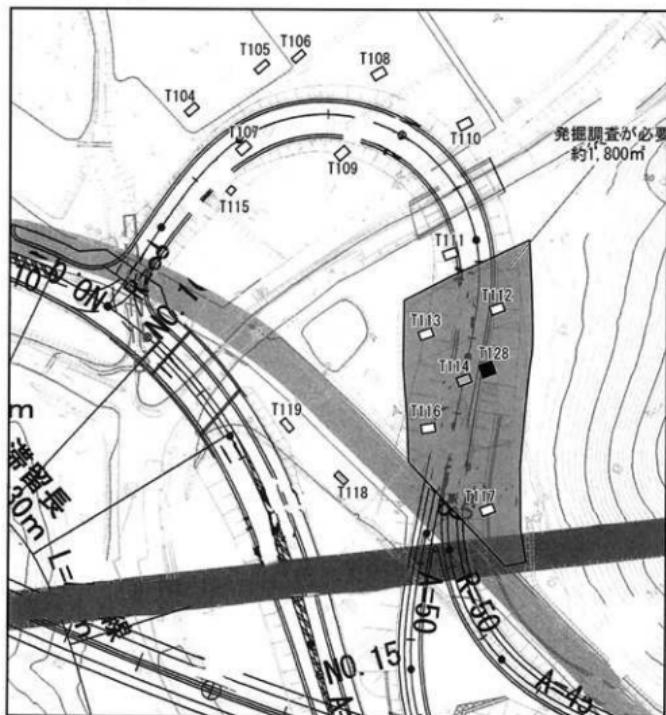
一方、調査地中程の緩傾斜地 (国道 45 号線と葦沢の間の部分) においても、T120・124～125・127 で地山直上に形成された黒色礫土中より若干量の縄文土器が出土したが、これらについては、各トレンチ 1・2 点と少量であり、明確な遺構が検出されなかったことから、周辺部よりの流れ込みと判断



小成Ⅱ遺跡 位置図

される。

また、他のトレンチでは、一部のトレンチでⅡ層と類似した土層を検出したものの、明確な遺構・遺物は確認できなかった。



小成Ⅱ遺跡 トレンチ位置図（遺構を検出した行政境界付近のみ）



調査区全景



土層確認状況

19 三陸沿岸道路（山田～宮古南 IC）

津軽石大森遺跡（LG53-1207）

【所在地】 宮古市津軽石第4地割大森地内

【事業者】 国土交通省東北地方整備局

三陸国道事務所

【調査期日】 平成25年2月4日（月）

～5日（火）

【調査結果】 津軽石大森遺跡は、宮古湾の最奥部に流れ込む津軽石川左岸にあり、JR津軽石駅の西側約400mに位置する。遺跡は、縄文時代中・後期の遺物散布地として周知されている。また、周辺には、馬越I遺跡（LG53-0268）

や沼里遺跡（LG53-1225）などの縄文時代・古代の集落跡や散布地が近接して存在する。

当該地は津軽石小学校の西側の緩斜面であり、現状で耕作地・山林であった。

今回の調査は、重機や人力を用いて30箇所のトレンチを設定し、遺構・遺物の有無を確認した。なお、ここでは、調査地中ほどを流れる谷川を境として、南北2地区に分けて調査を実施した。

基本層序は以下のとおりである。

（遺構・遺物が確認されたT105付近の層序）

I層 表土 層厚 20～45cm

II層 黒灰色土 層厚 25～150cm

III層 黄褐色土 層厚不明（地山）

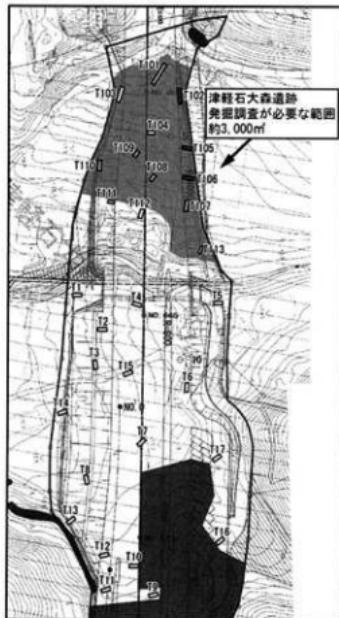
調査の結果、南地区に設定したT102・105～106より古代の竪穴住居跡や土坑などの遺構を検出した。T102で確認した竪穴住居跡は直径2.2m以上の円形を呈し、埋土（黒褐色土）に焼土を含む。また、T105で検出した遺構は焼土を伴うことから、竪穴住居跡の可能性が高い。

これらのトレンチのほか、T101・107～110からは、表土・黒灰色土などから縄文土器・土師器が出土した。一方、北地区に設定したT1～17ではT1～5・15において、谷川の氾濫原を確認し、そのほかのトレンチでも、明確な遺構・遺物は確認されなかった。

以上のことから、今回の調査地の南地区については、谷川によって削られた部分を除き、縄文時代・古代の集落跡が広がっていると考えられる。



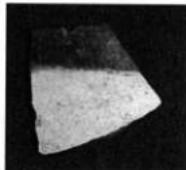
津軽石大森遺跡 位置図



津軽石大森遺跡 トレンチ位置図



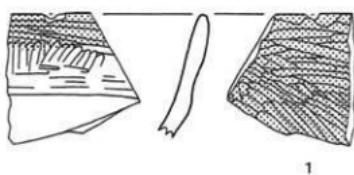
調査前風景・T102 壁穴住居跡検出状



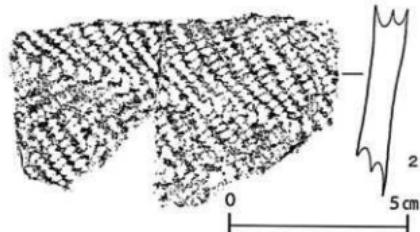
出土遺物 1



出土遺物 2



1



0

5 cm

遺物観察表

番号	出土地点	層位	種別	器種	時代	時期	備考
1	T102	埋土	土師器	壺	平安		口クロ痕。内外部にミガキ。
2	T101		縄文土器	深鉢	縄文		

20 三陸沿岸道路（山田～宮古南 IC）

沼里遺跡（LG53-1225）

【所在地】 宮古市津軽石第4地割大森
～沼里地内

【事業者】 国土交通省東北地方整備局
三陸国道事務所

【調査期日】 平成 25 年 2 月 5 日（火）
～7 日（木）

【調査結果】 沼里遺跡は、宮古湾の最奥部に流れ込む津軽石川左岸にあり、津軽石小学校に隣接する丘陵緩斜面に立地する。遺跡は、縄文時代・奈良時代の集落跡として周知されている。

今回の調査は、重機や人力を用いて計 47 箇所のトレンチを設定し、遺構・遺物の有無を確認した。

基本層序は以下のとおりである。

（遺構・遺物が確認された T10 付近の層序）

I 層 表土	層厚 10~25 cm
II 層 暗褐色土	層厚 20 cm (鉄滓)
III 層 暗灰褐色土	層厚 20~30 cm (遺物包含層)
IV 層 風化花崗岩	層厚 不明 (地山)

調査の結果、調査地南側に伸びる尾根周辺（A 地区）に設定した T10・12・22 において堅穴住居とみられる遺構・カマド、T22 で炭窯を検出した。T10 で検出した堅穴住居に伴うとみられるカマドは、長さ 0.9m 以上、幅約 1.4m を測り、細長い石材をもらいて焚口が作られており、粘土で構築された両袖が、被熱により部分的に赤褐色に変色している。T12 では、遺構面を深さ 0.6m ほど垂直に掘りこむ遺構（堅穴住居跡か）を検出した。T22 では堅穴住居とみられる黒灰色土の遺構埋土やその底面で柱穴 2 基を検出した。埋土からは平安時代の土師器片が出土した。T14 では直径 1.4m、深さ 0.5m を測る円形の炭窯を検出した。また、T10・T17 では鉄滓を含む暗褐色土を検出した。鉄滓を包含する層が、直径 15m 程度の範囲にのみ分布することから、この周辺に製鉄炉などの遺構が存在する可能性が高い。

以上のことから、A 地区（約 4,000 m²）には古代の集落や製鉄関連遺構が広がっているものと推定される。

また、調査地中ほどを流れる谷川の北側では、T105・T109 において、黒色土中より縄文土器・土師器が出土したことから、B 地区（約 800 m²）に縄文時代・古代の集落が存在する可能性が高い。



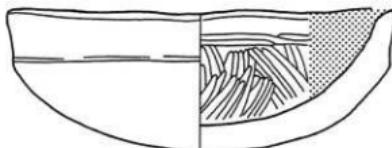
沼里遺跡 位置図



沼里遺跡 トレンチ位置図

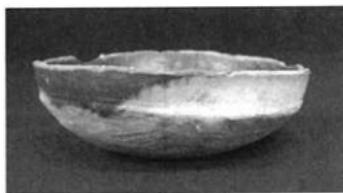
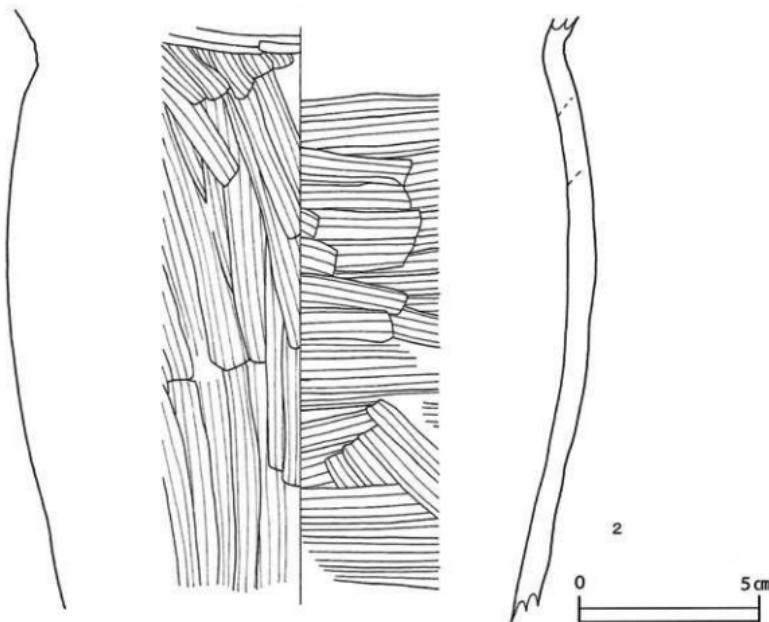


調査風景・T10 カマド検出状況



1

0 5 cm



出土遺物 1



出土遺物 2

遺物観察表

番号	出土地点	層位	種別	器種	時代	時期	備考
1	T109		土師器	坏	奈良		内・外部に黒色処理・ミガキ。
2	T109		土師器	甕	奈良		内外部にハケメ。

21 三陸沿岸道路（山田～宮古南 IC）

根井沢穴田IV遺跡 (LG53-2201)

【所在地】 宮古市津軽石第14地割地内

【事業者】 国土交通省東北地方整備局

三陸国道事務所

【調査期日】 平成24年11月13日(火)

～14日(水)

【調査結果】 根井沢穴田IV遺跡は、根井沢下流左岸の丘陵裾に所在する縄文時代の散布地である。遺跡はJR津軽石駅の南東約1.1kmに位置する。遺跡の周辺には根井沢穴田I遺跡(LG53-1273)や根井沢日影I遺跡(LG53-2148)、根井沢I遺跡(LG53-2152)など縄文時代や古代の集落・散布地が存在する。

調査地は現状で林地や休耕地となっており、東側に伸びる丘陵端部とその周辺の谷地形・緩斜面に立地する。

調査トレンチは人力掘削を中心とし、可能な部分のみ重機を使用することとした。調査トレンチ数は人力掘削トレンチ23箇所、重機掘削トレンチ9箇所である。

基本層序は以下のとおりである。

I層 表土 層厚10cm

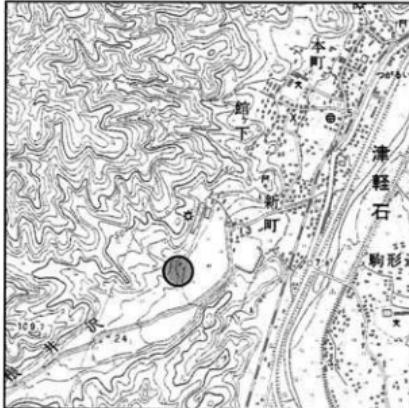
II層 暗灰色土 層厚10～30cm(腐植土混じる)

III層 黒褐色土 層厚20～70cm

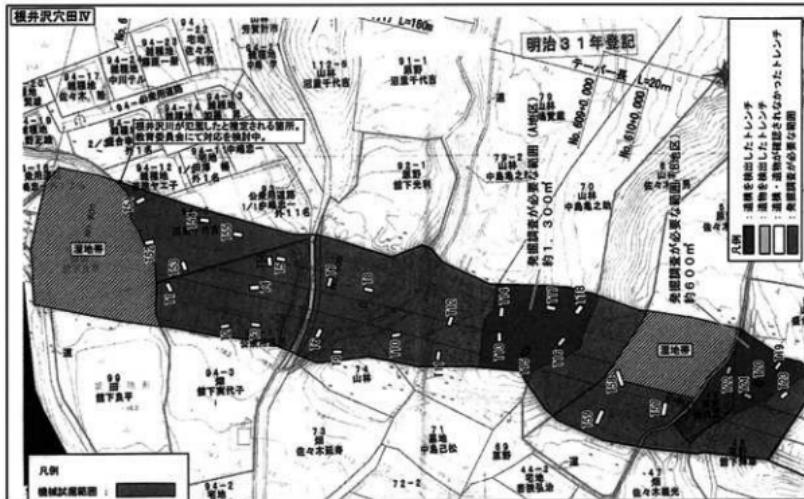
IV層 黄灰色砂・暗褐色砂質土 層厚不明(風化花崗岩含む・地山)

調査の結果、T15において、深い溝状を呈する陥し穴(長さ2.6m、幅0.6m以上、深さ1m)を検出した。この周辺のトレンチでは明確な遺構は検出できなかったものの、地形的に見て、丘陵南側斜面に同様の陥し穴が分布すると考えられる。

調査地北端付近では、T20において、III層中より製鉄炉ないし廃滓坑とみられる鉄滓や炉壁片・羽口片の集中地点を確認した。また、T20の周辺に設けたT21～22においても若干量の鉄滓が出土した。ただ、隣接するT19・23では全く鉄滓・焼土などの遺物が確認されていないことから、遺構の広がりは限定的と見られる。このことから、T20周辺の現在、植林地となっている谷地に、小規模な製鉄関連遺構が広がっているものと想定される。



根井沢穴田IV遺跡 位置図



根井沢穴田IV遺跡 トレンチ位置図



人力掘削状況



T26 から出土した鉄滓・羽口



T15 陥し穴検出状況



T20 鉄滓・羽口出土集中箇所

22 三陸沿岸道路（山田～宮古南 IC）

払川 II・払川 III 遺跡 (LG53-2291-LG63-0200)

【所在地】 宮古市津軽石第14地割地内

【事業者】 国土交通省東北地方整備局

三陸国道事務所

【調査期日】 平成24年9月19日(水)

～20日(木)

11月14日(水)～15日(木)

【調査結果】 払川 II・払川 III 遺跡は、津軽石川下流左岸の丘陵裾に所在する縄文時代・古代の散布地・集落跡である。調査地は津軽石川の支流が形成した谷間と東側に伸びる丘陵緩斜面に立地する。

調査地の大部分が、伐採前の林地であったため、人力でトレンチを掘削することとし、可能な部分のみ重機を使用することとした。調査は人力掘削トレンチ15箇所、重機掘削トレンチ6箇所設定した。また、試掘調査について土地所有者の同意が得られていない場所については、隣接地の調査結果を受けて、発掘調査の必要性の有無を判断することとした。

基本層序は以下のとおりである。

(遺構が確認されたT26・36・37の基本土層)

I層 表土 層厚5～30cm

II層 灰褐色土 層厚20cm

III層 黒褐色土 層厚20～80cm

IV層 黄褐色～暗褐色土 层厚14～20cm (遺構検出面)

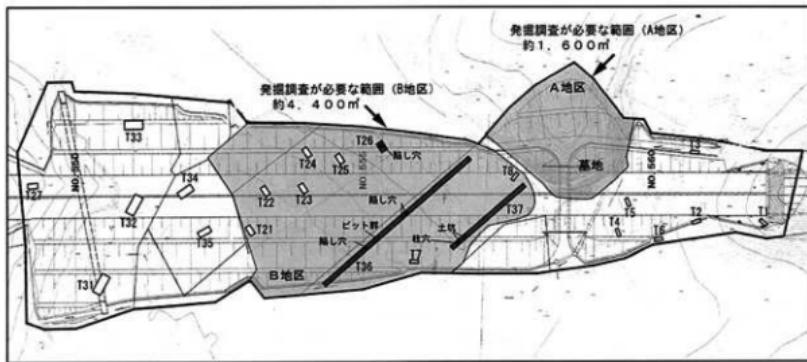
V層 黄灰色砂質土 層厚不明 (風化花崗岩を含む・地山)

(A地区) 南側へ延びる丘陵端部に位置し、現状で近世～近代の墓石が散在する。試掘調査に先立つ事前確認において、尾根上の平坦地に数基の塚状の高まりや、山腹に墓石が並ぶ狭い数段のテラスが確認された。形状からみて中世にさかのぼる墓地と推定される。

(B地区) A地区の南西に位置する南向きの緩斜面である。T26・36・37より陥し穴4基、土坑2基、柱穴8基を検出した。陥し穴はいずれも幅狭い溝状を呈するもので、T26で検出した陥し穴1は長さ1.8m以上、幅0.5m、深さ0.8mを測り、埋土に暗褐色土をもつ。柱穴はIII層上面から掘り込まれており、直径30cm前後の円形を呈する。土坑は黒灰色土の埋土をもつ。遺物は陥し穴3(T36)と土坑1(T37)より縄文土器が出土した。このため、遺構が確認された同じ地形の南向き緩斜面において、遺構が広がっている可能性が考えられる。



払川 II・払川 III 遺跡 位置図



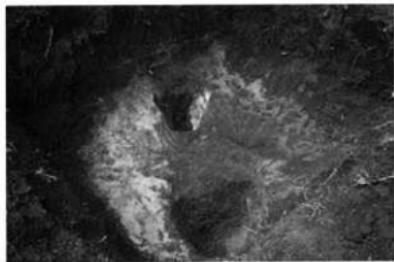
松川II・松川III遺跡 トレンチ位置図



調査風景（人力掘削・重機掘削）



T37 土坑検出状況



T26 陷し穴検出状況

23 三陸沿岸道路（山田～宮古南 IC）

荷竹日向 I 遺跡 (LG63-0231)

【所在地】 宮古市津軽石

第 16 地割荷竹日向地内

【事業者】 国土交通省東北地方整備局

三陸国道事務所

【調査期日】 平成 25 年 2 月 27 日（水）

～28 日（木）

【調査結果】 荷竹日向 I 遺跡は津軽石川支流の七田川の北側にある丘陵裾に立地する。

今回の調査では調査依頼地のうち、土地所有者の同意が取れた部分について 26 箇所のトレンチを設定して遺構・遺物の有無を確認した。

基本層序は以下のとおりである。

(遺構・遺物が確認された T51 付近の層序)

I 層 表土 層厚 10～20 cm

II 層 暗褐色土 層厚 35～80 cm

III 層 茶褐色土 層厚不明（地山）

調査の結果、調査地北端の丘陵緩斜面（A 地区）に設定した T51・53において、竪穴住居跡とみられる遺構を検出した。これらの埋土や隣接する T52（II 層）からは土師器が出土した。

調査地中ほどに位置する畑地部分（B 地区）では、T8 より縄文土器・T9 より鉄滓・土師器が出土した。

調査地南側の水田部分（C 地区）では、山裾に沿って幅 7～10m 幅の範囲に少量の鉄滓を含む黒灰色砂質土が広がっていることが確認された。T58・60 では黒灰色砂質土層より土器・炉壁が出土し、T64 の褐色土からは縄文土器が 1 点出土した。

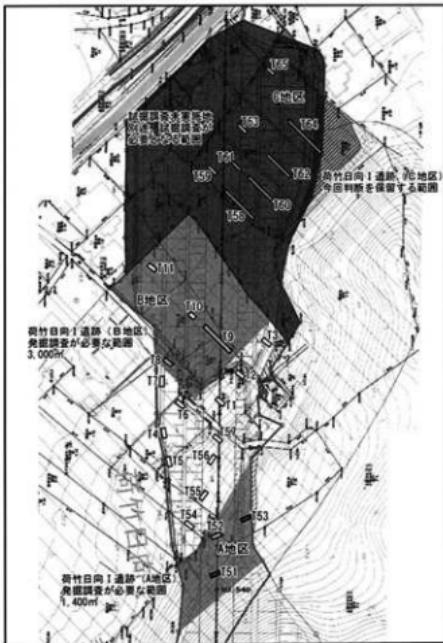
なお、A 地区と B 地区の間の山林・原野に設定した T1～7・54～57 では明確な遺構・遺物は確認されなかった。

これらのことから、丘陵中腹の緩斜面（A 地区）には古代の集落跡が広がっていると考えられる。なお、B 地区内の一部については、当課が個人住宅建設とともにう試掘調査を別途実施した範囲（『岩手県内遺跡発掘調査報告書（平成 24 年度）』に掲載済み）と重複していることが判明した。当該調査では、縄文時代の陥し穴状遺構 2 基を確認している。

前回の試掘結果を含めて判断すると、B 地区については縄文時代の狩場や古代の集落縁辺部であったと考えられる。



荷竹日向 I 遺跡 位置図



荷竹日向I遺跡 トレンチ位置図



調査風景（上）



陥し穴検出状況（個宅箇所調査時：右）

24 三陸沿岸道路（山田～宮古南 IC）

荷竹日影 II 遺跡 (LG63-0280)

【所在地】 宮古市津軽石

第 15 地割荷竹日影地内

【事業者】 国土交通省東北地方整備局

三陸国道事務所

【調査期日】 平成 25 年 1 月 10 日（木）

～11 日（金）

【調査結果】 荷竹日影 II 遺跡は、JR 津軽石駅の南 3 km にある宮古湾の最奥部に流れ込む津軽石川とその支流の七田川に挟まれた丘陵に位置する。本遺跡は、舌状に北側へ伸びる尾根や尾根を画する深い谷地に所在する遺物散布地である。



荷竹日影 II 遺跡 位置図

周辺には、縄文時代・平安時代の遺物散布地である荷竹日向 IV 遺跡 (LG63-0177) や製鉄関係の生産遺跡の石峠 III 遺跡 (LG63-1264) が所在する。

今回の調査では、遺跡東端の谷川に張り出す平坦地や、遺跡に隣接する東側の丘陵中段の緩斜面に 12 箇所のトレンチを設定し、遺構・遺物の有無を確認した。なお、トレンチ掘削にあたっては、谷川近辺の平坦地のみ小型の重機を使用し、丘陵上のトレンチについては人力により掘削作業を行った。

基本層序は以下のとおりである。

(遺構・遺物が確認された T52 付近の層序)

I 層 表土 層厚 10～20 cm

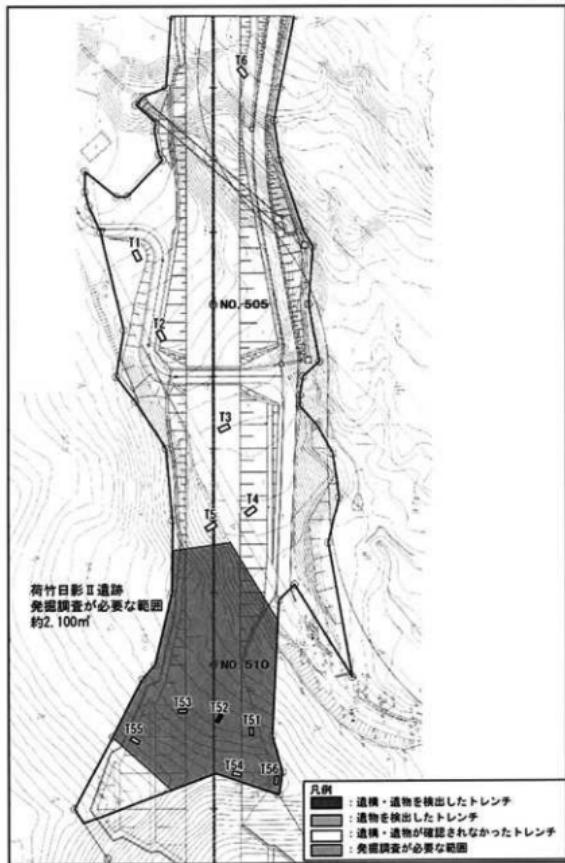
II 層 黒褐色土・暗褐色土 層厚 35～80 cm

III 層 風化花崗岩層 層厚不明

調査の結果、丘陵上に設定した T52 では、II 層の下面より赤褐色を呈する焼土を検出した。これは竪穴住居跡に伴う炉跡であろう。この覆土より時期不明の土器が出土した。

また、周辺に設定した T51・53・56 のトレンチでは、縄文土器・土師器などが II 層より出土した。

このことから、丘陵西側斜面のうち、傾斜が緩やかな中段部分に縄文時代・古代の集落跡が広がっていると考えられる。一方、谷に張り出す平坦面に設定した T1～5 では深さ 1.5m 以上の厚い盛土層が確認された。盛土には瓦礫などが多く含まれており、現代の造成であることが判明した。



荷竹日影II遺跡 トレンチ位置図



調査前風景



T 52 炉跡検出状況

25 三陸沿岸道路（山田～宮古南 IC）

石峠 II 遺跡 (LG63-2129)

【所在地】 下閉伊郡山田町豊間根地内

【事業者】 国土交通省東北地方整備局

三陸国道事務所

【調査期日】 平成 24 年 9 月 20 日（木）

～21 日（金）

11 月 12 日（月）～13 日（火）

【調査結果】 石峠 II 遺跡は JR 山田線豊間根駅から北北東へ約 1 km、荒川川左岸の丘陵裾に所在する縄文及び時期不明の散布地・生産遺跡である。現況は山林及び畑地である。



当初当該地は、石峠 II 遺跡・内館遺跡

石峠 II 遺跡 位置図

(LG63-2109) の範囲内となっていたが、内館遺跡は石峠 II 遺跡の北側に隣接した丘陵部分に位置する中世の城館跡であり、対象地の地形・出土遺物・遺構の内容から、内館遺跡を調査対象地外と判断した。

基本層序は以下のとおりである。

I 層 表土 層厚 20～40 cm

II 層 黒色土 層厚 15～30 cm

III 層 暗褐色土 層厚 20～40 cm (風化花崗岩含む)

IV 層 黄褐色土 層厚不明 (風化花崗岩・地山)

調査は人力のみ調査可能箇所と、重機による調査可能箇所とに分かれていたため、2回にわたりて調査を行った。1回目は人力による調査で 19 箇所 (T 1～9)、2回目は重機による調査で 17 箇所 (T 20～36) 実施した。

調査の結果、T 8 より製鉄炉が検出されたほか、T 11 から大量の鉄滓が出土し、排滓場の可能性が想定される。また T 22 から陥し穴が検出されたほか、T 15・17～19・21 から縄文土器・石器が出土した。

遺構・遺物の出土状況から、調査区北側に古代から中世に属すると思われる製鉄関連遺構が、南側に縄文の遺構が展開するものと推測される。特に縄文の遺構に関しては、試掘調査では陥し穴しか検出されていないものの多くの遺物が出土しており、南向きの平場という地形的特徴からも、竪穴住居等が存在する可能性が高いと思われる。



石峰Ⅱ遺跡 トレンチ位置図



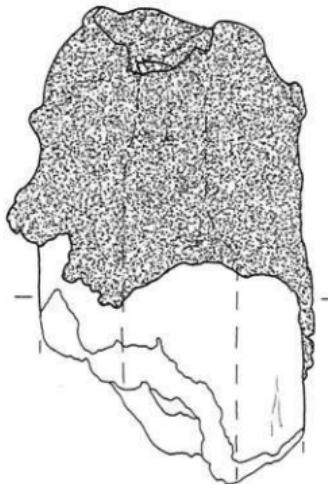
T 8 製鉄炉跡検出状況



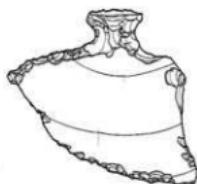
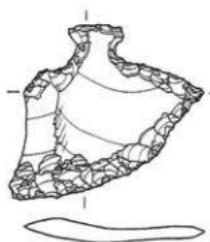
T 22 隠し穴検出状況



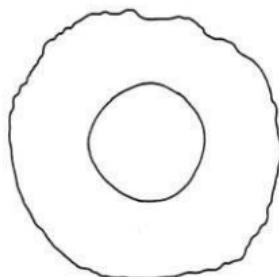
出土遺物 1



出土遺物 2



2



1



遺物観察表

番号	出土地点	層位	種別	器種	時代	時期	備考
1	T8		土製品	羽口	不明		
2	T15		石器	石匙	縄文		

26 三陸沿岸道路（山田～宮古南 IC）

沢田Ⅲ遺跡 (LG94-0024)

【所在地】 下閉伊郡山田町山田

第3地割地内

【事業者】 国土交通省東北地方整備局

三陸国道事務所

【調査期日】 平成 25 年 1 月 9 日（水）

～10 日（木）

平成 25 年 2 月 26 日（火）

【調査結果】 沢田Ⅲ遺跡は、三陸沿岸道路山田インターチェンジの北側に所在する縄文時代の遺物散布地である。調査地は、南東方向に伸びる丘陵の南裾にある緩斜面であり、現況は植林地や灌木が繁茂する原野となっている。

今回は 2 回に分けて試掘調査を実施した。なお、掘削途中に明確な遺物包含層が検出されたトレンチについては、本発掘調査が必要と判断されたため、包含層以下の掘削を行わなかった。

基本層序は以下のとおりである。

I 層 表土 層厚 10～40cm (腐植土)

II 層 淡茶色砂 層厚 10～40cm

III 層 淡灰色土～黒灰色土 層厚 20～50cm

IV 層 風化花崗岩・暗褐色土 層厚不明 (地山)

1 次調査では、トレンチ 211・215 を除く全てのトレンチから縄文土器・石器を包含する遺物包含層を確認した。このことから、幅 100m 以上の範囲に遺物包含層が広がっていることが判明した。また、トレンチ 210・212 では、III 層上面で竪穴住居跡とみられる大型の遺構を検出した。竪穴住居跡 1 (トレンチ 210) は直径 1m 以上を測る円形を呈し、黒灰色土の埋土をもつ。遺構内の壁面近くでは、大型の縄文土器片が出土した。竪穴住居跡 2 (トレンチ 212) は直径 2m 以上を測り、土器を含む黒灰色土の埋土をもつ。

また範囲を広げた 2 次調査では、12箇所のトレンチを設定し調査を実施した結果、トレンチ 25 では竪穴住居とみられる遺構、トレンチ 24・27 では柱穴を検出した。トレンチ 25 で検出した竪穴住居状の遺構では、遺構の壁際に炭化物・焼土の集中箇所が認められた。これらのトレンチでは、遺構埋土を中心に関文土器が出土した。

また、中央の尾根を隔てて北側の谷部に設定したトレンチ 1・2 では、遺物包含層（暗褐色土の間層を含む黒灰色土・層厚 150cm 以上）から土師器や縄文土器が出土した。

以上の試掘結果から、調査地には縄文時代の大規模な集落跡が存在している可能性が高い。



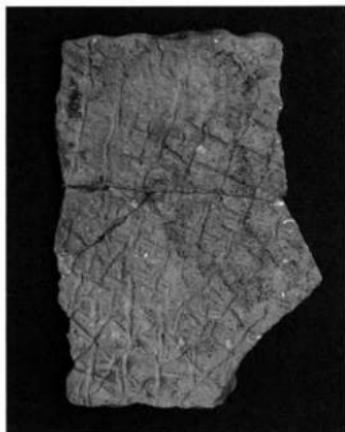
沢田Ⅲ遺跡 位置図



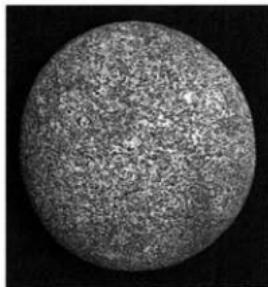
沢田III遺跡 トレンチ位置図（左図：1次調査・右図：2次調査）



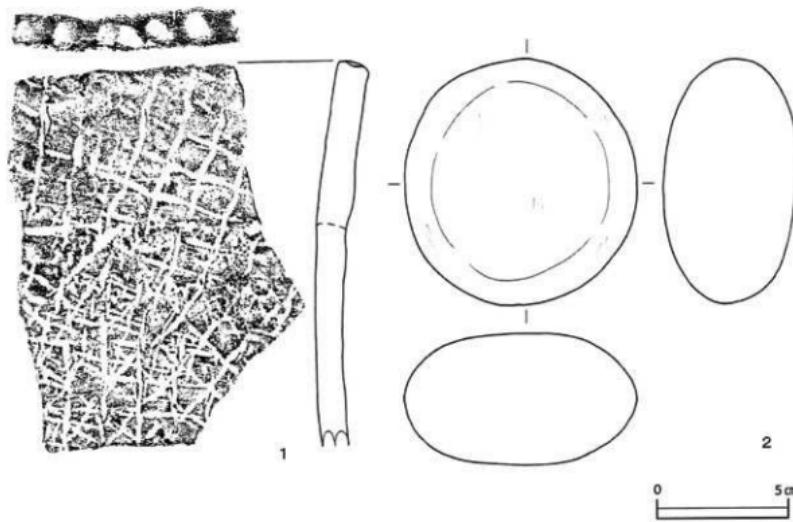
検出された竪穴住居跡（T210）



出土遺物 1



出土遺物 2



遺物観察表

番号	出土地点	層位	種別	器種	時代	時期	備考
1	T210	Ⅲ層	縄文土器	深鉢	縄文	前期	小波状口縁。体部短軸格状体。
2	T209	Ⅲ層	石器	磨石	縄文		

27 三陸沿岸道路（山田～宮古南 IC）

間木戸 I 遺跡 (LG94-0005)

【所在地】 下閉伊郡山田町山田

第3地割地内

【事業者】 国土交通省東北地方整備局

三陸国道事務所

【調査期日】 平成 25 年 1 月 8 日（火）

～ 9 日（水）

【調査結果】 調査地である間木戸 I 遺跡およびその隣接地は、JR 陸中山田駅の北約 2 km に位置している。遺跡は丘陵から南側へと延びる比較的緩やかな斜面、および平坦部に所在する縄文時代の遺物散布地である。



間木戸 I 遺跡 位置図

周辺には、縄文・弥生・古代の集落跡である沢田 I 遺跡 (LG94-0032) や古墳時代～古代の群集墳が確認された房の沢 IV 遺跡 (LG94-0050) が所在する。

今回の調査では、沢筋に沿った北側の河岸段丘中部から上部にかけて 9 箇所のトレンチを設定した。また、丘陵をはさんだ南側の山林および水田においては 16 箇所のトレンチを設定し、計 25 箇所のトレンチにより遺構・遺物の有無を確認した。

基本層序は以下のとおりである。

(遺構・遺物が確認された T320 付近の基本層序)

I 層 表土 層厚 5～20cm (腐植土)

II 層 暗褐色土 層厚 40～60cm

III 層 褐色土・黒褐色土 層厚 25～35cm

IV 層 風化花崗岩層 層厚不明 (遺構検出面・地山)

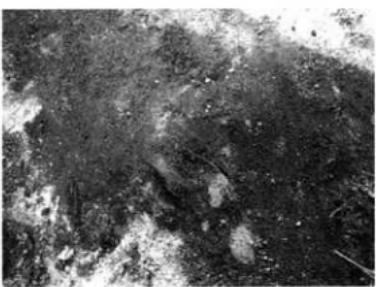
調査の結果、北側の河岸段丘中部および中・上部のトレンチ (T312・314・319) から縄文土器と土師器片が数点出土した。周辺のトレンチの状況からみて、丘陵上部からの流れ込みの可能性が高いものと思われる。

丘陵南側トレンチでは、T318 から柱穴と思われる遺構が検出され、遺構検出面上部から縄文土器片が多く出土した。また、T320 からは溝状遺構が検出され、周辺からは土師器片が出土している。これらの遺構は堅穴住居跡であったとみられる。

以上のことから、丘陵南側に縄文時代および古代の集落が遺存している可能性が高い。



間木戸 I 遺跡 トレンチ位置図



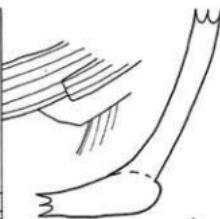
調査区全景・T 320 遺構・遺物検出状況



出土遺物 1



出土遺物 2



1



2



遺物観察表

番号	出土地点	層位	種別	器種	時代	時期	備考
1	T320		土師器	甌	奈良		口縁部も出土。内外部に刷毛目。
2	T323		縄文土器		縄文		貼付部分の一部か。

28 三陸沿岸道路（山田～宮古南 IC）

間木戸Ⅱ遺跡 (LG94-0007)

【所在地】 下閉伊郡山田町山田

第3地割地内

【事業者】 国土交通省東北地方整備局

三陸国道事務所

【調査期日】 平成25年1月8日（火）

～9日（水）

【調査結果】 間木戸Ⅱ遺跡は、三陸沿岸道路山田インターチェンジの北側に所在する縄文時代の遺物散布地であり、ごく低い河成河岸段丘に造構・遺物が分布する。遺跡は小河川に開析された沢筋に位置し、現林道によって段丘崖縁辺が削られている。

調査は植林された平坦地に長さ15m前後、幅約1mの筋掘りトレーニチを4箇所、宅地周辺に長さ約2m、幅1m規模のトレーニチを3箇所設定して、造構・遺物の確認に努めた。

基本層序は以下のとおりである。

(造構・遺物が確認されたT110付近の層序)

I層 表土 層厚10cm (腐植土)

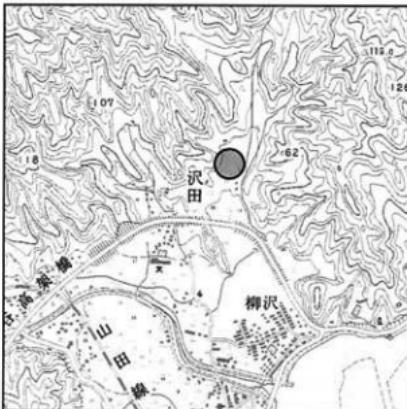
II層 黒褐色土 層厚30cm

III層 黒色土 層厚50cm (遺物包含層)

IV層 褐色土 層厚不明 (造構検出面・地山)

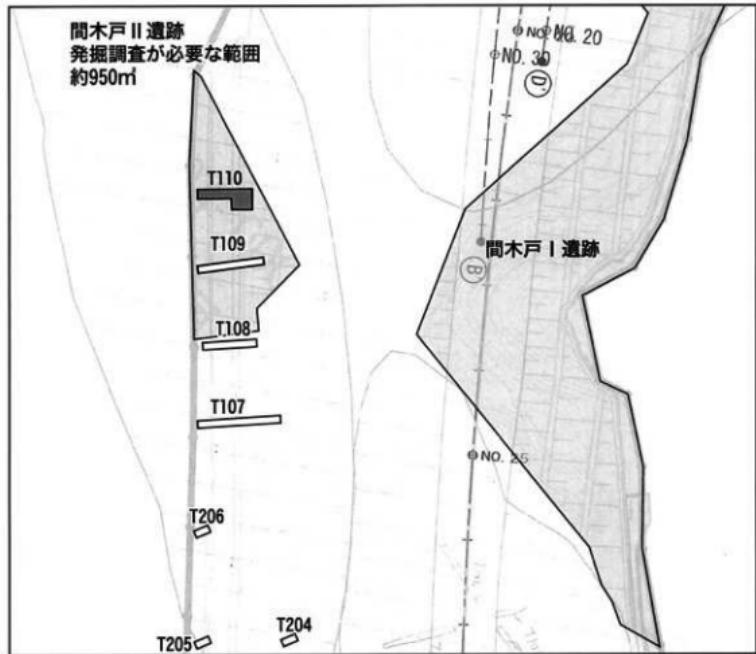
調査の結果、植林地に設定したT110において縄文時代の竪穴住居跡1棟と竪穴住居跡か土坑と思われる造構を1基検出した。住居跡は検出面より約30cm以上の掘り込まれており、内部に焼土をもつ。住居跡からは縄文土器（大木7～8式）が出土している。また、隣接するT109では数点の縄文土器が検出された。

一方、宅地周辺に設定したT304～306では明確な造構・遺物は確認されなかった。



間木戸Ⅱ遺跡 位置図

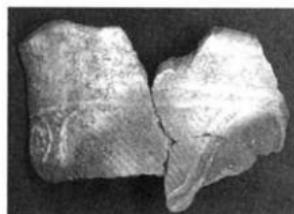
間木戸 II 遺跡
発掘調査が必要な範囲
約950m



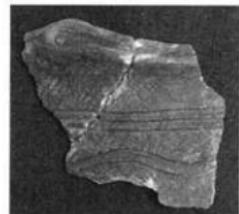
間木戸 II 遺跡 トレンチ位置図



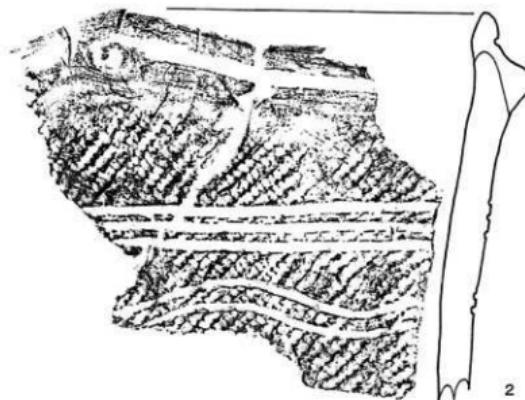
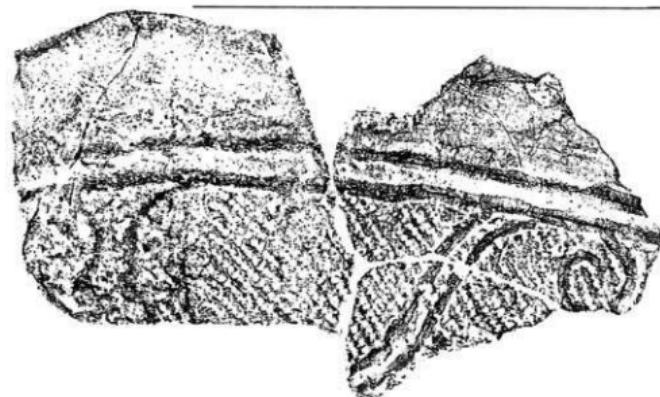
T 110 整穴住居跡検出状況



出土遺物 1



出土遺物 2



0 5 cm

遺物観察表

番号	出土地点	層位	種別	器種	時代	時期	備考
1	T110	埋土？	縄文土器	深鉢	縄文	中期	貼付隆線。
2	T110	埋土？	縄文土器	深鉢	縄文	中期	隆線渦巻文。

29 三陸沿岸道路（山田～宮古南 IC）

間木戸V遺跡 (LG84-2098)

【所在地】 下閉伊郡山田町山田

第3地割地内

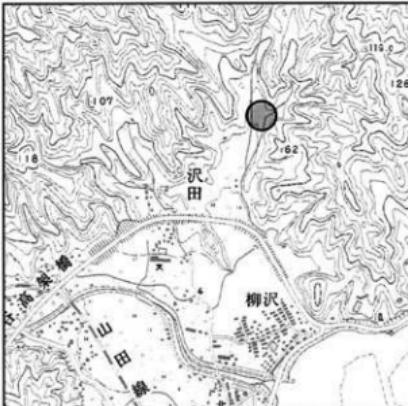
【事業者】 国土交通省東北地方整備局

三陸国道事務所

【調査期日】 平成25年1月8日（火）

～9日（水）

【調査結果】 間木戸V遺跡は、三陸沿岸道路山田インターチェンジの北側に所在する製鉄遺跡・縄文時代の遺物散布地である。遺跡は谷に面した丘陵南東斜面に立地する。



間木戸V遺跡 位置図

遺跡南端の緩斜面地と遺跡に隣接する尾根が今回の事業地となつたため、試掘調査を実施することとした。調査は尾根上に9箇所、丘陵裾の緩斜面に3箇所のトレンチを設定して、遺構・遺物の確認に努めた。

基本層序は以下のとおりである。

(遺構・遺物が確認されたT201付近の層序)

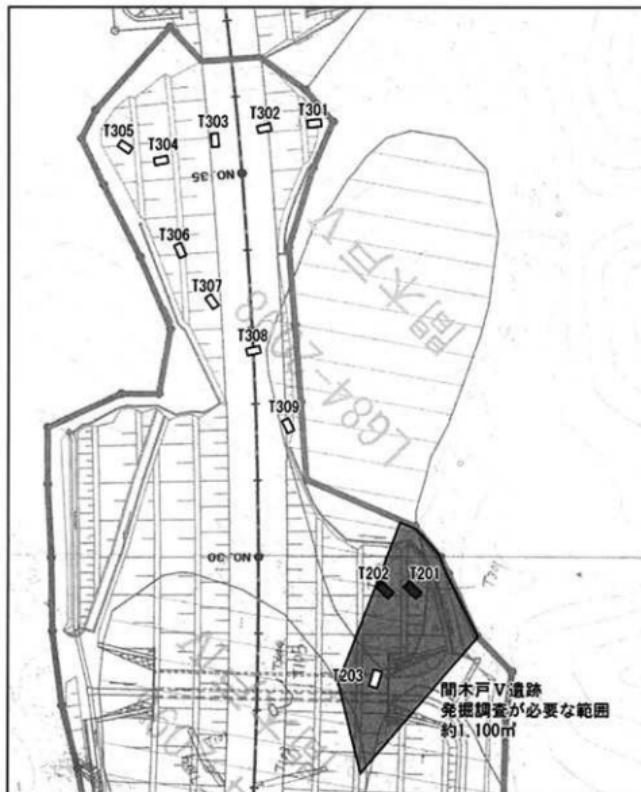
I層 表土 層厚 10 cm (耕作土)

II層 淡褐色土 層厚 20～50 cm

III層 暗褐色土 層厚不明

調査の結果、丘陵裾に設定したT201・202で炭窯とみられる土坑を2基検出した。土坑1 (T201)は斜面に平行して遺構の長軸をとり、長さ2.4m、幅1.5m、深さ0.2mを測る。埋土は上層が土器・鉄滓を含む黒色砂質土であり、下層には炭を含む黒色土が認められた。土坑2 (T202)は炭化物・焼土が混じる黒色土を埋土にもち、土坑壁面が被熱によって赤褐色に変色している。遺物はT201・202で鉄滓・土師器・縄文土器が出土した。

一方、丘陵上部に設定したT301～309では明確な遺構・遺物は確認されなかつた。



間木戸V遺跡 トレンチ位置図



調査前風景



出土した鉄滓

30 三陸沿岸道路（山田南～釜石北 IC）

田屋遺跡 (MG23-1373) 及び隣接地

【所在地】 上閉伊郡大槌町浪板地内

【事業者】 国土交通省東北地方整備局

南三陸国道事務所

【調査期日】 平成 24 年 12 月 20 日（木）

～平成 25 年 1 月 18 日（金）

【調査結果】 調査地は、船越湾に注ぐ小河川に面した扇状地状の緩斜面に位置する。現況は宅地、畑地、山林である。

対象地全体のうち宅地・竹藪等を除いた範囲にトレンチを 75 箇所 (T 1 ~ T 75) 設定し調査を行った。



田屋遺跡及び隣接地 位置図

基本層序は以下のとおりである。

I 層 表土	層厚 20~40 cm
II 層 黒褐色混礫土層	層厚 15~100 cm (腐植土主体、礫密集)
III 層 褐色混礫土層	層厚 10~30 cm (やや粘質)
IV 層 黄褐色混礫土層	層厚 50 cm 以上 (粘質)

その結果、層厚に差異はあるものの、ほぼ基本層序どおりの堆積状況を示していた。

調査区南端部の緩斜面から、縄文土器とともに堅穴状の遺構が検出された。検出面での形状から考えて複数の遺構が切りあつてあると思われる。周辺からは柱穴と考えられるピットが 3 基検出された。また、近接する 4 箇所のトレンチから縄文土器が出土した。以上の所見から、緩斜面上には縄文時代の集落が存在し、特に南側の扇状地先端部には遺構が農密に分布するものと推測される。

調査区北西部の緩斜面では 1 箇所のトレンチから縄文土器が出土した。北東部の緩斜面からは、縄文土器が埋設された土坑が 1 基検出され（なお、当該トレンチは本調査としたため土器は掘り上げていない）、付近のトレンチ 3 箇所から縄文土器が出土した。いずれのトレンチも地山面の標高がほぼ同じであること、出土層位は III 層下部で流れ込みの可能性は低いと思われることから、包含層が形成されている可能性が高い。

出土土器は縄文時代中期を主体としており、遺跡の中心的な時期は中期と判断される。ただし図示しなかったが前期と思われる織維土器もまとめて出土しており、前期から中期にわたる長い時期に集落が営まれた可能性が高い。



田屋遺跡及び隣接地 トレンチ位置図



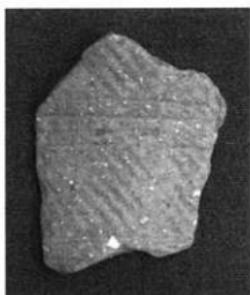
T 10 断面（底から 1m の褐色土から縄文土器出土）



T 36 埋設土器および検出土坑



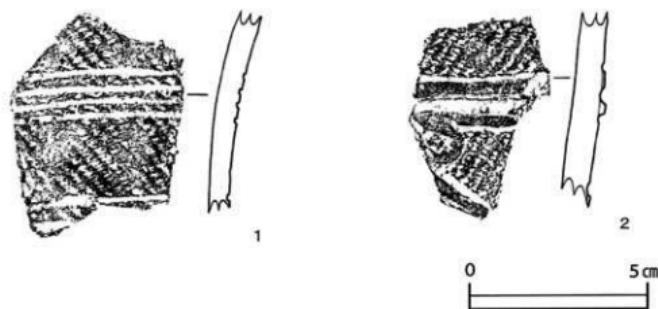
T 7 土坑・ピット検出状況



出土遺物 1



出土遺物 2



遺物觀察表

番号	出土地点	層位	種別	器種	時代	時期	備考
1	T7	Ⅲ層	縄文土器	深鉢	縄文	前期～中期	脇部。LR 縞位。
2	T66	Ⅲ層	縄文土器	深鉢	縄文	中期	脇部。RL 縞位。沈線・貼付隆線。

31 三陸沿岸道路（山田南～釜石北 IC）

松磯遺跡 (MG23-1354) 及び隣接地

【所在地】 上閉伊郡大槌町浪板地内

【事業者】 国土交通省東北地方整備局

南三陸国道事務所

【調査期日】 平成 24 年 12 月 20 日 (木)

～平成 25 年 1 月 18 日 (金)

【調査結果】 調査地は、船越湾に注ぐ小河川に面した扇状地状の緩斜面に位置する。現況は山林である。

対象地全体にトレンチを 61 箇所 (T 1 ~ 61) 設定し調査を行った。

基本層序は以下のとおりである。

松磯遺跡及び隣接地 位置図



I 層 表土 層厚 10~20 cm

II 層 黒褐色混礫土層 層厚 10~80 cm (腐植土主体、礫密集)

III 層 暗褐色混礫土層 層厚 5~40 cm (やや粘質)

IV 層 黄褐色混礫土層 層厚 50 cm 以上 (粘質)

その結果、層厚に差異はあるものの、ほぼ基本層序どおりの堆積状況を示していた。

調査区南東端部の緩斜面に設定したトレンチのうち 1 箇所から、縄文時代と思われる土坑が検出された。その他、7 箇所から縄文土器、石器（磨石）が出土した。出土層位は II 層が主体で、一部は III 層まで広がる。数がまとまっていることや土層が安定していることから、包含層が形成されている可能性が強い。

なお、海に面した断崖上には貝塚が存在することが確認されており、遺跡の中心部はより標高の低い扇状地先端部と想定される。

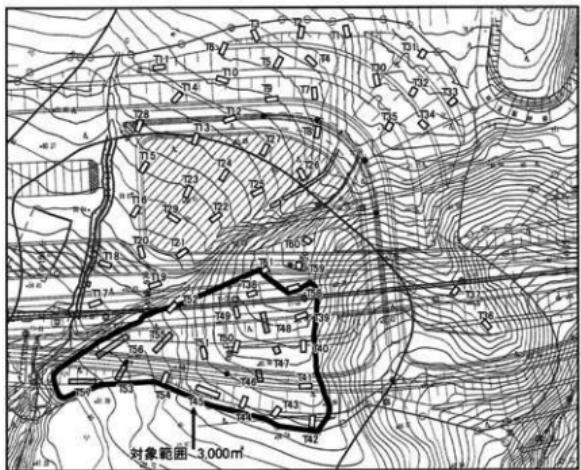
出土土器はほとんどが中期中葉であり、遺跡の中心となる時期を示していると判断される。



人力掘削状況



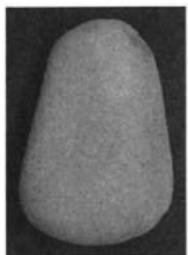
T47 土坑検出状況



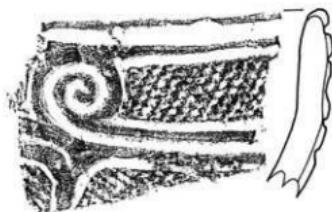
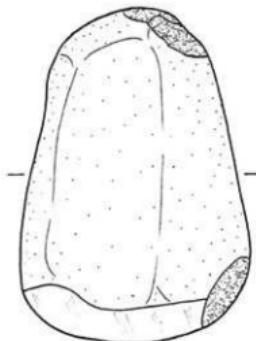
松磯遺跡及び隣接地 トレンチ位置図



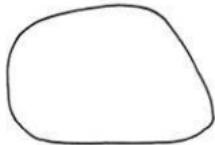
出土遺物 1



出土遺物 2



1



2

0 5cm

遺物観察表

番号	出土地点	層位	種別	器種	時代	時期	備考
1	T48	II層	縄文土器	深鉢	縄文	中期	口縁部に沈線。RL 縱位。
2	T47	II層	石器	磨石・敲石	縄文		両端に敲打痕。

32 三陸沿岸道路（山田南～釜石北 IC）

追田 I 遺跡 (MG33-0061)

【所在地】 上閉伊郡大槌町大槌地内

【事業者】 国土交通省東北地方整備局

南三陸国道事務所

【調査期日】 平成 24 年 12 月 12 日 (水)

【調査結果】 調査地は、大槌川に注ぐ小河川に面した沢状の緩斜面に位置する。現況は山林と荒蕪地である。

対象地全体にトレンチを 6 箇所 (T 1 ~ 6) 設定し調査を行った。

基本層序は以下のとおりである。

I 層 表土 層厚 10~50 cm

II 層 黒褐色土層 層厚 15~60 cm (腐植土主体)

III 層 暗褐色土層 層厚 10~30 cm (焼土粒、炭化物粒が若干認められる)

IV 層 褐色土層 層厚 10~30 cm (やや粘質)

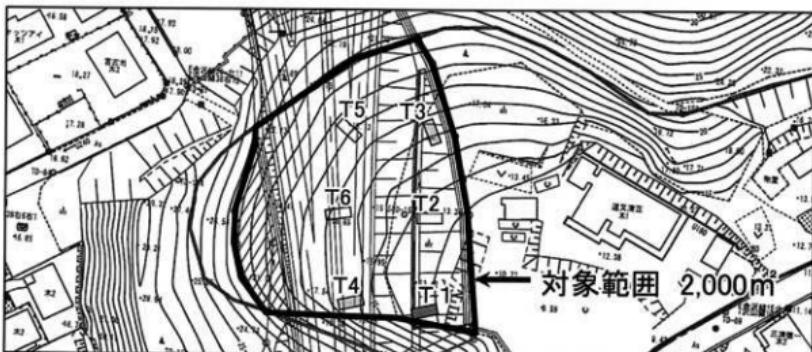
V 層 黄褐色混礫土層 層厚 10~30 cm (粘質)

追田 I 遺跡 位置図



その結果、層厚に差異はあるものの、ほぼ基本層序どおりの堆積状況を示していた。

調査区下部の緩斜面から縄文時代の陥し穴と考えられる土坑が 1 基検出されたほか、3 箇所のトレンチから縄文土器が出土した。縄文土器は III・IV 層から出土しており、包含層が形成されている可能性が高い。



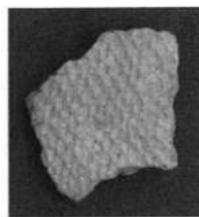
追田 I 遺跡 トレンチ位置図



調査前風景



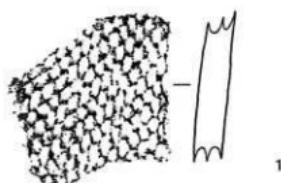
T 1 陥し穴検出状況



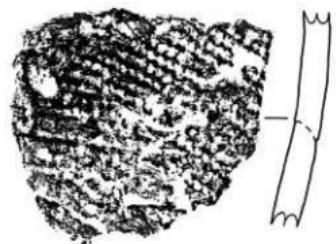
出土遺物 1



出土遺物 2



1



2



遺物観察表

番号	出土地点	層位	種別	器種	時代	時期	備考
1	T1	Ⅲ層	縄文土器	深鉢	縄文		胴部。LR 横位。
2	T4	Ⅲ層	縄文土器	深鉢	縄文		胴部。RL 横位。

33 釜石花巻道路（遠野～遠野住田 IC）

九重沢Ⅲ遺跡 (MF55-0071: 旧可能性あり 31)

【所在地】 遠野市上郷町来内地内

【事業者】 国土交通省東北地方整備局

岩手河川国道事務所

【調査期日】 平成 25 年 2 月 28 日（水）

3 月 7 日（木）～8 日（金）

【調査結果】 調査地は、JR 釜石線遠野駅の南南西約 1.6 km に位置し、猿ヶ石川の支流来内地川へ向かって注ぐ小河川に臨む標高約 310 ～ 320 m の丘陵裾部付近である。

小河川に面した南向きの緩斜面であることから、縄文期や古代等の集落が存在する可能性があることから、試掘調査を行った。

今回の調査では、40 cm の積雪の中、杉林・休耕田・果樹園である試掘対象地内に 33 箇所のトレンチを設定し、いずれも重機により積雪と表土を除去して慎重に土層掘削を行い、人力により壁・床面の清掃を行い、遺構・遺物の有無を確認した。

基本層序は以下のとおりである。

I 層 表土 層厚 10cm

II 層 茶褐色土 層厚 30cm

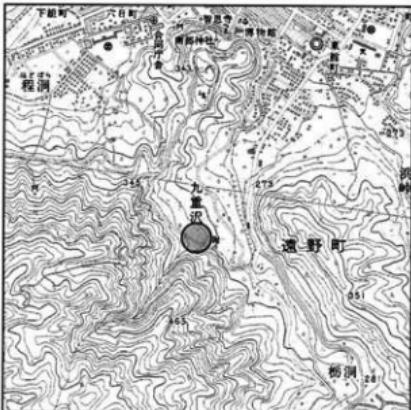
III 層 黒褐色土 層厚 20cm

IV 層 黄褐色土 層厚 30cm 以上（花崗岩礫を多く含む）

その結果、対象地内の小河川に面した南西側の調査トレンチ T 1 ～ 3 ・ 5 において、縄文時代後期の地床炉 2 基と多数の土器片等を確認した。その他のトレンチでは耕作による削平が顕著な所が多く、自然土層が残っている地点においても遺構・遺物共に検出されなかった。

調査の結果、試掘対象地の南西側に限定して遺構・遺物が検出されていることから、この範囲は本発掘調査を必要とする。

なお、本調査必要範囲の中を南北に走る現道部分は削平により遺構・遺物ともに残存しないことから本調査は不要と判断した。



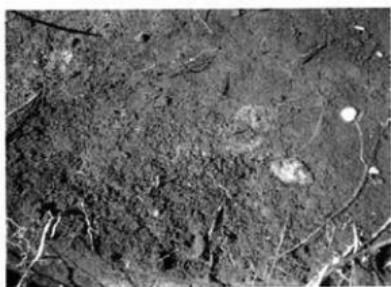
九重沢Ⅲ遺跡 位置図



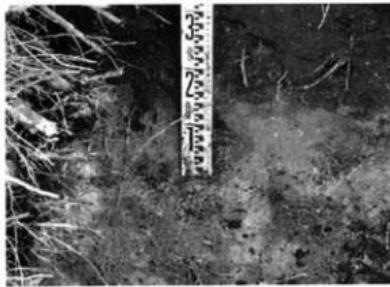
九重沢Ⅲ遺跡 トレンチ位置図



調査風景



T 2 地床炉と土器出土状況



T 3 地床炉断面

34 大槌町役場仮庁舎駐車場舗装工事

大槌代官所跡 (MG33-2001)

【所在地】 上閉伊郡大槌町上町1番

【事業者】 大槌町長 碇川豊

【調査期日】 平成24年9月6日(木)

～7日(金)

【調査結果】 調査地は、JR 山田線大槌駅の北西約0.5km位置し、南向きの平坦地(標高5m前後)に所在する。当該地は周知の埋蔵文化財包蔵地である大槌代官所跡の範囲内にあり、大槌町役場仮庁舎の駐車場を舗装(旧大槌小学校校庭)するため、事前調査を実施したものである。



大槌代官所跡 位置図

本来であれば町教育委員会により試掘調査を行うところであるが、復興対応で県教育委員会が支援し確認調査を実施したものである。

当該地においては、敷地の西半分と東側の一部において、1994年～1996年に町教委で本調査を実施(大槌町文化財調査報告書第10集)しており、近世の井戸跡や建物跡等の遺構が確認されている。

今回は対象地全体に対し1×5m程度のトレンチ(T1～8)を計8本設定した。

基本層序は以下のとおりであるが、当該地は旧大槌小学校の校地内で、過去三度にわたる小学校の改築工事により、全体的に校庭部分も盛土により造成されている状況が層位から確認された。

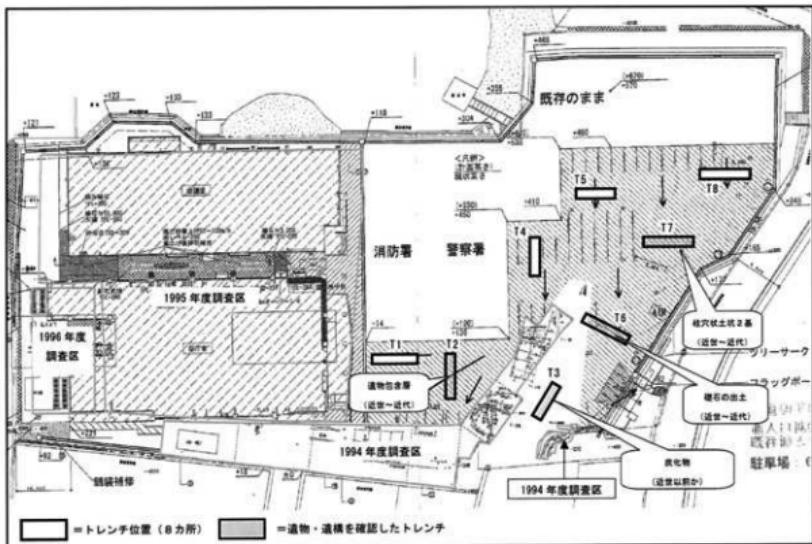
I層	碎石	層厚 15～20 cm (造成土・震災時に災害対応のため自衛隊により散布)
II層	真砂土	層厚 10～20 cm (震災前までの小学校グラウンド表土)
III層	碎石	層厚 15～20 cm (グラウンド造成時の碎石)
IV層	造成土	層厚 30～50 cm (旧小学校校舎解体時の造成土)
V層	真砂土	層厚 10～15 cm (旧小学校グラウンド表土)
VI層	造成土	層厚 30～40 cm (旧小学校グラウンド造成時のもの)
VII層	真砂土	層厚 30～40 cm (日々小学校グラウンドの表土)
VIII層	造成土	層厚 15～20 cm (日々小学校グラウンドの造成土)
IX層	暗褐色土	層厚 50～60 cm (粘板岩質の小礫を含む・近世近代の表土か)
X層	黒褐色土	層厚 40～50 cm (粘板岩質の小礫を多く含む・近世以前の表土か)
XI層	黒褐色土	層厚不明 (粘性強く湧水多い)

その結果、T6において近世～近代のものと思われる建物跡の礎石(丸みを帯びた花崗岩で径約30cm)の一部、T7から炭化物を含む切り合った柱穴状ピットが2基(径約20cm)、およびT3からは近世以前と思われる層位において、まとまった炭化物がそれぞれ検出・出土した。また、西側のトレ

ンチT2においては、近世～近代の陶磁器片が出土しているが、湧水や粘性のやや強い土があわせて確認されたことから、湿地や沢跡に堆積・廃棄された遺物である可能性が高い。

それ以外のトレーニチにおいては、遺構や遺物は確認できなかったものの、今回と過去の調査結果から、舗装を予定する駐車場一帯の造成土の下には、近世の遺構が存在している可能性が高いものと思われる。

なお、今後当該地において掘削を伴う新たな開発が行われる際は、あらためて本発掘調査が必要である。



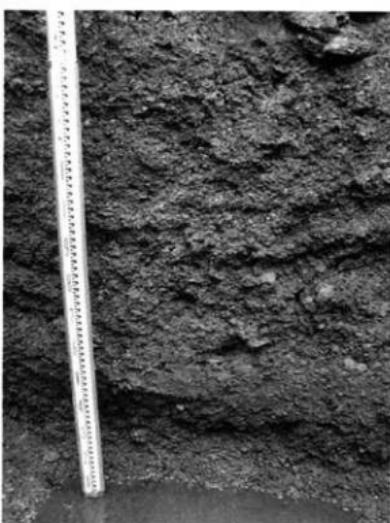
大社代官所跡 トレーニチ位置図



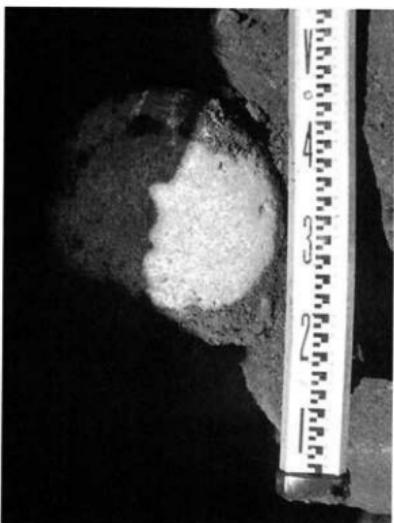
調査区全景



T 3 層位断面



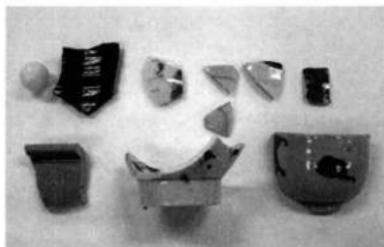
T 3 炭化物（近世以前の層位から出土）



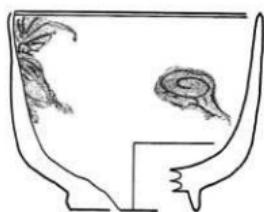
T 6 出土した礎石



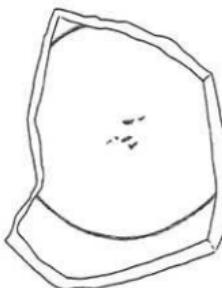
T 7 全景・柱穴状土坑（2基）



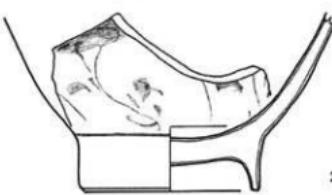
陶磁器（近世～近代の染付碗・擂鉢等）



1



3



2



4



遺物観察表

番号	出土地点	層位	種別	器種	時代	時期	備考
1	T2	IX層付近の包含層	磁器	碗	近世以降	19世紀か	
2	T2	IX層付近の包含層	磁器	碗	近世以降	19世紀か	
3	T2	IX層付近の包含層	磁器	碗	近世以降	19世紀か	
4	T6	IX層付近の包含層	陶器	擂鉢	近代		

平成 24 年度 派遣専門職員の調査風景



岩渕・相原（岩手県）・横田氏（大阪府）・深澤氏（群馬県）・藤原氏（北海道）・北原氏（滋賀県）・宇田川氏（秋田県）



長谷部氏（熊本県）
本調査（陸前高田市支援）

分布調査（三陸沿岸道 田野畠工区）



安井氏（千葉県）
試掘調査（室浜遺跡 釜石市支援）



ヘルメット着用左端：田村氏（静岡県）
本調査（新館遺跡 野田村支援）



平氏（鹿児島県）
雪中の試掘調査（三陸沿岸道 洋野工区）



左：文化庁 横宜田主任調査官 右：永嶋氏（青森県）
人力試掘調査と文化庁視察（釜石道）

分布・試掘調査・市町村支援一覧

1 分布調査一覧

(1) 三陸沿岸道路(田野畠南～尾肝要)

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺様・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1		可能性あり1				田野畠村大芦	平成24年4月12日	
2		可能性あり2				田野畠村大芦	平成24年4月13日	
3	KG43-0039	真木沢Ⅲ遺跡	縄文		散布地	田野畠村真木沢	平成24年4月13日	
4	KG43-0016	浜岩泉Ⅲ遺跡	縄文		集落跡	田野畠村大芦・浜岩泉	平成24年4月13日	
5	KG33-2096	浜岩泉Ⅳ遺跡	縄文	縄文土器	集落跡	田野畠村大芦・浜岩泉	平成24年4月13日	
6	KG33-2069	大芦Ⅰ遺跡	縄文		集落跡	田野畠村大芦	平成24年4月13日	
7		可能性あり3				田野畠村島越	平成24年4月13日	
8	KG33-2047	島越Ⅱ遺跡	縄文・弥生		散布地	田野畠村島越・浜岩泉	平成24年4月13日	
9		可能性あり4				田野畠村島越	平成24年4月13日	
10		可能性あり5				田野畠村島越	平成24年4月13日	
11	KG33-2003	浜岩泉Ⅴ遺跡	縄文		散布地	田野畠村浜岩泉	平成24年4月13日	
12	KG33-1095	島越Ⅳ遺跡	縄文		散布地	田野畠村島越	平成24年4月13日	
13		可能性あり6				田野畠村浜岩泉	平成24年4月16日	
14		可能性あり7				田野畠村浜岩泉	平成24年4月16日	
15	KG33-1030	浜岩泉Ⅵ遺跡	縄文	縄文土器	散布地	田野畠村浜岩泉	平成24年4月16日	
16		可能性あり8				田野畠村菅原	平成24年4月16日	
17		可能性あり9				田野畠村菅原	平成24年4月16日	
18	KG22-2354	菅原遺跡	縄文		集落跡	田野畠村菅原	平成24年4月17日	
19		可能性あり10				田野畠村菅原	平成24年4月17日	
20		可能性あり11				田野畠村菅原	平成24年4月17日	
21		可能性あり12				田野畠村菅原	平成24年4月17日	
22		可能性あり13				田野畠村菅原	平成24年4月17日	
23		可能性あり14				田野畠村菅原	平成24年4月17日	
24		可能性あり15				田野畠村菅原	平成24年4月17日	
25		可能性あり16				田野畠村菅原	平成24年4月17日	
26		可能性あり17				田野畠村菅原	平成24年4月17日	

(尾肝要～普代)

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺様・遺物	種別	所在地	調査日	備考
27		可能性あり1		遺構		田野畠村沼波	平成24年5月7日	
28		可能性あり2				田野畠村沼波	平成24年5月7日	
29		可能性あり3				田野畠村沼波	平成24年5月7日	
30		可能性あり4				田野畠村沼波	平成24年5月7日	
31		可能性あり5				田野畠村一の瀬	平成24年5月7日	
32		可能性あり6				田野畠村一の瀬	平成24年5月7日	
33		可能性あり7				田野畠村一の瀬	平成24年5月7日	
34		可能性あり8				田野畠村一の瀬	平成24年5月7日	
35		可能性あり9				田野畠村一の瀬	平成24年5月7日	
36	KG11-0297	オヤッキ沢遺跡	縄文		散布地	田野畠村一の瀬	平成24年5月7日	
37		可能性あり10				田野畠村稻牛	平成24年5月9日	
38		可能性あり11				普代村柏木平	平成24年5月9日	
39		可能性あり12				普代村柏木平	平成24年5月9日	
40		可能性あり13				普代村柏木平	平成24年5月9日	
41		可能性あり14				普代村芦渡	平成24年5月9日	

(普代～久慈)

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺様・遺物	種別	所在地	調査日	備考
42	JG92-0137	力持遺跡及び築墳地	縄文		集落跡	普代村第16地割	平成24年5月11日	
43	JG92-0117	力持Ⅱ遺跡及び築墳地	縄文		散布地	普代村第17地割	平成24年5月11日	

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
44		可能性あり1				曾代村白井	平成24年5月11日	
45		可能性あり2				曾代村白井	平成24年5月11日	
46		可能性あり3				曾代村白井	平成24年5月11日	
47		可能性あり4				野田村五川	平成24年5月15日	
48		可能性あり5				野田村五川	平成24年5月15日	
49		可能性あり6				野田村五川	平成24年5月16日	
50		可能性あり7				野田村五川	平成24年5月16日	
51		可能性あり8				野田村五川	平成24年5月16日	
52		可能性あり9				野田村五川	平成24年5月16日	
53		可能性あり10				野田村野田	平成24年5月16日	
54		可能性あり11				野田村野田	平成24年5月17日	
55		可能性あり12				野田村野田	平成24年5月17日	
56		可能性あり13				野田村野田	平成24年5月17日	
57		可能性あり14				野田村野田	平成24年5月17日	
58		可能性あり15				野田村野田	平成24年5月17日	
59		可能性あり16				野田村野田	平成24年5月17日	
60	JG60-0258	中平遺跡	古代	壁穴住居	集落跡	野田村野原第22地割	平成24年5月17日	
61	JG60-0306	大平野遺跡	縄文・古代		集落跡	野田村野原第13・15地割	平成24年5月17日	
62		可能性あり17				野田村野田	平成24年5月17日	
63	JG50-2353	伏見城跡	中世	城跡・土壘・堀切	城跡	野田村野田	平成24年5月17日	
64		可能性あり18				野田村野田	平成24年5月17日	
65		可能性あり19				野田村野田	平成24年5月17日	
66		可能性あり20				野田村野田	平成24年5月17日	
67	JG50-1200	田子沢遺跡	縄文		散布地	久慈市宇都町第7地割	平成24年5月18日	
68		可能性あり21				久慈市宇都町	平成24年5月18日	
69		可能性あり22				久慈市宇都町	平成24年5月18日	
70		可能性あり23				久慈市宇都町	平成24年5月18日	
71		可能性あり24				久慈市宇都町	平成24年5月18日	
72		可能性あり25				久慈市宇都町	平成24年5月18日	
73	JG50-0028	宇都城跡	中世	城跡・土壘・堀切	城跡	久慈市宇都町	平成24年5月18日	
74		可能性あり26				久慈市宇都町	平成24年5月18日	
75		可能性あり27				久慈市宇都町	平成24年5月21日	
76		可能性あり28				久慈市宇都町	平成24年5月21日	
77		可能性あり29				久慈市宇都町	平成24年5月21日	
78		可能性あり30				久慈市長内町	平成24年5月21日	
79		可能性あり31				久慈市長内町	平成24年5月21日	
80		可能性あり32				久慈市長内町	平成24年5月22日	
81		可能性あり33				久慈市長内町	平成24年5月22日	
82		可能性あり34				久慈市長内町	平成24年5月22日	
83		可能性あり35				久慈市長内町	平成24年5月22日	
84	JG50-2047	上長内遺跡	縄文・古代		集落跡	久慈市長内町	平成24年5月22日	
85		可能性あり36				久慈市長内町	平成24年5月22日	

(階上～侍浜)

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
86		可能性あり1				津野町樺市第44地割	平成24年5月7日	
87		可能性あり2				津野町樺市第44地割	平成24年5月7日	
88	IF37-2292	伝吉1遺跡	縄文		散布地	津野町萱花・伝吉・団ノ塚	平成24年5月7日	
89	IF37-2396	伝吉1遺跡	縄文・古代		散布地	津野町萱花・伝吉	平成24年5月7日	
90		可能性あり3				津野町樺市第44地割	平成24年5月7日	
91		可能性あり4				津野町樺市第44地割	平成24年5月8日	
92	IF48-0041	西平内1遺跡及び 園地跡	縄文		散布地	津野町西平内	平成24年5月8日	
93		可能性あり5				津野町樺市第37地割	平成24年5月8日	

No.	遺跡コード	遺跡名	時代	遺様・遺物	種別	所在地	調査日	備考
94		可能性あり6				洋野町桜市第37地割	平成24年5月8日	
95		可能性あり7				洋野町桜市第24地割	平成24年5月9日	
96		可能性あり8	土器・壺			洋野町桜市第21地割	平成24年5月9日	
97		可能性あり9				洋野町桜市第28地割	平成24年5月9日	
98		可能性あり10				洋野町桜市第25地割	平成24年5月10日	
99		可能性あり11				洋野町桜市第25地割	平成24年5月10日	
100		可能性あり12				洋野町桜市第21地割	平成24年5月10日	
101		可能性あり13				洋野町桜市第21地割	平成24年5月10日	
102		可能性あり14				洋野町桜市第21地割	平成24年5月14日	
103		可能性あり15				洋野町桜市第21地割	平成24年5月14日	
104		可能性あり16				洋野町桜市第17地割	平成24年5月14日	
105		可能性あり17				洋野町桜市第16地割	平成24年5月14日	
106		可能性あり18				洋野町桜市第16地割	平成24年5月14日	
107		可能性あり19				洋野町桜市第15地割	平成24年5月15日	
108		可能性あり20				洋野町桜市第15地割	平成24年5月15日	
109		可能性あり21				洋野町桜市第15地割	平成24年5月15日	
110		可能性あり22				洋野町桜市第13地割	平成24年5月15日	
111		可能性あり23				洋野町桜市第11地割	平成24年5月15日	
112		可能性あり24				洋野町桜市第10地割	平成24年5月16日	
113		可能性あり25				洋野町桜市第10地割	平成24年5月16日	
114		可能性あり26				洋野町桜市第7地割	平成24年5月16日	
115		可能性あり27				洋野町桜市第6地割	平成24年5月16日	
116		可能性あり28				洋野町桜市第6地割	平成24年5月16日	
117		可能性あり29				洋野町桜市第6地割	平成24年5月17日	
118		可能性あり30				洋野町桜市第6地割	平成24年5月17日	
119		可能性あり31				洋野町桜市第6地割	平成24年5月17日	
120		可能性あり32				洋野町桜市第4地割	平成24年5月17日	
121		可能性あり33				洋野町桜市第3地割	平成24年5月17日	
122		可能性あり34				洋野町桜市第3地割	平成24年5月17日	
123		可能性あり35				洋野町桜市第2地割	平成24年5月21日	
124		可能性あり36				洋野町桜市第2地割	平成24年5月21日	
125		可能性あり37				洋野町桜市第1地割	平成24年5月21日	
126		可能性あり38				洋野町桜市第1地割	平成24年5月21日	
127		可能性あり39				洋野町小字内第1地割	平成24年5月21日	
128		可能性あり40				洋野町小字内第1地割	平成24年5月22日	
129		可能性あり41				洋野町小字内第7地割	平成24年5月22日	
130		可能性あり42				洋野町小字内第7地割	平成24年5月22日	
131		可能性あり43				洋野町有茎第1地割	平成24年5月22日	
132		可能性あり44				洋野町小字内第1地割	平成24年5月22日	
133	IGB0-0340	上のマヤカ遺跡	縄文	縄文土器	散布地	洋野町小字内第1地割	平成24年5月22日	
134		可能性あり45				洋野町有茎第6地割	平成24年5月23日	
135		可能性あり46				洋野町有茎第9地割	平成24年5月23日	
136		可能性あり47				洋野町中野第6地割	平成24年5月23日	
137		可能性あり48				洋野町中野第6地割	平成24年5月23日	
138		可能性あり49				洋野町中野第12地割	平成24年5月24日	
139		可能性あり50				洋野町中野第7地割	平成24年5月24日	
140	IGB0-1110-IGB0-1120	桑原川遺跡 桑原川Ⅱ遺跡及び隣接地	縄文		散布地・集落跡	久喜市待浜町桑原第3地割	平成24年5月24日	
141		可能性あり51				久喜市待浜町桑原第2地割	平成24年5月24日	

(唐桑～陸前高田)

No.	道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
142		可能性あり7				陸前高田市気仙町	平成25年1月11日	

(三陸沿岸道路 工事用道路・宮古中央～田老)

No.	道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
143		可能性あり1				宮古市田老新田	平成24年12月5日	第20号工事用道路

(三陸沿岸道路 工事用道路・宮古中央～階上)

No.	道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
144		可能性あり1				宮古市田老新田	平成24年12月5日	第19～1号工事用道路
145		可能性あり2				野田村野田	平成24年12月6日	工事用道路(野田14)

(三陸沿岸道路 宮古市青野淹残土受入地:宮古中央～田老)

No.	道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
146	可能性あり1	可能性あり1				宮古市田老字青野淹北	平成25年2月25日	
147	可能性あり2	可能性あり2				宮古市田老字青野淹北	平成25年2月25日	
148	可能性あり3	可能性あり3				宮古市田老字青野淹北	平成25年2月25日	
149	可能性あり4	可能性あり4				宮古市田老字青野淹北	平成25年2月25日	
150	可能性あり5	可能性あり5				宮古市田老字青野淹北	平成25年2月25日	
151	可能性あり6	可能性あり6				宮古市田老字青野淹北	平成25年2月25日	
152	KGB4-0240	物見岬Ⅲ遺跡	縄文		キャンプ地	宮古市田老字青野淹北	平成25年2月25日	
153	可能性あり7	可能性あり7				宮古市田老字青野淹北	平成25年2月26日	
154	可能性あり8	可能性あり8				宮古市田老字青野淹北	平成25年2月26日	

(2) 釜石花巻道路(遠野住田～遠野)

No.	道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
155	MF76-0028	平野原Ⅱ遺跡	縄文		散布地	遠野市上郷町平倉	平成25年4月16日	
156		可能性あり1				遠野市上郷町平倉	平成25年4月16日	
157		可能性あり2			縄文土器	遠野市上郷町平倉	平成25年4月16日	
158		可能性あり3				遠野市上郷町平倉	平成25年4月16日	
159		可能性あり4				遠野市上郷町平倉	平成25年4月16日	
160		可能性あり5				遠野市上郷町平倉	平成25年4月16日	
161		可能性あり6			縄文土器	遠野市上郷町平倉	平成25年4月16日	
162		可能性あり7			土器	遠野市上郷町平倉	平成25年4月16日～5月1日	
163		可能性あり8				遠野市上郷町平倉字源立	平成25年4月16日	
164		可能性あり9				遠野市上郷町平倉字源立	平成25年4月16日	
165		可能性あり10			堅状地形	遠野市上郷町来内字締越沢	平成25年4月16日	
166		可能性あり11				遠野市上郷町来内字堤	平成25年4月16日	
167		可能性あり12				遠野市上郷町来内字堤	平成25年4月16日	
168		可能性あり13				遠野市上郷町来内字堤	平成25年4月16日	
169		可能性あり14				遠野市上郷町来内字堤	平成25年4月16日	
170		可能性あり15				遠野市上郷町来内字堤	平成25年4月16日	
171		可能性あり16				遠野市上郷町来内字堤	平成25年4月16日	
172		可能性あり17				遠野市上郷町来内字堤	平成25年4月16日	
173		可能性あり18			縄文土器	遠野市上郷町来内	平成25年4月16日	
174		可能性あり19				遠野市上郷町来内	平成25年4月16日	
175		可能性あり20				遠野市上郷町来内	平成25年4月16日	
176		可能性あり21				遠野市遠野町字ノ田	平成25年4月16日～5月14日	
177		可能性あり22				遠野市遠野町字ノ田	平成25年4月16日	
178		可能性あり23			堅状地形	遠野市遠野町字ノ田	平成25年4月16日	

No.	道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
179		可能性あり24				道野市道野町字メ田	平成25年4月19日	
180		可能性あり25				道野市道野町字メ田	平成25年4月19日	
181	MF55-2016	メ田道路	縄文		散布地	道野市道野町字メ田	平成25年4月19日	
182		可能性あり26				道野市道野町字メ田	平成25年4月19日	
183		可能性あり27				道野市道野町字メ田	平成25年4月19日	
184		可能性あり28				道野市道野町字九重沢	平成25年4月19日	
185		可能性あり29				道野市道野町字九重沢	平成25年4月19日	
186		可能性あり30				道野市道野町字九重沢	平成25年4月19日	
187		可能性あり31				道野市道野町字九重沢	平成25年4月19日	
188		可能性あり32				道野市道野町字程洞	平成25年4月19日	
189		可能性あり33				道野市道野町字程洞	平成25年4月19日	
190		可能性あり34	塙			道野市道野町字程洞	平成25年4月23日	
191		可能性あり35				道野市道野町字程洞	平成25年4月23日	
192	MF54-0227	新里受安裏道路	縄文	集落跡		道野市結縁町新里字間木野	平成25年4月23日	
193	MF54-0225	新里新造道路	縄文	散布地		道野市結縁町新里字間木野	平成25年4月23日	
194	MF54-0213	新里薪木野跡及び 墓地	縄文・古代	散布地		道野市結縁町新里字間木野	平成25年4月23日	
195		可能性あり36				道野市結縁町新里字間木野	平成25年4月23日	
196		可能性あり37				道野市結縁町新里字間木野	平成25年4月23日	
197		可能性あり38				道野市結縁町新里字間木野	平成25年4月23日	
198		可能性あり39				道野市上郷町平倉	平成25年5月14日	

(3) 宮古盛岡横断道路(宮古西道路)

No.	道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
199	LG34-1048	壁面石碑道路及び 隣接地	縄文・古代		散布地	宮古市壁面第1地割	平成24年8月23日	
200	LG34-1091	上村IV道路及び 隣接地	縄文・古代		散布地	宮古市壁面第3地割	平成24年8月21日	
201	LG33-1389	小山田Ⅲ道路及び 隣接地	中世	堀切	城郭跡	宮古市小山田第6地割	平成24年8月21日	
202		可能性あり1				宮古市小山田	平成24年8月21日	
203		可能性あり2				宮古市千瀬	平成24年8月22日	
204		可能性あり3				宮古市千瀬	平成24年8月22日	
205		可能性あり4				宮古市千瀬	平成24年8月22日	
206		可能性あり5				宮古市千瀬	平成24年8月22日	
207		可能性あり6				宮古市千瀬	平成24年8月23日	
208	LG33-2214	木戸井内Ⅲ道路及び 隣接地	古代		散布地	宮古市千瀬第14地割	平成24年8月22日	
209		可能性あり7				宮古市千瀬	平成24年8月22日	
210		可能性あり8				宮古市千瀬	平成24年8月22日	
211		可能性あり9				宮古市千瀬	平成24年8月22日	
212		可能性あり10				宮古市八木沢	平成24年8月23日	
213	LG33-1380	小山田Ⅰ道路	古代		散布地	宮古市小山田第5地割	平成25年2月7日	

(平津戸・岩井～松草)

No.	道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
214		可能性あり1				宮古市平津戸	平成24年10月9・10日	
215		可能性あり2				宮古市門馬	平成24年10月9・10日	
216		可能性あり3				宮古市区界	平成24年10月9・10日	
217		可能性あり4				宮古市区界	平成24年10月9・10日	
218		可能性あり5				宮古市区界	平成24年10月9・10日	
219		可能性あり6				宮古市区界	平成24年10月9・10日	
220		可能性あり7				宮古市区界	平成24年10月9・10日	
221		可能性あり8				宮古市区界	平成24年10月9・10日	

(区界～梁川)

No.	道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
222	可能性あり1					富吉市區界	平成24年10月9・11 日	
223	可能性あり2					富吉市區界	平成24年10月9・11 日	
224	可能性あり3					富吉市區界	平成24年10月9・11 日	
225	可能性あり4					富吉市區界	平成24年10月9・11 日	
226	可能性あり5					富吉市區界	平成24年10月9・11 日	
227	可能性あり6					豊岡市梁川	平成24年10月9・11 日	
228	可能性あり7					豊岡市梁川	平成24年10月9・11 日	
229	可能性あり8					豊岡市梁川	平成24年10月9・11 日	
230	可能性あり9					豊岡市梁川	平成24年10月9・11 日	
231	可能性あり10					豊岡市梁川	平成24年10月9・11 日	
232	可能性あり11					豊岡市梁川	平成24年10月9・11 日	
233	可能性あり12					豊岡市梁川	平成24年10月9・11 日	

2 試掘調査一覧

(1) 三陸沿岸道路

(三陸国道事務所管内: 階上IC~山田南IC・南三陸国道事務所管内: 山田南IC~唐桑IC)

※ 縄かけ簡略は本書で取り上げた遺跡

No.	市町村名	事業地区	遺跡名・地区名	試掘調査実施日	調査結果
1	洋野町	三陸沿岸道路(南上~待浜)	北ノ沢1遺跡(旧可能性あり3)	平成25年2月12日	縄文土器を多量に含む包含層を確認。
2	洋野町	三陸沿岸道路(南上~待浜)	可能性あり4	平成25年2月13日	微量の土器が確認されたものの、遺構等はすでに削平されていると判断した。
3	洋野町	三陸沿岸道路(南上~待浜)	西平内1遺跡(IF4B-0041)及び隣接地	平成25年2月13日	配石炉を検出。縄文土器・石器・土製品が出土。
4	洋野町	三陸沿岸道路(南上~待浜)	可能性あり5	平成25年1月15~16日	遺物は隣接地からの流れ込みと判断。
5	洋野町	三陸沿岸道路(南上~待浜)	可能性あり6	平成25年1月16日	遺構・遺物なし。
6	洋野町	三陸沿岸道路(南上~待浜)	可能性あり7	平成25年1月17~18・21日	遺物は隣接地からの流れ込み等と判断。
7	洋野町	三陸沿岸道路(南上~待浜)	可能性あり8	平成24年12月5日	遺構・遺物なし。
8	洋野町	三陸沿岸道路(南上~待浜)	南川尻遺跡(旧可能性あり9)	平成24年10月25~26日	遺物包含層を検出。縄文土器・石器が出土。
9	洋野町	三陸沿岸道路(南上~待浜)	可能性あり10	平成24年12月12日	遺構・遺物なし。
10	洋野町	三陸沿岸道路(南上~待浜)	可能性あり11	平成24年12月11日	遺構・遺物なし。
11	洋野町	三陸沿岸道路(南上~待浜)	可能性あり12	平成24年12月10日	遺構・遺物なし。
12	洋野町	三陸沿岸道路(南上~待浜)	可能性あり13	平成24年12月7日	遺構・遺物なし。
13	洋野町	三陸沿岸道路(南上~待浜)	可能性あり14	平成24年12月3~4日	遺構・遺物なし。
14	洋野町	三陸沿岸道路(南上~待浜)	可能性あり15	平成24年12月13~14日	遺構・遺物なし。
15	洋野町	三陸沿岸道路(南上~待浜)	小路合遺跡(旧可能性あり16)	平成25年3月13~14日	陥し穴2基・土坑2基・遺物包含層を検出。縄文土器・石器が出土。
16	洋野町	三陸沿岸道路(南上~待浜)	可能性あり17	平成25年3月11~12日	遺構なし。流れ込みと見られる根株石器が出土。
17	洋野町	三陸沿岸道路(南上~待浜)	南鹿島遺跡(旧可能性あり18)	平成25年3月14~15日	陥し穴4基・土坑1基・縄文時代後期の遺物包含層を検出。縄文土器・石器が出土。
18	洋野町	三陸沿岸道路(南上~待浜)	鹿島溪遺跡(旧可能性あり19)	平成25年1月22~23日	遺物は隣接地からの流れ込み等と判断。
19	洋野町	三陸沿岸道路(南上~待浜)	鹿島溪遺跡(旧可能性あり20)	平成25年1月23日	縄文土器・石器を含む包含層や土坑を確認。
20	洋野町	三陸沿岸道路(南上~待浜)	可能性あり26	平成25年2月27日	遺物は隣接地からの流れ込みと判断。
21	洋野町	三陸沿岸道路(南上~待浜)	可能性あり27	平成25年2月26~27日	遺構・遺物なし。
22	洋野町	三陸沿岸道路(南上~待浜)	可能性あり28	平成25年3月8日	遺構・遺物なし。
23	洋野町	三陸沿岸道路(南上~待浜)	坂戸遺跡(旧可能性あり29)	平成25年3月7日	縄文時代の遺物包含層を検出。縄文土器・石器が出土。
24	洋野町	三陸沿岸道路(南上~待浜)	坂戸遺跡(旧可能性あり31)	平成25年3月8日	縄文時代中後期の遺物包含層を検出。縄文土器・石器が出土。
25	洋野町	三陸沿岸道路(南上~待浜)	可能性あり32	平成25年2月22日	遺構・遺物なし。
26	洋野町	三陸沿岸道路(南上~待浜)	可能性あり33	平成25年2月28日	一定量の縄文土器・石器を含む包含層を検出。
27	洋野町	三陸沿岸道路(南上~待浜)	可能性あり34	平成25年3月14~15日	遺構なし。流れ込みと見られる縄文土器が出土。
28	洋野町	三陸沿岸道路(南上~待浜)	可能性あり35	平成25年3月13日	遺構なし。流れ込みと見られる縄文土器が出土。
29	洋野町	三陸沿岸道路(南上~待浜)	可能性あり36	平成25年3月13日	遺構・遺物なし。
30	洋野町	三陸沿岸道路(南上~待浜)	可能性あり37	平成25年3月13日	遺構・遺物なし。
31	洋野町	三陸沿岸道路(南上~待浜)	南八木遺跡(旧可能性あり38)	平成25年3月11~12日	鉢津堤とみられる遺構を検出。鉢津・羽口が出土。
32	洋野町	三陸沿岸道路(南上~待浜)	可能性あり39	平成24年12月5~6日	縄文土器が表土直下(埋乱層か?)から出土。
33	洋野町	三陸沿岸道路(南上~待浜)	可能性あり42	平成25年2月14日	遺物は隣接地からの流れ込みと判断。
34	洋野町	三陸沿岸道路(南上~待浜)	可能性あり43	平成25年2月15~18日	遺物は隣接地からの流れ込みと判断。
35	洋野町	三陸沿岸道路(南上~待浜)	可能性あり44	平成25年2月15~18~20日	遺構・遺物なし。
36	洋野町	三陸沿岸道路(南上~待浜)	可能性あり46	平成24年10月23~24日	遺物は隣接地からの流れ込みと判断。
37	洋野町	三陸沿岸道路(南上~待浜)	下向遺跡・中野城内遺跡(旧可能性あり47)	平成24年10月24~25日	2地点で陥し穴2基を検出。
38	洋野町	三陸沿岸道路(南上~待浜)	可能性あり50	平成25年2月20~21日	遺構・遺物なし。
39	久慈市	久慈北道路	桑畑西遺跡(JG90-1181)	平成24年10月16日	遺構・遺物なし。
40	久慈市	久慈北道路	可能性あり1	平成24年10月17~24日	陥し穴・墓を検出。
41	久慈市	久慈北道路	可能性あり2	平成24年7月3~5日	遺構・遺物なし。
42	久慈市	久慈北道路	可能性あり3	平成24年10月24~29日、11月7~8日	遺構・遺物なし。
43	久慈市	久慈北道路	木戸港遺跡(JG00-0135)	平成24年11月5~8日、11月8~14日	遺構・遺物なし。
44	久慈市	久慈北道路	可能性あり4	平成24年11月14~21日	遺構・遺物なし。
45	久慈市	久慈北道路	可能性あり5	平成24年10月30日~11月1日	縄文時代の陥し穴3基を検出。
46	久慈市	久慈北道路	可能性あり6	平成24年7月3~5日	陥し穴と見られるものを含めて土坑4基を検出。
47	久慈市	久慈北道路	可能性あり6(2次調査)	平成24年11月22~30日	縄文時代の陥し穴1基を検出。

※ 細かけ箇所は本表で取り上げた遺跡

No.	市町村名	事業地区	遺跡名・地区名	試掘調査実施日	調査結果
48	久慈市	久慈北道路	可能性あり9	平成24年10月16日	遺構・遺物なし。
49	久慈市	久慈北道路	可能性あり10	平成24年10月17日	遺構・遺物なし。
50	久慈市	久慈北道路	宇津呂Ⅰ遺跡(JG10-1077)	平成24年10月17日	遺構・遺物なし。
51	久慈市	久慈北道路	可能性あり11	平成24年10月18日	遺構・遺物なし。
52	久慈市	久慈北道路	可能性あり12	平成24年10月18・19日	遺構・遺物なし。
53	久慈市	三陸沿岸道路(普代～久慈)	田子沢遺跡(JG050-1200)	平成25年1月29日	遺構・遺物なし。
54	久慈市	三陸沿岸道路(普代～久慈)	可能性あり21	平成25年2月6日	遺構・遺物なし。
55	久慈市	三陸沿岸道路(普代～久慈)	可能性あり22	平成25年2月6・7日	遺構・遺物なし。
56	久慈市	三陸沿岸道路(普代～久慈)	可能性あり23	平成25年2月7日	遺構・遺物なし。
57	久慈市	三陸沿岸道路(普代～久慈)	可能性あり24	平成25年2月7日	遺構・遺物なし。
58	久慈市	三陸沿岸道路(普代～久慈)	可能性あり25	平成25年2月12日	遺構・遺物なし。
59	久慈市	三陸沿岸道路(普代～久慈)	可能性あり27	平成25年2月28日	遺構・遺物なし。
60	久慈市	三陸沿岸道路(普代～久慈)	可能性あり28	平成25年1月28日	遺構・遺物なし。
61	久慈市	三陸沿岸道路(普代～久慈)	声ヶ沢遺跡(旧可能性あり28)	平成25年1月24・25日	縄文時代前段の多量な遺物が出土。陥し穴と見られる土坑1基を検出。
62	久慈市	三陸沿岸道路(普代～久慈)	可能性あり33	平成24年11月20・21日	遺構・遺物なし。
63	久慈市	三陸沿岸道路(普代～久慈)	可能性あり34	平成24年11月20日	遺構・遺物なし。
64	久慈市	三陸沿岸道路(普代～久慈)	可能性あり35	平成24年11月19・20日	遺構・遺物なし。
65	久慈市	三陸沿岸道路(普代～久慈)	可能性あり36	平成25年1月29日	氾濫原埋土中より土師器片1出土。
66	野田村	三陸沿岸道路(普代～久慈)	可能性あり6	平成24年11月21日	遺構・遺物なし。
67	野田村	三陸沿岸道路(普代～久慈)	可能性あり7	平成25年2月19・20日	遺構・遺物なし。
68	野田村	三陸沿岸道路(普代～久慈)	可能性あり8	平成25年2月19・21日	遺構・遺物なし。
69	野田村	三陸沿岸道路(普代～久慈)	可能性あり9	平成24年11月28～30日	上代川遺跡(旧可能性あり9)
70	野田村	三陸沿岸道路(普代～久慈)	可能性あり10	平成24年11月22日	遺構・遺物なし。
71	野田村	三陸沿岸道路(普代～久慈)	可能性あり11	平成24年11月26日	出土した縄文土器は隣接地からの流れ込みと判断。
72	野田村	三陸沿岸道路(普代～久慈)	可能性あり12	平成25年2月18日	遺構・遺物なし。
73	野田村	三陸沿岸道路(普代～久慈)	可能性あり13	平成24年11月27日	遺構・遺物なし。
74	野田村	三陸沿岸道路(普代～久慈)	可能性あり14	平成24年11月27日	陥し穴3基を検出。
75	野田村	三陸沿岸道路(普代～久慈)	可能性あり15	平成25年1月30日	遺構・遺物なし。
76	野田村	三陸沿岸道路(普代～久慈)	可能性あり16	平成25年1月30・31日	遺構・遺物なし。
77	野田村	三陸沿岸道路(普代～久慈)	中平生跡(JG09-0258)・ 大平生跡(JG06-0306)	平成25年2月19日	豈穴住居の可能性がある落ち込みを検出。
78	野田村	三陸沿岸道路(普代～久慈)	可能性あり17	平成25年1月31日	遺構・遺物なし。
79	野田村	三陸沿岸道路(普代～久慈)	伏津跡(JG56-2353)	平成25年1月31日	遺構・遺物なし。(遺跡範囲内については、本調査対応。)
80	野田村	三陸沿岸道路(普代～久慈)	可能性あり18	平成25年1月23日	流れ込みと見られる縄文土器片2点が出土。
81	野田村	三陸沿岸道路(普代～久慈)	可能性あり19	平成24年12月17日	遺構・遺物なし。
82	野田村	三陸沿岸道路(普代～久慈)	可能性あり20	平成24年12月18日	遺構・遺物なし。
83	野田村	三陸沿岸道路(尾肝葉～普代)	可能性あり21	平成24年12月10・12日	遺構・遺物なし。
84	普代村	三陸沿岸道路(尾肝葉～普代)	可能性あり13	平成24年12月6・7日	遺構・遺物なし。
85	普代村	三陸沿岸道路(尾肝葉～普代)	可能性あり14	平成24年12月12日	遺構・遺物なし。
86	普代村	三陸沿岸道路(尾肝葉～普代)	力持Ⅱ遺跡(JG92-0117)・ 隣接地	平成25年1月21日	遺構・遺物なし。
87	普代村	三陸沿岸道路(普代～久慈)	力持遺跡(JG092-0137)	平成25年3月19日	濃密な遺物包含層を検出。
88	普代村	三陸沿岸道路(普代～久慈)	可能性あり2	平成25年1月21日	遺構・遺物なし。
89	田野畑村	三陸沿岸道路(尾肝葉～普代)	可能性あり1・2	平成24年12月13～18日	陥し穴3基・土坑1基を検出。
90	田野畑村	三陸沿岸道路(尾肝葉～普代)	可能性あり3・4	平成24年12月4～6日	陥し穴3基を検出。
91	田野畑村	三陸沿岸道路(尾肝葉～普代)	可能性あり5	平成24年12月18日	遺構・遺物なし。
92	田野畑村	三陸沿岸道路(尾肝葉～普代)	可能性あり6	平成24年12月18・19日	遺構・遺物なし。
93	田野畑村	三陸沿岸道路(田野畑南～尾肝葉・尾肝葉～普代)	可能性あり7	平成25年3月6・7日	遺構・遺物なし。
94	田野畑村	三陸沿岸道路(田野畑南～尾肝葉・尾肝葉～普代)	可能性あり8	平成25年3月6・7日	遺構・遺物なし。
95	田野畑村	三陸沿岸道路(田野畑南～尾肝葉)	可能性あり9	平成25年2月13日	遺構・遺物なし。
96	田野畑村	三陸沿岸道路(田野畑南～尾肝葉)	可能性あり10	平成25年2月5日	遺構・遺物なし。
97	田野畑村	三陸沿岸道路(田野畑南～尾肝葉)	真木沢Ⅲ遺跡(KG43-0039)	平成25年1月28・29日	遺構・遺物なし。

※ 捱かけ筋所は本書で取り上げた遺跡

地番	市町村名	事業地区	遺跡名・地区名	試掘調査実施日	調査結果
98	田野畠村	三陸沿岸道路(田野畠南～尾鷲東)	浜岩泉Ⅱ遺跡(KG43-0015)	平成25年1月30-31日	遺構・遺物なし。
99	田野畠村	三陸沿岸道路(田野畠南～尾鷲東)	浜岩泉Ⅲ遺跡(KG43-2096)	平成25年1月30-31日	埴土遺構、縄文土器片、磨石等出土。
100	田野畠村	三陸沿岸道路(田野畠南～尾鷲東)	大芦 I 遺跡(KG43-2069)	平成25年3月4-5日	遺構・遺物なし。
101	田野畠村	三陸沿岸道路(田野畠南～尾鷲東)	鳥越Ⅳ遺跡(旧可動性あり4)	平成25年2月4日	伊跡と見られる遺構1基と縄文時代の包含層を確認。
102	田野畠村	三陸沿岸道路(田野畠南～尾鷲東)	鳥越Ⅲ遺跡(KG43-2047)	平成25年2月～4日	遺構・遺物なし。
103	田野畠村	三陸沿岸道路(田野畠南～尾鷲東)	鳥越Ⅲ遺跡 周囲拡大(旧可能性あり4)	平成24年11月26-27日	陥し穴2基・土坑1基を検出。縄文土器が出土。
104	田野畠村	三陸沿岸道路(田野畠南～尾鷲東)	可能性あり5	平成24年11月27-28日	遺構・遺物なし。
105	田野畠村	三陸沿岸道路(田野畠南～尾鷲東)	可能性あり6	平成25年1月16日	遺構・遺物なし。
106	田野畠村	三陸沿岸道路(田野畠南～尾鷲東)	可能性あり7	平成25年1月17日	遺構・遺物なし。
107	田野畠村	三陸沿岸道路(田野畠南～尾鷲東)	浜岩泉VI遺跡(KG43-1030)	平成25年1月17-18日、24日、2月12日	遺構・遺物は流れ込みと見られる縄文土器片2点。
108	田野畠村	三陸沿岸道路(田野畠南～尾鷲東)	可能性あり8	平成24年12月3-4日	遺構・遺物なし。
109	田野畠村	三陸沿岸道路(田野畠南～尾鷲東)	可能性あり8(2次調査)	平成25年2月13-14日	遺構・遺物なし。
110	田野畠村	三陸沿岸道路(田野畠南～尾鷲東)	可能性あり9	平成25年1月24日	遺構・遺物なし。
111	田野畠村	三陸沿岸道路(田野畠南～尾鷲東)	骨産遺跡(KG22-2354)	平成25年3月5-6日	遺物包含層を検出。
112	田野畠村	三陸沿岸道路(田野畠南～尾鷲東)	可能性あり10-11	平成24年12月18日	遺構・遺物なし。
113	田野畠村	三陸沿岸道路(田野畠南～尾鷲東)	可能性あり12	平成24年11月29日	堅穴住居1棟を検出。縄文土器が出土。
114	田野畠村	三陸沿岸道路(田野畠南～尾鷲東)	可能性あり13	平成24年11月28-29日	耕土中より石器が1点出土。
115	田野畠村	三陸沿岸道路(田野畠南～尾鷲東)	骨産長持形遺跡(旧可能性あり14)	平成24年11月28-30日	土坑・柱穴を検出。縄文土器・石器が出土。
116	田野畠村	三陸沿岸道路(田野畠南～尾鷲東)	可能性あり15	平成25年1月25日	遺構・遺物なし。
117	田野畠村	三陸沿岸道路(田野畠南～尾鷲東)	可能性あり16	平成24年11月30日	表土より石器が1点出土。
118	田野畠村	三陸沿岸道路(田野畠南～尾鷲東)	可能性あり17	平成24年11月30日、12月6日	遺構・遺物なし。
119	岩泉町	三陸沿岸道路(田老～岩泉)	小成Ⅲ遺跡(旧可能性あり4)	平成24年11月5～9日	堅穴住居1棟、遺物包含層を検出。縄文土器が出土。
120	宮古市	三陸沿岸道路(宮古中央～田老北)	牛沢遺跡(LQ23-1233)(1)	平成24年8月30日、9月20日	土坑1基、縄文土器を検出。
121	宮古市	三陸沿岸道路(宮古中央～田老北)	牛沢遺跡(LQ23-1233)(2)	平成24年9月20日	縄文時代の遺物を検出。
122	宮古市	三陸沿岸道路(宮古中央～田老北)	乙部遺跡(KG84-0068)	平成24年9月25日	遺構・遺物なし。
123	山田町	三陸沿岸道路(山田～宮古南)	沢田遺跡(LQ94-0024)	平成25年1月9-10日	縄文時代の堅穴住居2棟・遺物包含層を検出。縄文土器・石器が出土。
124	山田町	三陸沿岸道路(山田～宮古南)	沢田遺跡(LQ94-0024)	平成25年1月26日	堅穴住居1棟・柱穴、遺物包含層を検出。縄文土器・土師器が出土。
125	山田町	三陸沿岸道路(山田～宮古南)	間木戸 I 遺跡(LQ64-0005)	平成25年1月8-9日	縄文時代・古代の溝・柱穴を検出。土師器・縄文土器が出土。
126	山田町	三陸沿岸道路(山田～宮古南)	間木戸 II 遺跡(LQ64-0006)	平成25年1月8-9日	縄文時代の堅穴住居2棟・遺物包含層を検出。縄文土器が出土。
127	山田町	三陸沿岸道路(山田～宮古南)	間木戸 II 遺跡(LQ64-0025)	平成24年11月16日	遺構・遺物なし。
128	山田町	三陸沿岸道路(山田～宮古南)	間木戸 II 遺跡(LQ64-2096)	平成25年1月8日	遺構・遺物なし。
129	山田町	三陸沿岸道路(山田～宮古南)	間木戸 II 遺跡(LQ64-2098)	平成25年1月8-9日	炭窯2基・遺物包含層を検出。鐵津・土師器・縄文土器が出土。
130	山田町	三陸沿岸道路(山田～宮古南)	田名毛田 II 遺跡(LQ73-1390)	平成24年11月14日	遺構・遺物なし。
131	山田町	三陸沿岸道路(山田～宮古南)	豊間根新田 I 遺跡(LQ73-1264)	平成24年11月15-16日	陥し穴1基、土坑7基を検出。
132	山田町	三陸沿岸道路(山田～宮古南)	可能性あり1	平成24年8月2-3日	遺構・遺物なし。
133	山田町	三陸沿岸道路(山田～宮古南)	可能性あり1(2次調査)	平成25年2月27日	遺構・遺物なし。
134	山田町	三陸沿岸道路(山田～宮古南)	石峰 III 遺跡(LQ63-2129)	平成24年9月20-21日、11月12-13日	陥し穴1基、製鉄炉1基・鋸津塙・縄文時代の遺物包含層を検出。縄文土器・石器・鐵津・羽口が出土。
135	宮古市	三陸沿岸道路(山田～宮古南)	青竹日影 II 遺跡(LQ63-0280)	平成25年1月10-11日	伊跡1基、遺物包含層を検出。縄文土器・土師器が出土。
136	宮古市	三陸沿岸道路(山田～宮古南)	青竹日向 I 遺跡(LQ63-0231)	平成25年2月27-28日	堅穴住居状遺構2棟、陥し穴2基を検出。縄文土器・土師器・鐵津が出土。
137	宮古市	三陸沿岸道路(山田～宮古南)	山川 I 遺跡(LQ53-2291)・私川 I 遺跡(LQ63-0200)	平成24年9月19-20日、11月14-15日	陥し穴4基・土坑2基・柱穴8基、中世～近世の墓地を確認。縄文土器が出土。
138	宮古市	三陸沿岸道路(山田～宮古南)	根井穴元田Ⅱ遺跡(LQ53-2201)	平成24年11月13-14日	陥し穴1基、製鉄炉(津津坑)1基を検出。鐵津・羽口が出土。
139	宮古市	三陸沿岸道路(山田IC～宮古南IC)	根井穴元田 I 遺跡(LQ53-1272)	平成25年2月8日-4月9日	遺構・遺物なし。
140	宮古市	三陸沿岸道路(山田～宮古南)	沼星遺跡(LQ53-1225)	平成25年2月5～7日	古代のものとみられる堅穴住居3棟・皮張1基、遺物包含層2層所を検出。縄文土器・土師器・鐵津が出土。
141	宮古市	三陸沿岸道路(山田～宮古南)	津桂大森遺跡(LQ53-1207)	平成25年2月4-5日	古代の土坑1基・堅穴住居状遺構1基・鐵土遺構1基、遺物包含層を検出。縄文土器・土師器が出土。
142	宮古市	三陸沿岸道路(山田～宮古南)	馬越 I 遺跡(LQ53-0268)	平成25年1月10日	遺構・遺物なし。
143	宮古市	三陸沿岸道路(山田～宮古南)	可能性あり2	平成25年1月10-11日	遺構・遺物なし。

※ 細かけ箇所は本書で取り上げた遺跡

No.	市町村名	事業地区	遺跡名・地区名	試掘調査実施日	調査結果
144	宮古市	三陸沿岸道路(山田～宮古南)	金浜V道路(LQ53-0313)	平成25年2月7~8日	(後土)製鉄関連遺構1基と鉄滓の包含層を検出。
145	宮古市	三陸沿岸道路(山田～宮古南)	可能性あり3	平成24年9月18~19日	遺構・遺物なし。
146	宮古市	三陸沿岸道路(山田～宮古南)	金浜V道路(LQ43-2383)	平成24年9月18~19日	遺構・遺物なし。
147	宮古市	三陸沿岸道路(山田～宮古南)	可能性あり4	平成25年2月25日	遺構・遺物なし。
148	宮古市	三陸沿岸道路(山田～宮古南)	家の沢跡(MG14-1119)	平成24年10月29~30日	周辺からの流れ込みとみられる純文土器が出土。
149	大槌町	三陸沿岸道路(釜石山田道路)	穴山道路(MQ23-0097)	平成24年12月13日	遺構・遺物なし。
150	大槌町	三陸沿岸道路(釜石山田道路)	金数神道跡(MQ23-2225)	平成24年12月14日	遺構・遺物なし。
151	大槌町	三陸沿岸道路(釜石山田道路)	白石沢跡(MQ23-1279)	平成24年12月14~18日	遺構・遺物なし。
152	大槌町	三陸沿岸道路(釜石山田道路)	眞鍋ヶ沢跡(MQ23-1391)及び隣接地	平成24年12月18~19日	遺構・遺物なし。
153	大槌町	三陸沿岸道路(釜石山田道路)	田屋沢跡(MQ23-1373)及び隣接地	平成24年12月20日～平成25年1月18日	縄文時代の竪穴住居2棟・柱穴3基・土坑2基や遺物包含層を検出。純文土器が出土。
154	大槌町	三陸沿岸道路(釜石山田道路)	松橋跡(MQ23-1354)及び隣接地	平成24年12月25日～平成25年1月18日	縄文時代の遺物包含層を検出。土器・石器が出土。
155	大槌町	三陸沿岸道路(釜石山田道路)	可能性あり(吉里吉里)	平成24年12月13日	遺構・遺物なし。
156	大槌町	三陸沿岸道路(釜石山田道路)	辺地沢I道路(MQ32-0359)	平成24年12月10~12日	遺構・遺物なし。
157	大槌町	三陸沿岸道路(釜石山田道路)	狭田館跡(MQ33-0092)	平成24年12月7日	鉄筋の屈曲線や粗目を確認。
158	大槌町	三陸沿岸道路(釜石山田道路)	道畠I道路(MQ33-0061)	平成24年12月12日	縄文時代の竪穴1基や遺物包含層を検出。純文土器が出土。
159	大槌町	三陸沿岸道路(釜石山田道路)	可能性あり(大槌)	平成24年12月12日	遺構・遺物なし。
160	磐石市	三陸沿岸道路(吉浜～磐石)	黄川山砂利場(MQ81-2369)	平成24年10月24日	周辺からの流れ込みとみられる純文土器が出土。
161	磐石市	三陸沿岸道路(吉浜～磐石)	荒川子砂利場(MQ82-2055)	平成24年10月24日	遺構・遺物なし。
162	磐石市	三陸沿岸道路(吉浜～磐石)	可能性あり2	平成24年10月10日	遺構・遺物なし。
163	磐石市	三陸沿岸道路(吉浜～磐石)	可能性あり3	平成24年10月23日	遺構・遺物なし。
164	磐石市	三陸沿岸道路(吉浜～磐石)	大沢V道路(MQ71-2352)	平成24年10月22日	遺構・遺物なし。
165	磐石市	三陸沿岸道路(吉浜～磐石)	可能性あり4	平成24年10月10日	遺構・遺物なし。
166	大船渡市	三陸沿岸道路(吉浜道路)	中井沢跡(NG11-1260)及び隣接地(2次調査)	平成24年9月25日	遺構・遺物なし。
167	大船渡市	三陸沿岸道路(吉浜道路)	中井沢跡(NG11-1260)及び隣接地(3次調査)	平成24年9月25日	遺構・遺物なし。
168	大船渡市	三陸沿岸道路(吉浜～磐石)	可能性あり1	平成24年10月30日	流れ込みと見られる弥生土器片1点が出土。
169	駿前高田市	三陸沿岸道路(唐桑～駿前高田)	可能性あり2	平成24年10月2日	遺構・遺物なし。
170	駿前高田市	三陸沿岸道路(唐桑～駿前高田)	上長岡姫道路(NF77-1023)及び隣接地	平成24年12月20日	柱軸・空堀・平坦面を確認。
171	駿前高田市	三陸沿岸道路(唐桑～駿前高田)	可能性あり3	平成24年10月2日	遺構・遺物なし。
172	駿前高田市	三陸沿岸道路(唐桑～駿前高田)	可能性あり5	平成24年10月3日	遺構・遺物なし。
173	駿前高田市	三陸沿岸道路(唐桑北～駿前高田)	可能性あり1	平成25年2月13~14日	陥れ穴1基を検出。
174	宮古市	三陸沿岸道路(宮古中央～田老)	可能性あり2(0号工事用道路)	平成25年1月24日	遺構・遺物なし。
175	野田村	三陸沿岸道路(普代～久慈)	可能性あり(工事用道路野田14)	平成25年1月22日	遺構・遺物なし。

(2) 釜石自動車道(南三陸国道事務所管内: 釜石西IC～釜石JCT)

No.	市町村名	事業地区	遺跡名・地区名	試掘調査実施日	調査結果
176	磐石市	東北横断自動車道 磐石花巻道路(磐石～磐石西)	可能性あり1	平成24年10月9日	遺構・遺物なし。
177	磐石市	東北横断自動車道 磐石花巻道路(磐石～磐石西)	大原郷地蔵道跡(MQ70-2209)	平成25年1月18日	遺構・遺物なし。
178	磐石市	東北横断自動車道 磐石花巻道路(磐石～磐石西)	不動V道路(MQ70-2207)2次・3次調査	平成24年9月14日、平成25年1月17日	遺構・遺物なし。

(3) 釜石自動車道(岩手河川国道事務所管内: 遠野IC～遠野住田IC)

No.	市町村名	事業地区	遺跡名・地区名	試掘調査実施日	調査結果
179	遠野市	一般国道23号磐石花巻道路(遠野住田～遠野)	可能性あり5	平成25年2月18日	遺構・遺物なし。
180	遠野市	一般国道23号磐石花巻道路(遠野住田～遠野)	可能性あり7	平成25年2月20日	遺構・遺物なし。
181	遠野市	一般国道23号磐石花巻道路(遠野住田～遠野)	可能性あり8	平成25年2月19日	遺構・遺物なし。
182	遠野市	一般国道23号磐石花巻道路(遠野住田～遠野)	可能性あり9	平成25年2月18日	遺構・遺物なし。
183	遠野市	一般国道23号磐石花巻道路(遠野住田～遠野)	可能性あり13	平成25年2月27日	遺構・遺物なし。
184	遠野市	一般国道23号磐石花巻道路(遠野住田～遠野)	可能性あり14	平成25年2月26日	遺構・遺物なし。
185	遠野市	一般国道23号磐石花巻道路(遠野住田～遠野)	可能性あり15	平成25年2月26日	遺構・遺物なし。

No.	市町村名	事業地区	遺跡名・地区名	試掘調査実施日	調査結果
186	遠野市	一般国道23号花巻花巻道路 (遠野市田~遠野)	可能性あり16	平成25年2月27日	遺構・遺物なし。
187	遠野市	一般国道23号花巻花巻道路 (遠野市田~遠野)	可能性あり17	平成25年2月21日	遺構・遺物なし。
188	遠野市	一般国道23号花巻花巻道路 (遠野市田~遠野)	九重沢田遺跡(田可可能性 あり31)	平成25年2月28日・3月7・8日	縄文時代の地廻炉2基を検出。純文土器が出土。

(4) 宮古盛岡横断道路(三陸国道事務所管内:宮古西IC~箱石IC)

No.	市町村名	事業地区	遺跡名・地区名	試掘調査実施日	調査結果
189	宮古市	宮古盛岡横断道路(宮古西道 路)	可能性あり2	平成25年1月23日	8世紀の整穴住居1棟を検出。土器部器が出土。
190	宮古市	宮古盛岡横断道路(宮古西道 路)	可能性あり3	平成24年10月2・3日	遺構・遺物なし。
191	宮古市	宮古盛岡横断道路(宮古西道 路)	可能性あり4	平成25年1月22日	遺構・遺物なし。
192	宮古市	宮古盛岡横断道路(宮古西道 路)	可能性あり5	平成24年10月2日	遺構・遺物なし。
193	宮古市	宮古盛岡横断道路(宮古西道 路)	可能性あり6(東側)	平成24年9月21日	遺構・遺物なし。
194	宮古市	宮古盛岡横断道路(宮古西道 路)	木戸井内Ⅱ遺跡及び隣接 地(1)	平成24年10月2日	遺構・遺物なし。
195	宮古市	宮古盛岡横断道路(宮古西道 路)	木戸井内Ⅱ遺跡(LG33~ 2214)及び隣接地(1)	平成25年1月22~24日	遺構・遺物なし。
196	宮古市	宮古盛岡横断道路(宮古西道 路)	木戸井内Ⅱ遺跡(LG33~ 2214)及び隣接地(2)	平成25年1月23日	遺構・遺物なし。
197	宮古市	宮古盛岡横断道路(宮古西道 路)	可能性あり7	平成24年10月3~4日	遺構・遺物なし。
198	宮古市	宮古盛岡横断道路(宮古西道 路)	可能性あり8	平成24年10月2~3日	遺構・遺物なし。
199	宮古市	宮古盛岡横断道路(宮古西道 路)	可能性あり9	平成24年9月20~21日	遺構・遺物なし。

3 市町村支援一覧(復興事業関係)

No.	市町村名	事業地区	遺跡名・地区名	調査実施日	備考・調査結果
1	陸前高田市	陸前高田市米崎町地内	米崎城(浜田城)(NF68~ 2050)	平成24年4月23日~24日	個人住宅建設に伴う払下げ工事、空堀。
2	田野畠村	田野畠村實度内	實度長屋模様跡(KG22~ 2354)	平成24年4月23日	個人住宅事業(實度地区)対応。
3	野田村	野田村野田地内(複数個所)	中平道路(JG60~0258)ほ か3割跡	平成24年5月8日~平成25年1月11日	個人住宅建設に伴う、多數の縄文・古代の整穴住居跡・縮穴等を検出。別途毎月別途本報告。
4	磐石市	磐石市片瀬町第10割地内	夏津通路(MG43~0058)	平成24年6月5日~7日	防災集団移転促進事業に伴うかさ上げ、土坑・製鉄炉跡。
5	山内町	下閉伊郡山内町崎守12地割	跡ノ通路(MG04~0121) ほか3通路	平成24年5月1日~6月27日	防災集団移転促進事業に伴う高台移転。遺構なし。遺物は表土等から若干出土が出来た。(本調査は不調と判断)。
6	陸前高田市	陸前高田市米崎町字室の前地 内	室の前貝塚(NF68~2130)	平成24年5月28日~12月7日	個人住宅建設に伴う、多數の縄文整穴住居跡・遺物等を検出、出土。別途毎月別途本報告。
7	陸前高田市	陸前高田市矢作町字片地家地 内	片地家館遺跡(NF66~ 0103)	平成24年6月11日	ため池灾害復旧工事に伴う土砂採取事業、遺構・遺物なし。
8	磐石市	磐石市若狭町第7地割地内	横渠通路(MG43~2196)及 び隣接地	平成24年7月9日~11日	防災集団移転促進事業に伴うかさ上げ。整穴住居跡・土坑・遺物含層。
9	磐石市	磐石市若狭町第8地割地内ほ か3割地内	野川前通路(MG53~0106)	平成24年7月9日~11日	防災集団移転促進事業に伴うかさ上げ。土坑・遺物含層。
10	磐石市	磐石市若狭町第5地割地内	上前通路(MG53~0230)及 び隣接地	平成24年7月9日~11日	防災集団移転促進事業に伴うかさ上げ。遺構なし。遺物2点。
11	大槌町	大槌町大槌24地割字小柳ヶ 崎地内	夏本通路(MG33~1008)	平成24年7月11日	民間開発対応。遺構・遺物なし。
12	田野畠村	田野畠村田野畠野原地内	野原1通路(KG22~2354)	平成24年8月28日~30日	個人住宅事業(羅賀地区)対応、佛土坑1基。
13	野田村	野田村大字野田26地割内	新郷通路(JG50~2327)	平成24年10月1日~12月11日	防災集団移転促進事業に伴う高台移転。坂・土壤・柱穴等、別途本報告。
14	大船渡市	大船渡市三陸町越喜来字小出 62~1ほか	小出隣通路(NG21~0087)	平成24年8月1日~23日	越喜来小学校高台移転に伴う取付道路建設。製鉄跡・土坑。別途本報告。
15	山田町	山田町大字船越10地割内	岩ヶ通路(MG14~0323)	平成24年7月17日~8月22日	防災集団移転促進事業に伴う高台移転。土坑・純文土器・土師器・石製品(石臼・削葉器)が出土。
16	大槌町	大槌町上町1番	大槌代官所跡(MG33~ 2001)	平成24年9月6日~7日	町便場駐車場の舗装工事に伴う。ピット・礎石・陶磁器片出土。
17	宮古市	宮古市重茂第29地割86番地1	大程3通路(LG35~0201)	平成24年9月5日~6日	漁業業者防災機能強化事業に伴う高台移転。遺構・遺物なし。
18	山田町	山田町大字船越9地割内	クク井通路(MQ04~2365)	平成24年9月10日~10月5日	開文土器数点。流れ込みと判断。
19	野田村	野田村大字野田12~61~1	古雄山通路(JG61~0033)	平成24年9月20日	個人住宅対応。陥穴・縄文・純文土器・土師器出土。別途本報告。
20	野田村	野田村大字野田12~61~1 地内	瀬波通路(JG61~0076)ほ か1通路	平成24年10月16日、11月7日~12月 26日	米田地区防災集団移転事業に伴う。純文・古代の整穴住居跡等、多数の遺物を検出、出土。別途本報告。
21	大槌町	大槌町吉良町星11地割内	白石通路(MG43~0102)	平成24年10月18日~11月16日	個人住宅対応。遺構・遺物なし。
22	山田町	山田町大字船越11地割内	早川通路(MG14~0354)	平成24年11月5日~12月7日	町便場計画に伴う高台移転。遺構・遺物なし。
23	山田町	山田町大字船越19地割内	蔚畠沢1通路(MQ05~ 2156)	平成24年12月10日~12月27日	整穴住居跡・土器・石器・濃密な遺物含層。
24	岩泉町	岩泉町小本字長内地内	瀬波通路(KG54~2030)	平成25年2月12日~13日	岩泉町復興事業土材採取事業に伴う。平成25年度本調査(県収支受付)。
25	野田村	野田村大字野田地内	中平通路(JG60~0258)ほ か1通路	平成25年3月18日	野田村公共下水道箇箇施設事業に伴う。別途本報告。
26	田野畠村	田野畠村田野畠野原地地区	野原1通路(KG22~2354)	平成25年3月12日	漁業業者防災機能強化事業に伴う高台移転。遺構・遺物なし。

岩手県文化財調査報告書 第139集

岩手県内遺跡発掘調査報告書

(平成24年度 復興関係)

発行日 平成26年3月31日

発 行 岩手県教育委員会

〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10番1号

編 集 岩手県教育委員会事務局生涯学習文化課

印 刷 有限会社 ツーワンライフ

〒028-3621 岩手県紫波郡矢巾町広宮沢10-513-19

